

県立病院を良くする会 次第

日 時 平成23年9月8日（木）
午前10時から
場 所 徳島県庁10階 大会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 各病院の平成23年度の課題と取り組み状況について（資料1）
- (2) 第2次経営健全化計画のこれまでの進捗状況について（資料2）

3 閉 会

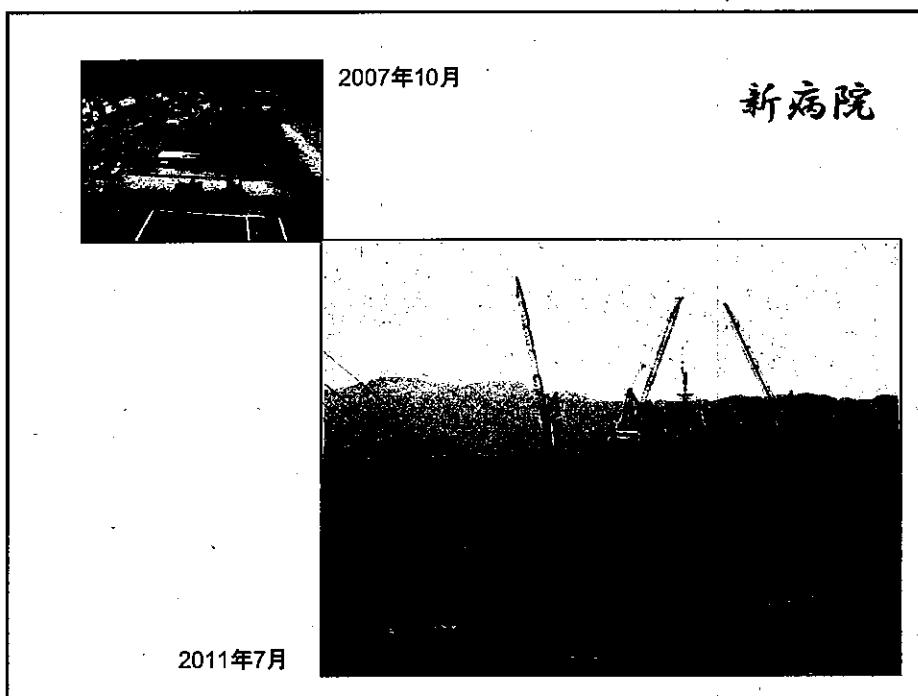
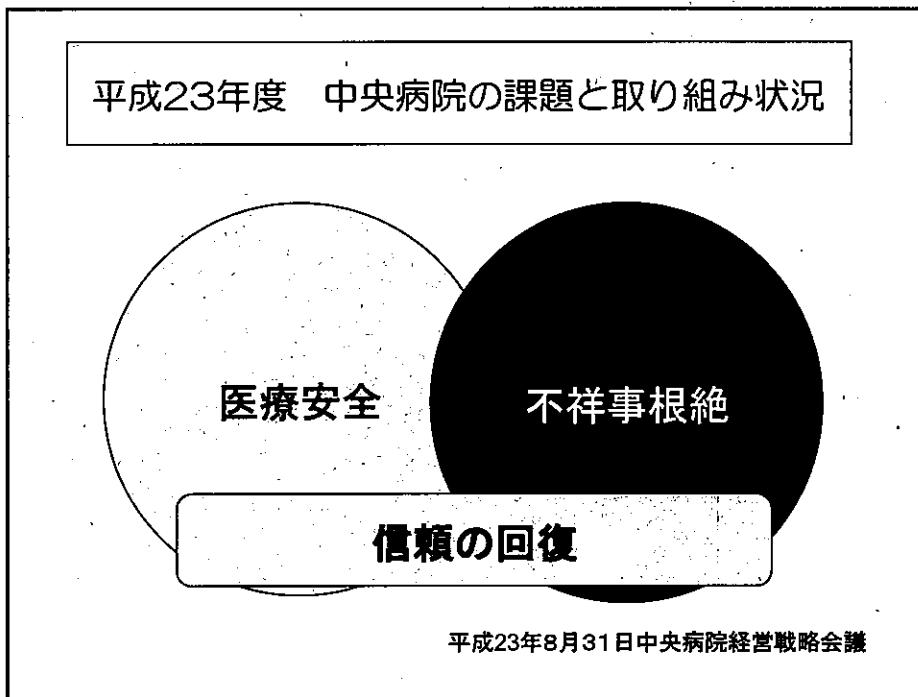
【配付資料】 資料1 各病院の平成23年度の課題と取り組み状況について
資料2 第2次経営健全化計画のこれまでの進捗状況について
参考資料 徳島県病院事業第2次経営健全化計画 一平成22年度
の進捗状況について

各病院の平成23年度の課題と 取り組み状況について

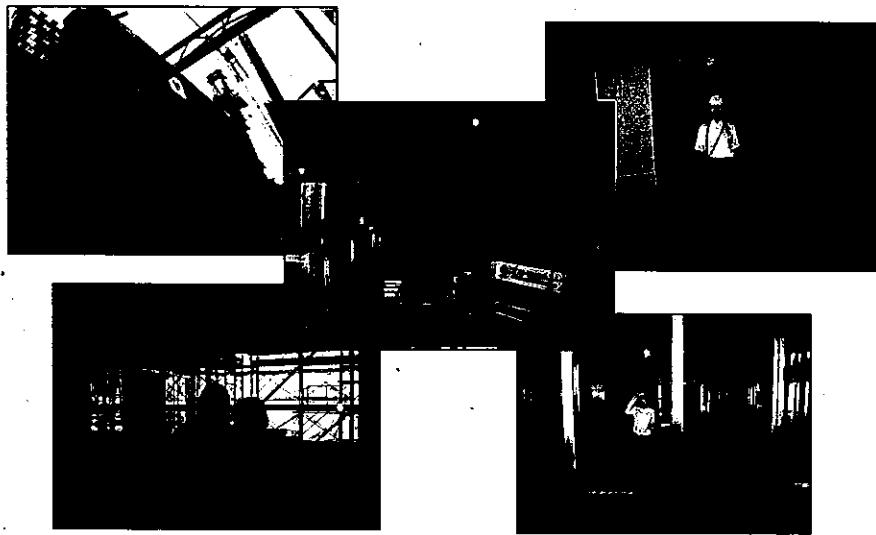
①中央病院 ····· P 1

②三好病院 ····· P 8

③海部病院 ····· P 19

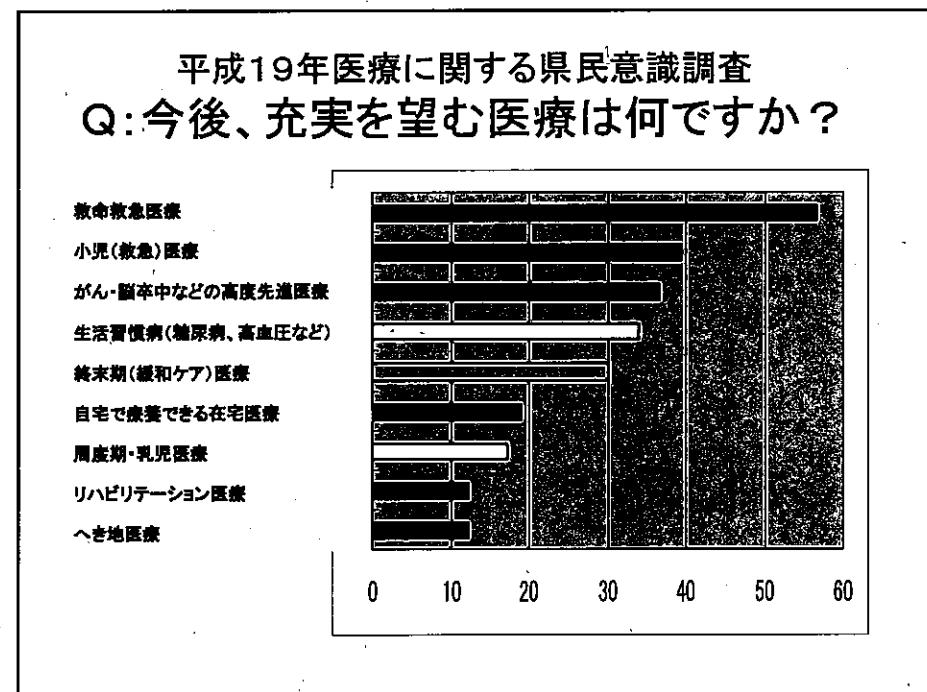
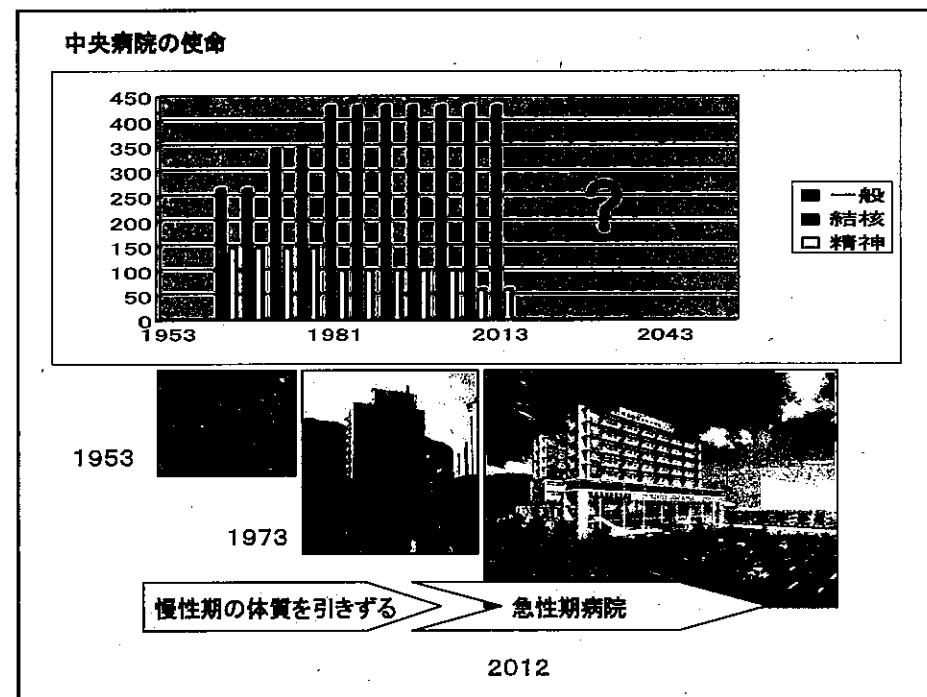


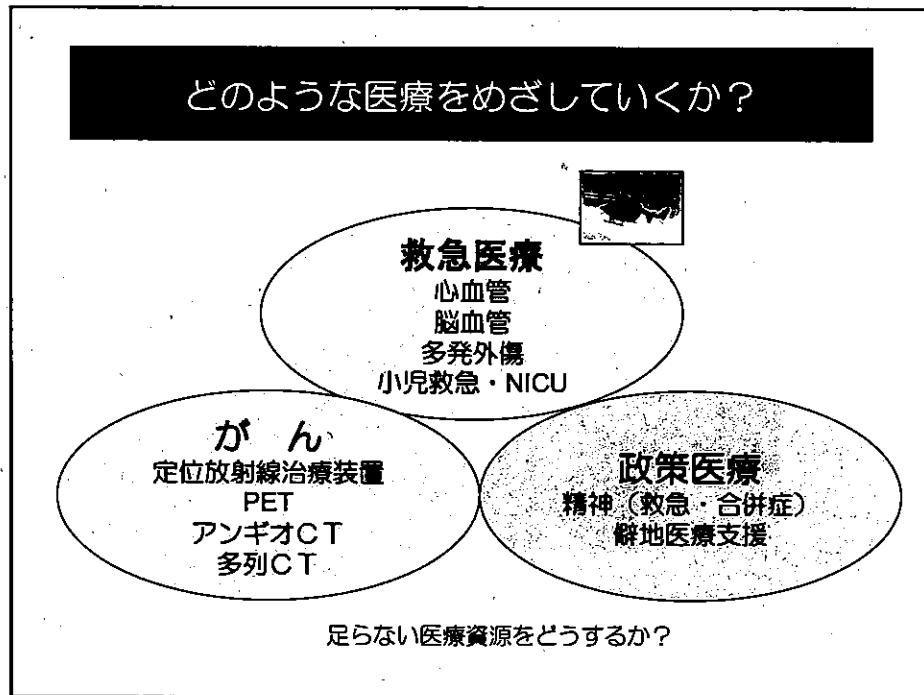
Vision = Visualize 思い描くこと



器が変わったからといって
必ずしも、病院がよくなるわけではない

どのような医療を行っていくか？





締結合意書

基本合意(平成17年8月)

両病院で機能整備をはじめとした交流を深め、県内医療の拠点としての総合メディカルゾーンの整備について、積極的に協議を進めるについて合意。

ハード面の合意(平成18年9月)

中央病院の改築において両病院の連携を反映させるためにハード面についての協議を優先させ、

- ・両病院をつなぐ「連絡橋の設置」や
- ・「都市ガスの共同購入」
- ・「駐車場の共同利用」などの項目について合意

ソフト面の合意(平成21年10月)

『徳島大学病院と県立中央病院は二つで一つ』のコンセプトの下、次の内容で合意書を締結

- ・「地域医療再生計画」の事業を両病院が連携して推進
- ・「地域医療」や「救急医療」を担う医師等の養成に努める。
- ・「周産期医療」、「小児医療」、「がん医療」といった分野の医療の拠点化を推進
- ・両病院の効率的な運営を図るため、医薬品や高額医療機器の調達や保育所の運営等で協力。

選択と集中

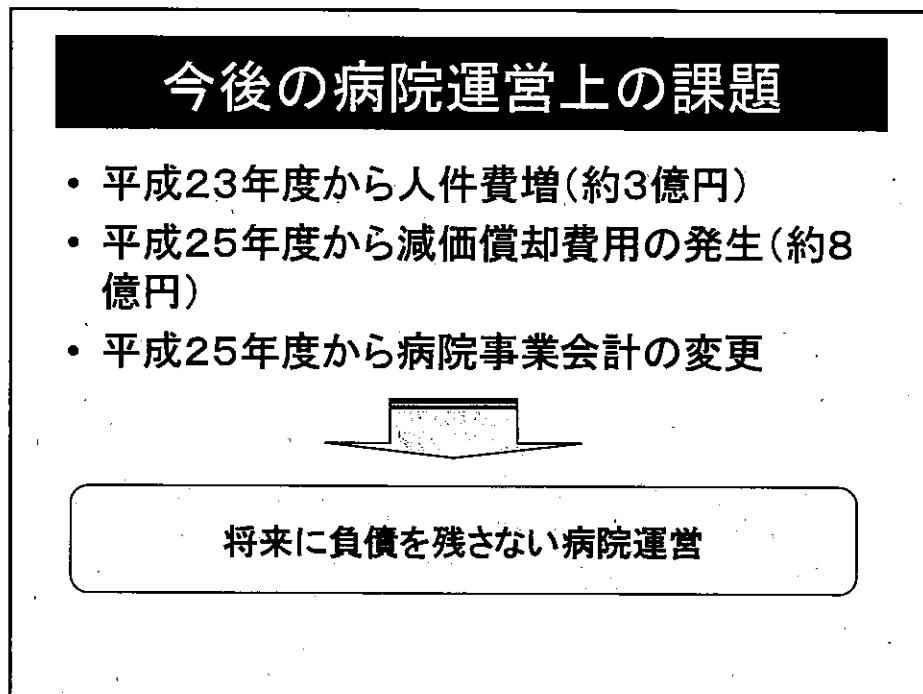
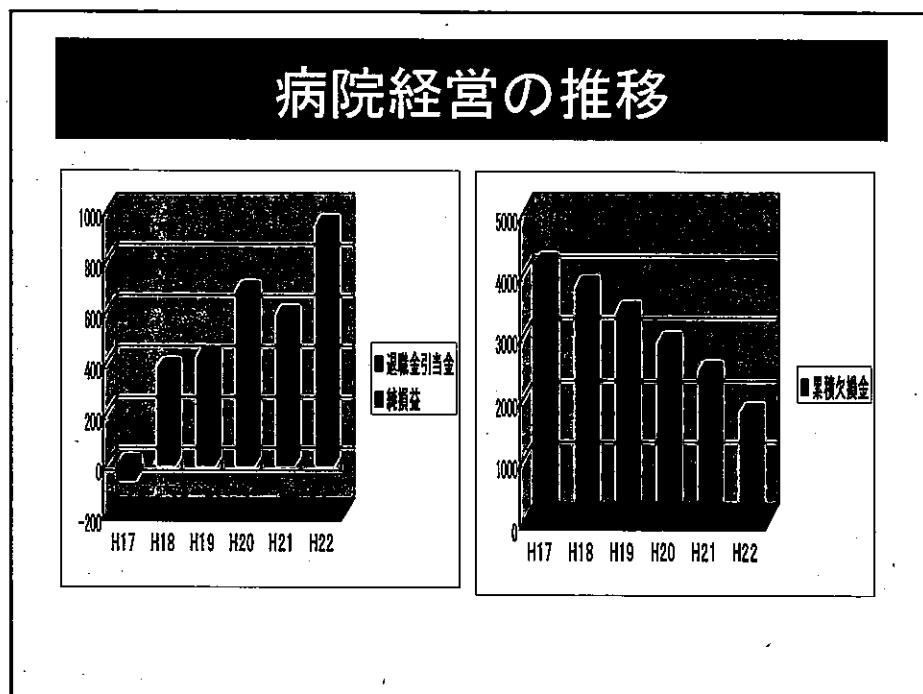


セーフティネットとしての
救急医療の充実

これからの県医療を支える
医療人の育成

MZにおける当院の役割

ミニ大学化しない



管理者からの指示事項

- ・新規入院患者の受け入れ増(救急・紹介)
- ・病病、病診連携推進による平均在院日数の短縮 → 超急性期病院への体質転換
- ・採用薬品数・診療材料の見直しによる変動費用の抑制
- ・委託事業の見直し
→ 支出部分の見直しと抑制

入るを量りて、出するを為す

変革へ

選択と集中

集中すべきは、

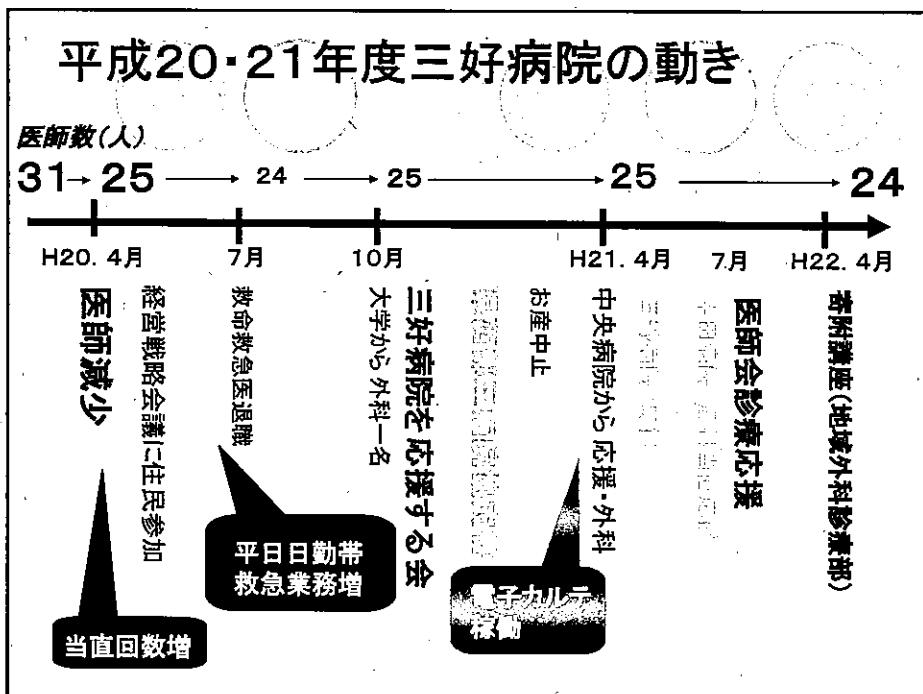
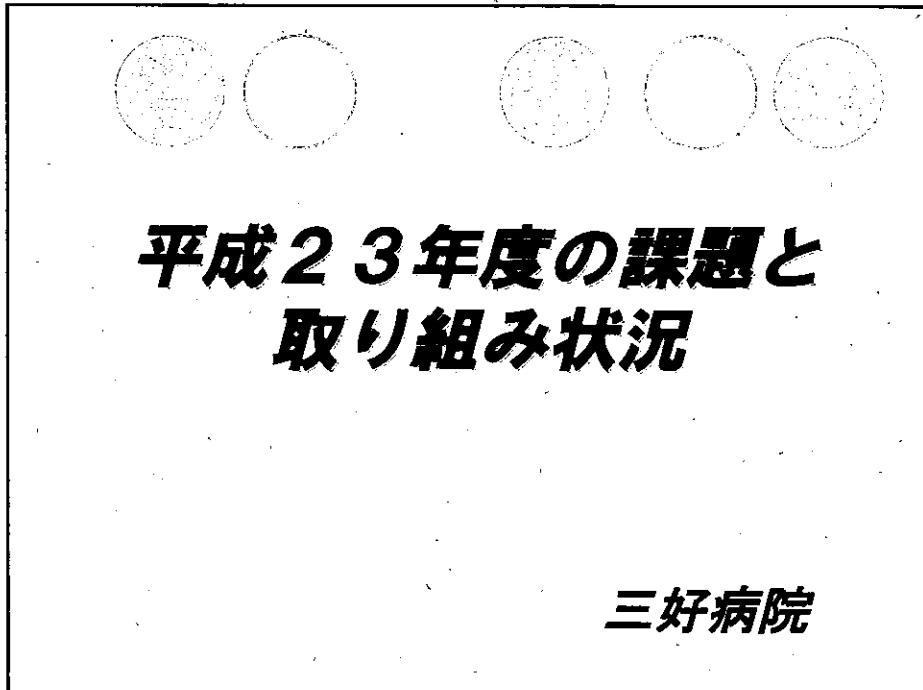
救急医療

地域連携

人材育成

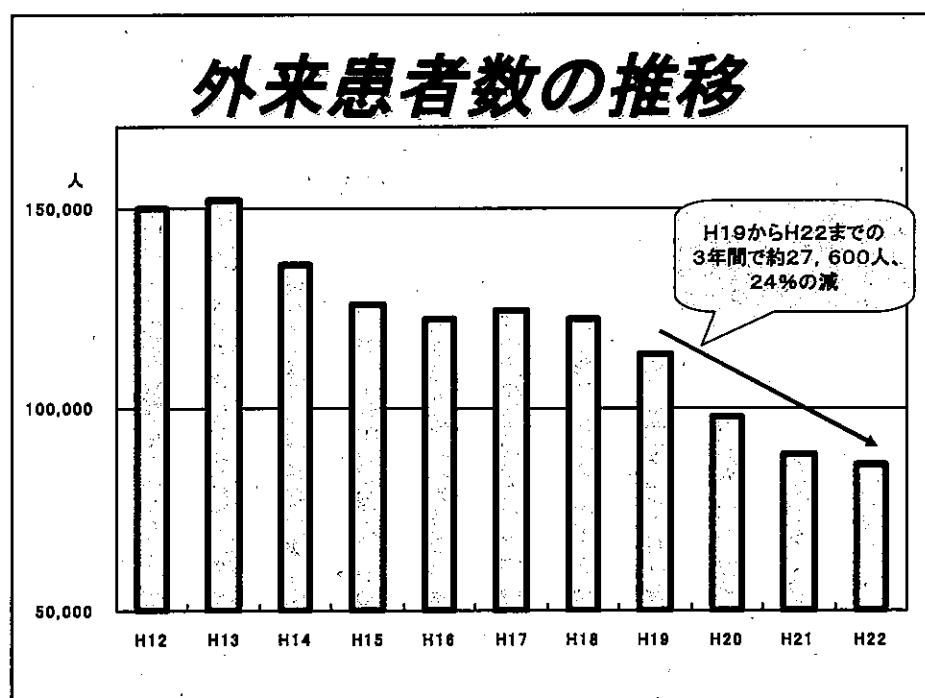
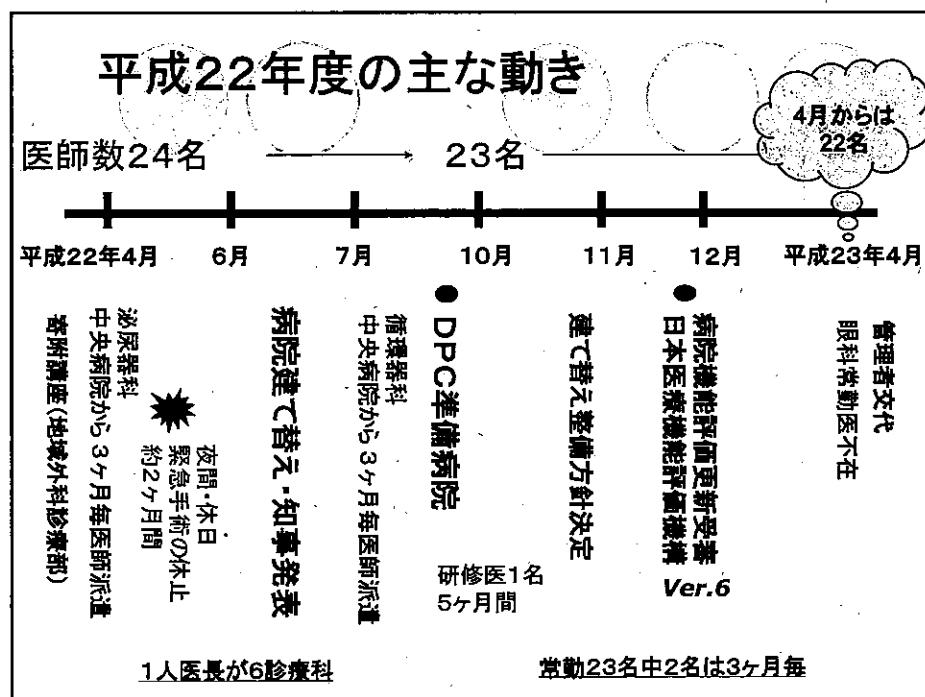
資源の投資

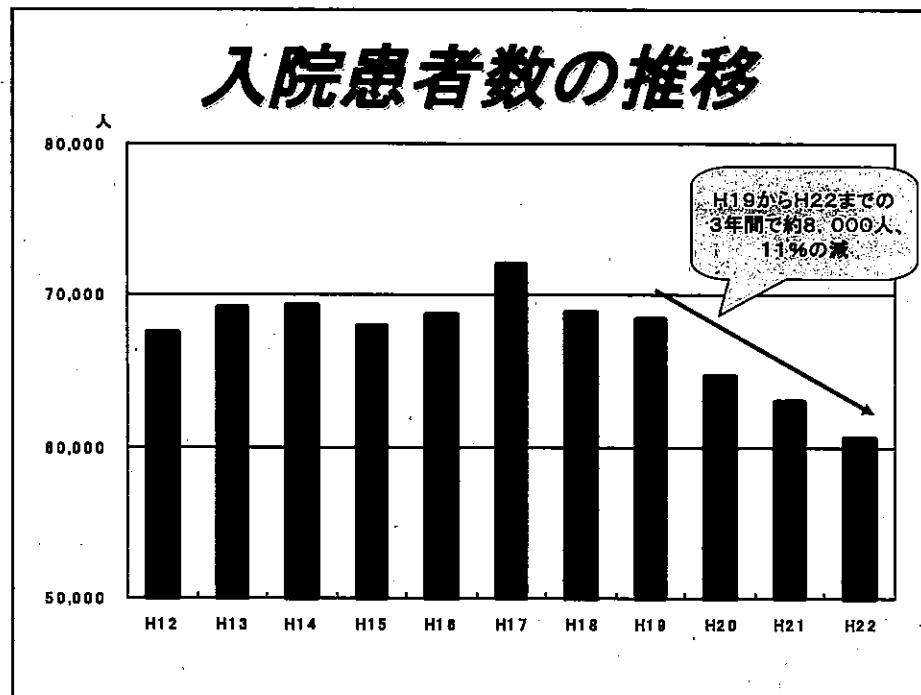




各病院の平成23年度の課題と取り組み状況
について1-②

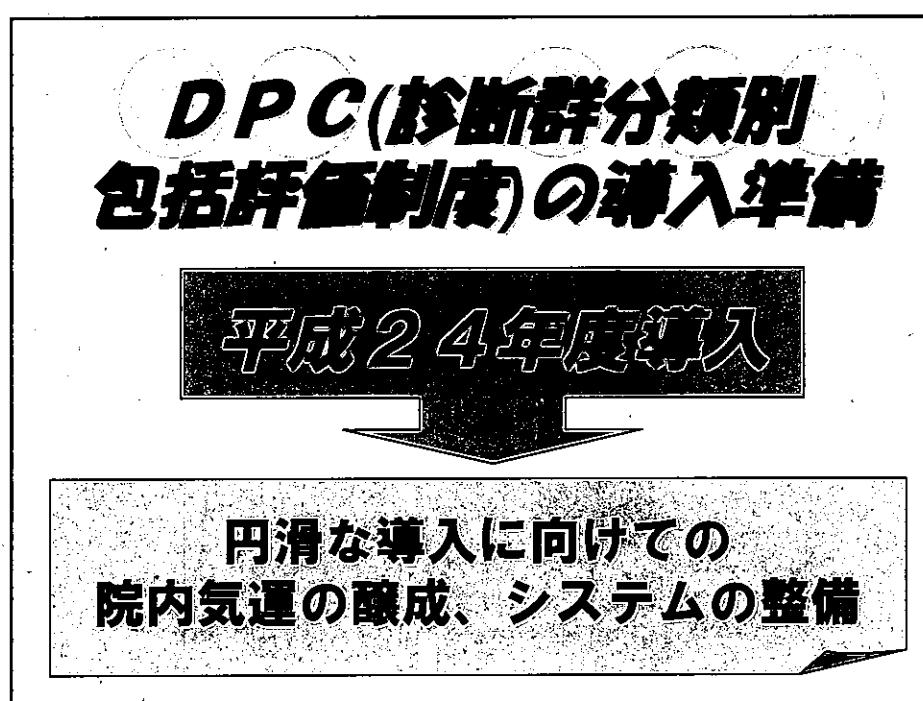
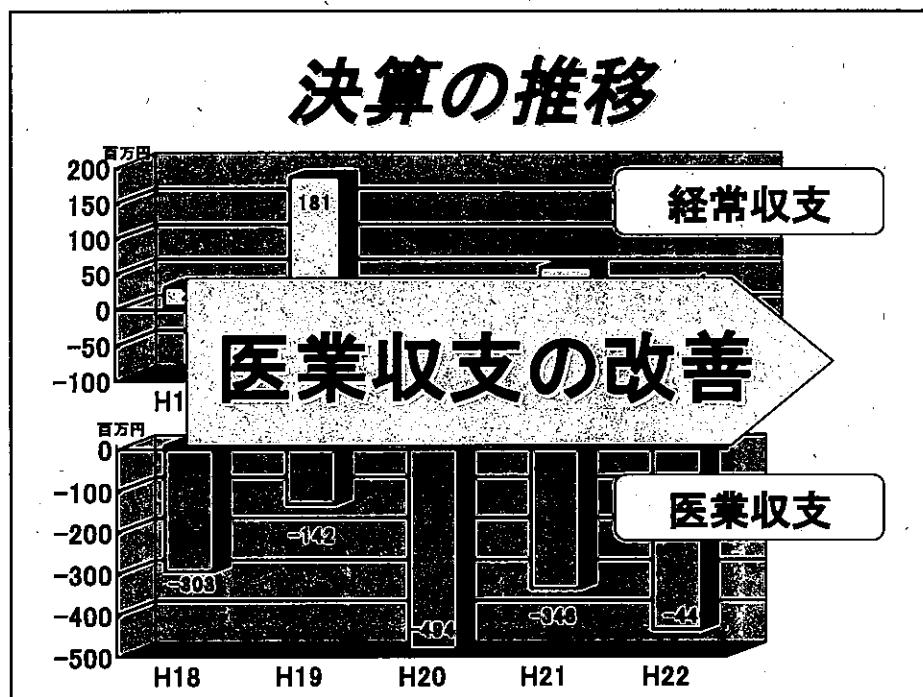
資料1





救急患者数

	救急患者数		救急車数	
H18	7199		1626	
H19	7077		1664	
H20	6436	約10%減	1546	約9.3%減
H21	7731		1627	
H22	7114		1708	

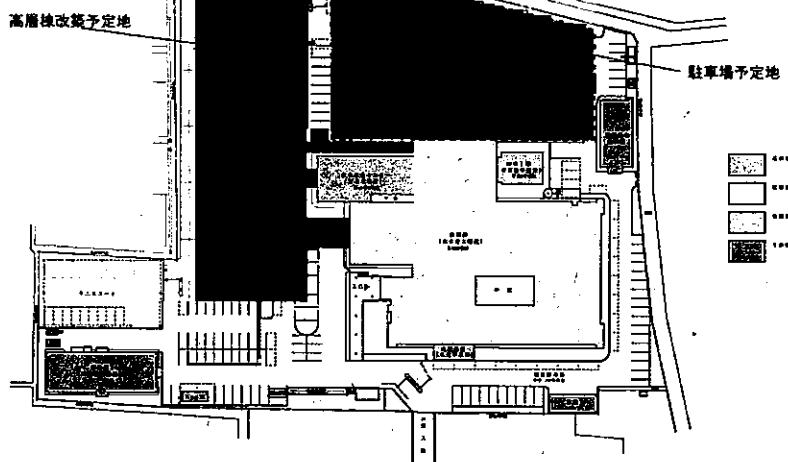


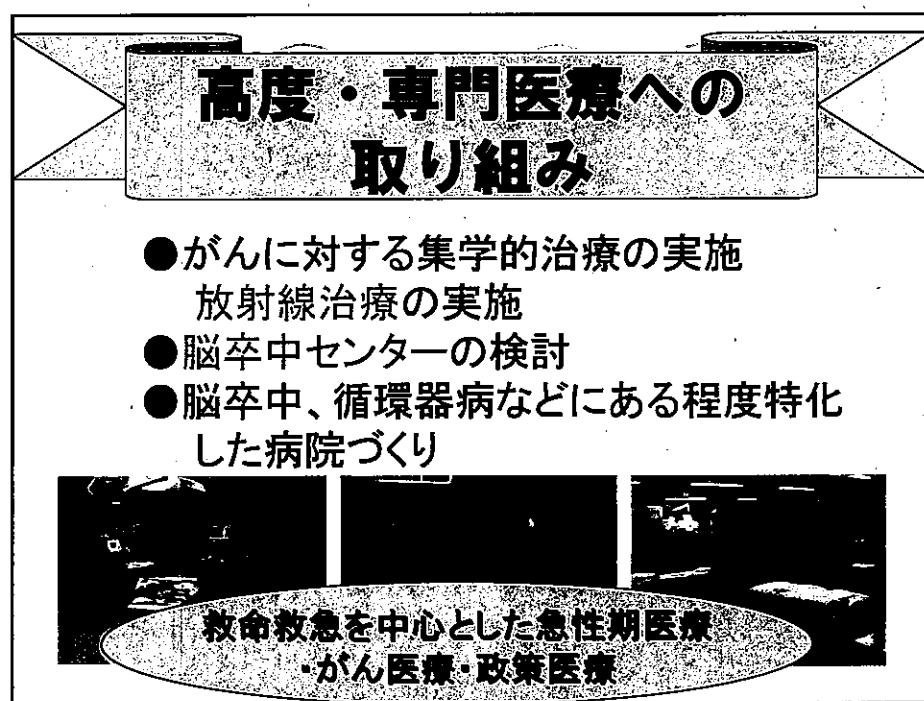
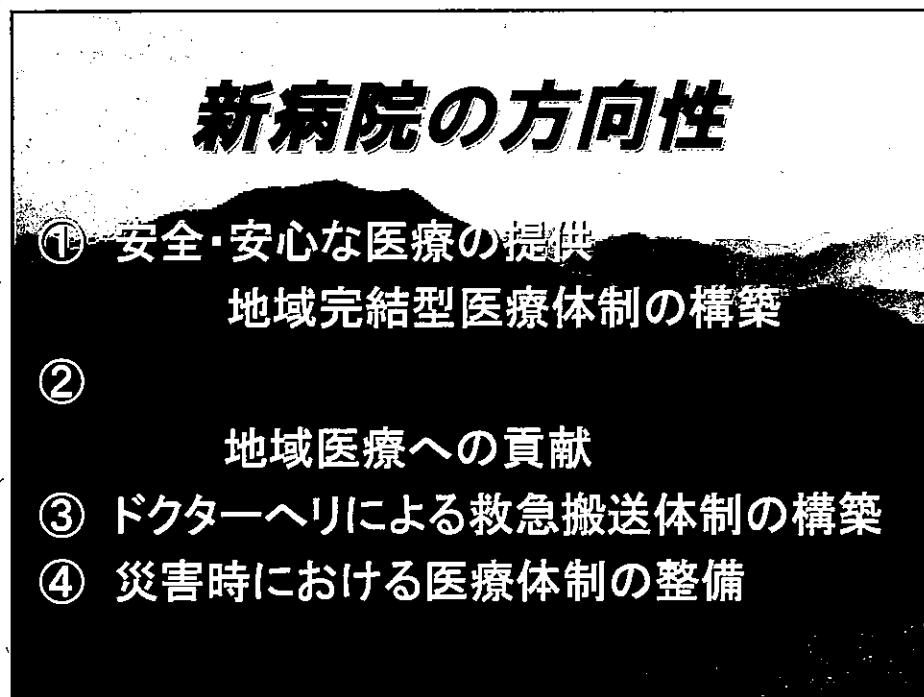
現在進行中の取り組み

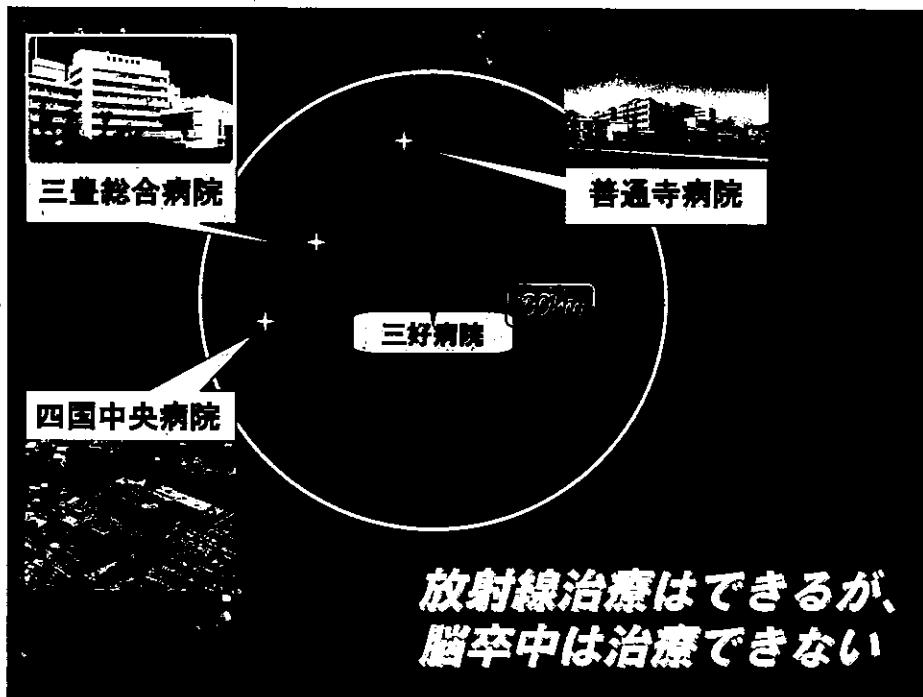
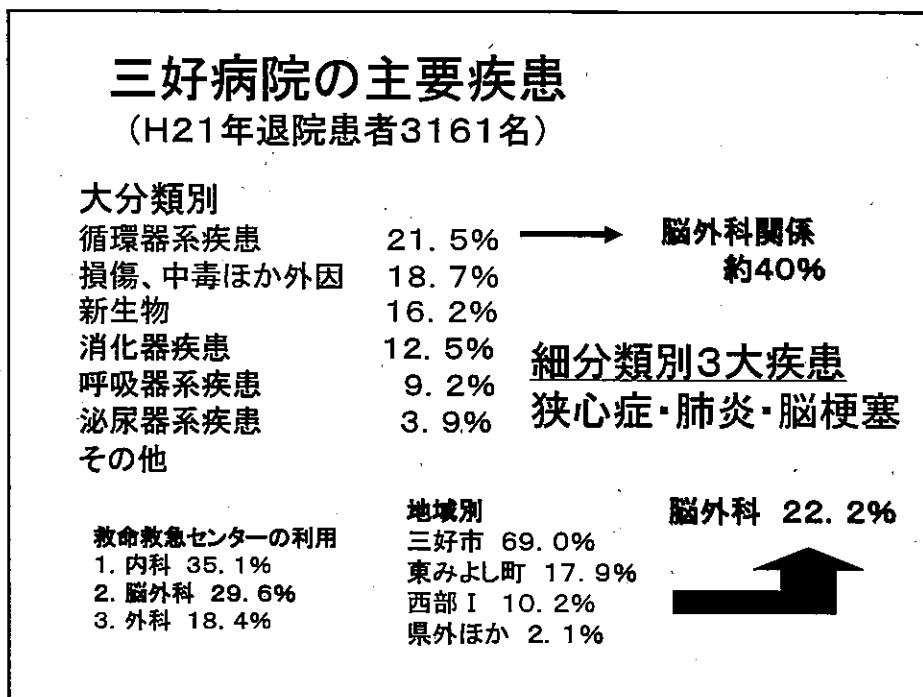
平成25年度を目標 地域医療支援病院の認定

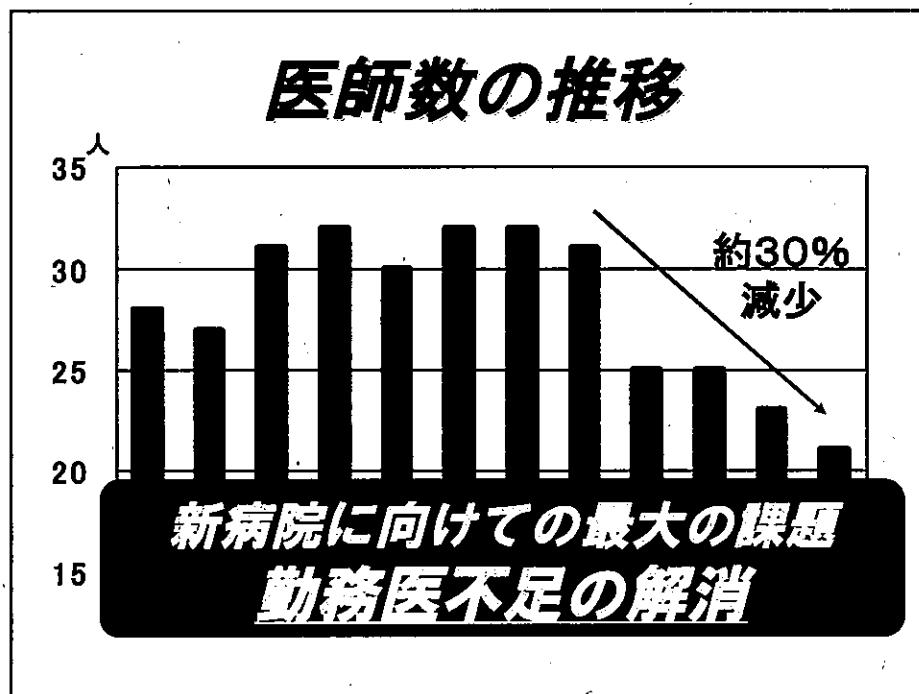
年度	紹介率(%)	逆紹介率(%)
H18	32.3	21.3
H19	32.8	29.7
H20	33.9	25.3
H21	25.6	35.8
H22	31.8	30.5

新病院の基本設計 最終の取りまとめ段階









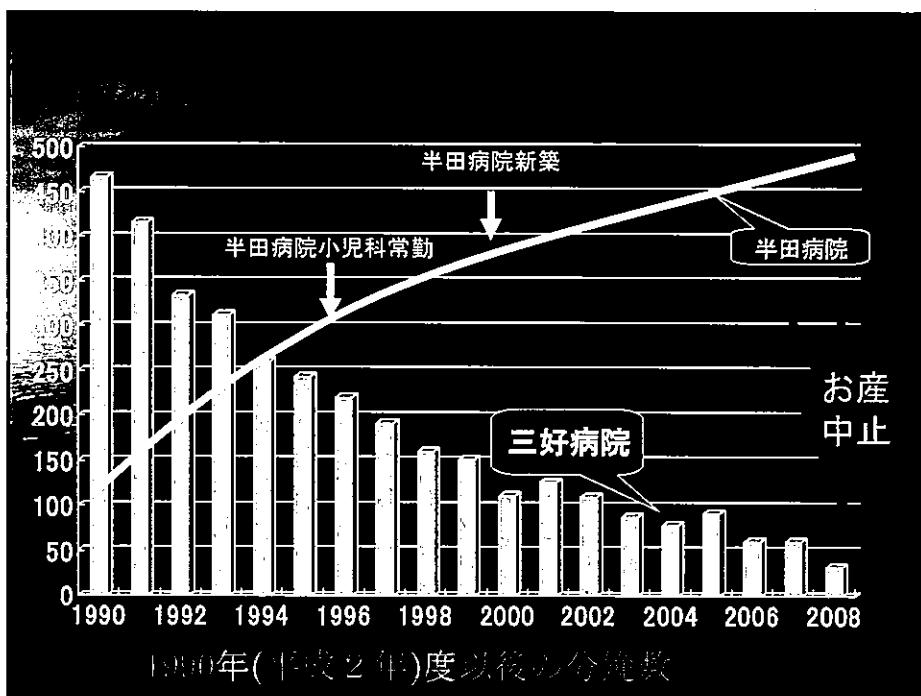
危機的状況の再認識を！

三好病院の医療崩壊は進行中である！

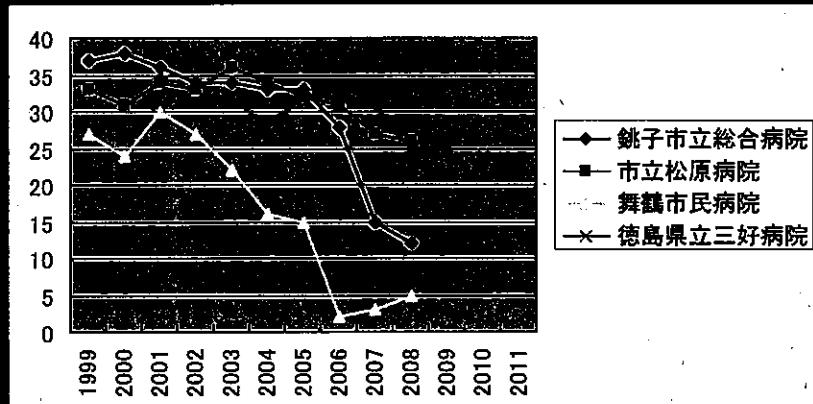
- 寄附講座の医師を加えても平成20年度から医師は減少し続けている。
- 常勤医師でも3ヶ月～6ヶ月交代の医師が2名いる。医療の継続性が保てない。
- 一人医師の科が6診療科ある。特に麻酔科、放射線科は休まれると病院診療に支障が大きい。
- 救命救急体制維持に当直回数が月5～6回になっている。36時間勤務が常態化している。
- 55歳以上が6名いる。
- 救急医・専門医がない。

新しい病院を維持できる医師数とは？

三好病院必要常勤医師数																
内 科	呼 吸 器 内 科	消 化 器 内 科	循 環 器 内 科	外 科	脳 神 経 外 科	整 形 外 科	小 児 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	放 射 線 科	救 急 科	麻 醉 科	
2	2	2	③	3	2	3	1	パ	①	1	パ	パ	1	欠	1	22
2						2				1	1	1		1	1	10
4	2	2	3	3	4	3	1	パ	2	2	1	パ	2	1	2	



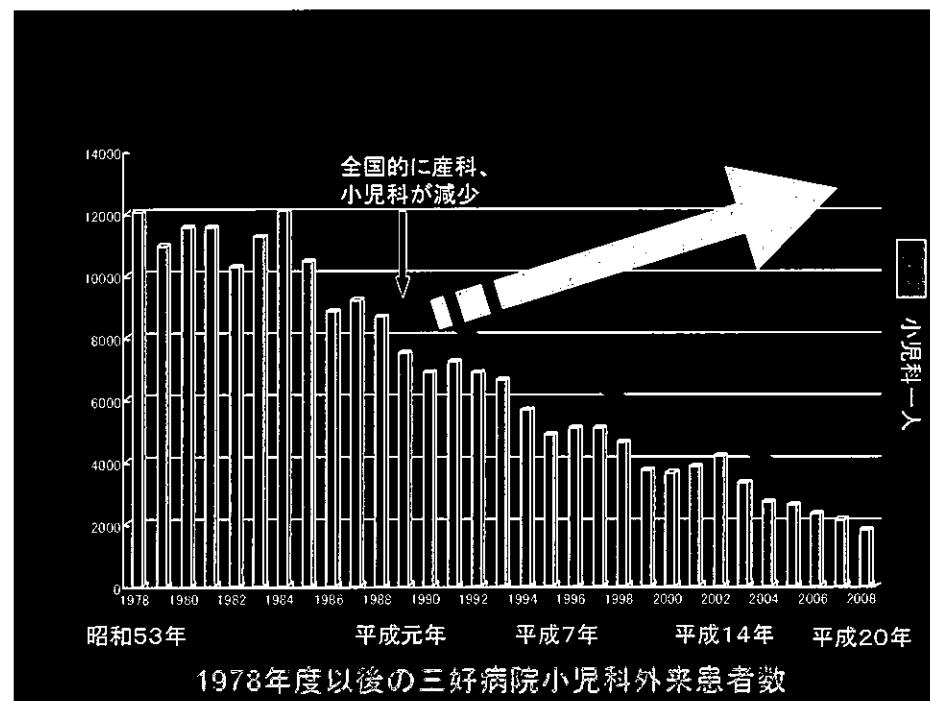
経営破綻した自治体病院と 三好病院の医師数の経過



財政破綻の要素：財政破綻型と医師不足型

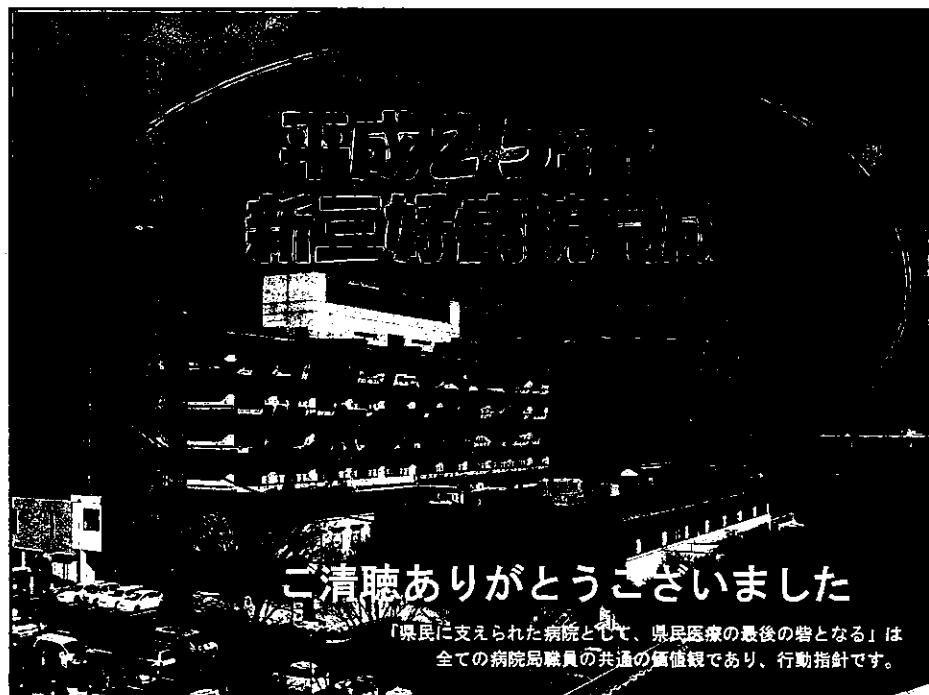
全国的に産科、
小児科が減少

小児科
一人



各病院の平成23年度の課題と取り組み状況
について1-②

資料1



海部病院の取り組み

第1回県立病院を良くする会
徳島県立海部病院

昨年度海部病院が目指したこと

医療再生

今後の取り組み

土曜日救急再開のための体制づくり
分娩継続のための体制づくり
訪問医療の充実・強化
医師等の医療職員不足解消に向けた
取り組み
地域発展のために住民、医療職から愛
され、信頼され、選ばれる病院づくり

今年度海部病院が目指す目標

病院機能の充実

基本方針

- 1) 医療機能の充実
- 2) 災害拠点病院としての対応

1) 医療機能の充実

訪問診療・リハビリ

H22.5月～

訪問診療

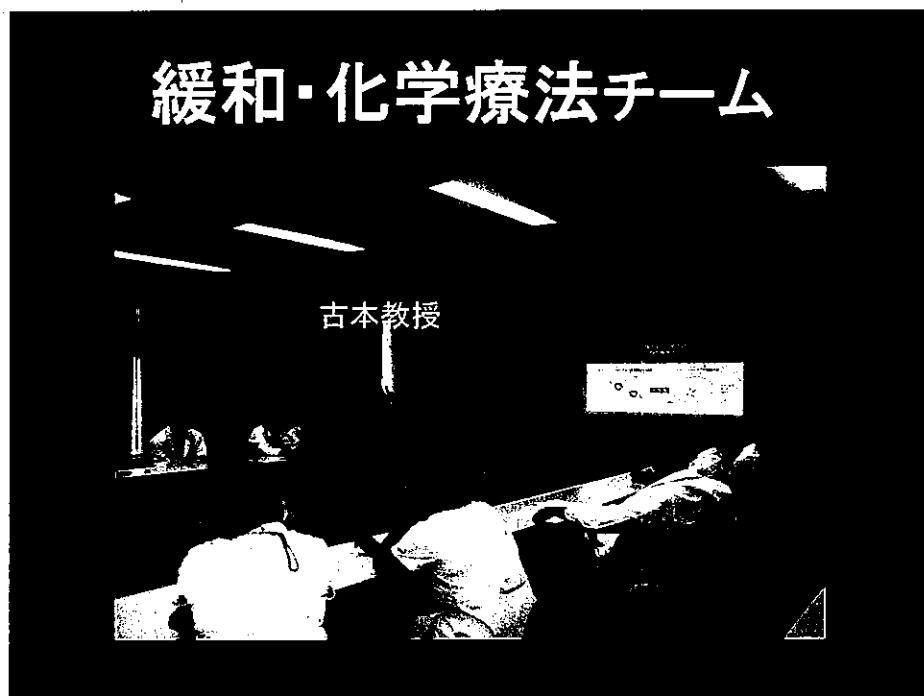
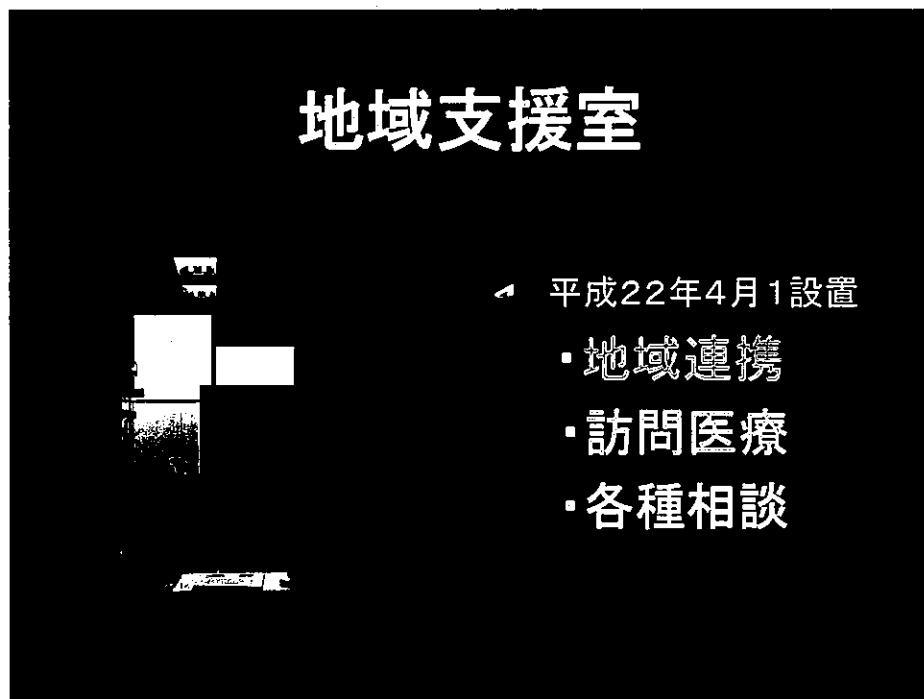
訪問リハビリ

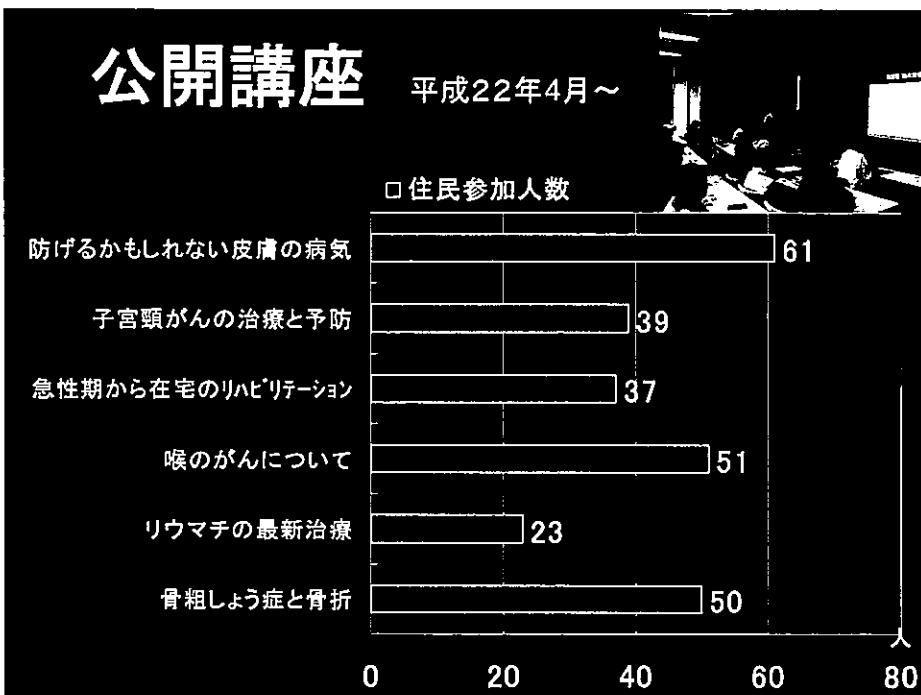


訪問看護



7月1日：在宅末期医療総合診療料を算定
8月に在宅での看取りを実施した





第19・20回 公開研修会を開催しました



成人病教室

月	テーマ
4月	生活習慣病
5月	動脈硬化
6月	糖尿病
7月	高脂血症
8月	高血圧
9月	糖尿病
10月	心臓病
11月	脳卒中
12月	糖尿病



場所:和サロン(1階)
時間:14:00~15:00
毎月第1, 2, 3, 4火曜日
第1:看護師
第2:薬剤師、検査技
診療放射線技師
第3:栄養士
第4:理学療法士

がんリハ研修会(H22.7.10-11)



NSTチーム活動

平成22年度の状況

	回数	回診 (延べ人数)
4月	1	10
5月	3	20
6月	5	40
7月	4	38
8月	2	16
9月	5	27
10月	4	35
11月	2	13



毎週火曜日:カンファレンス

毎週水曜日:チームラウンド

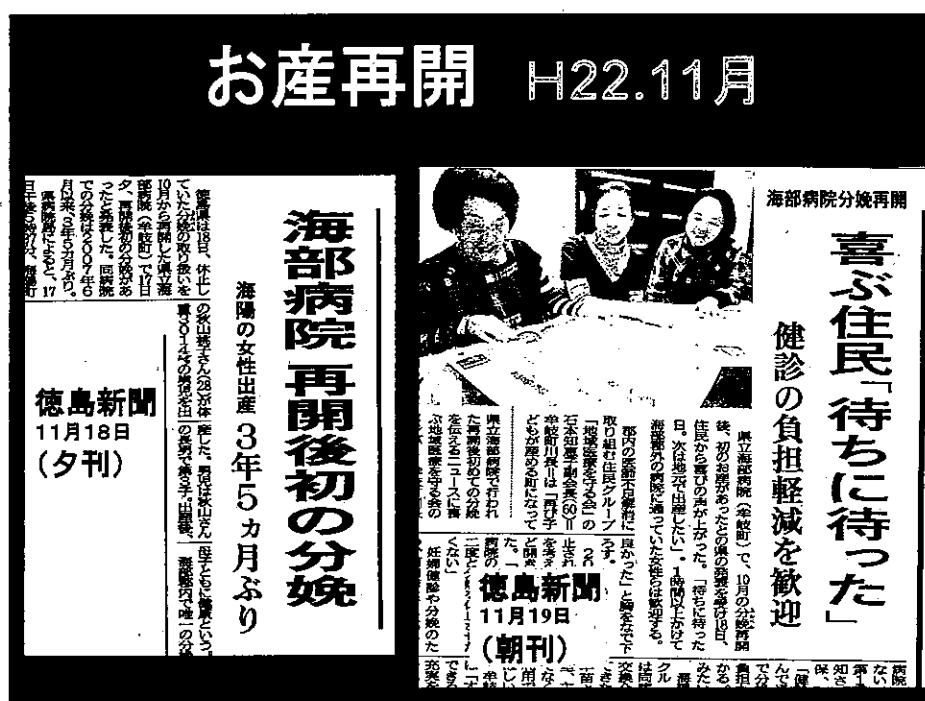
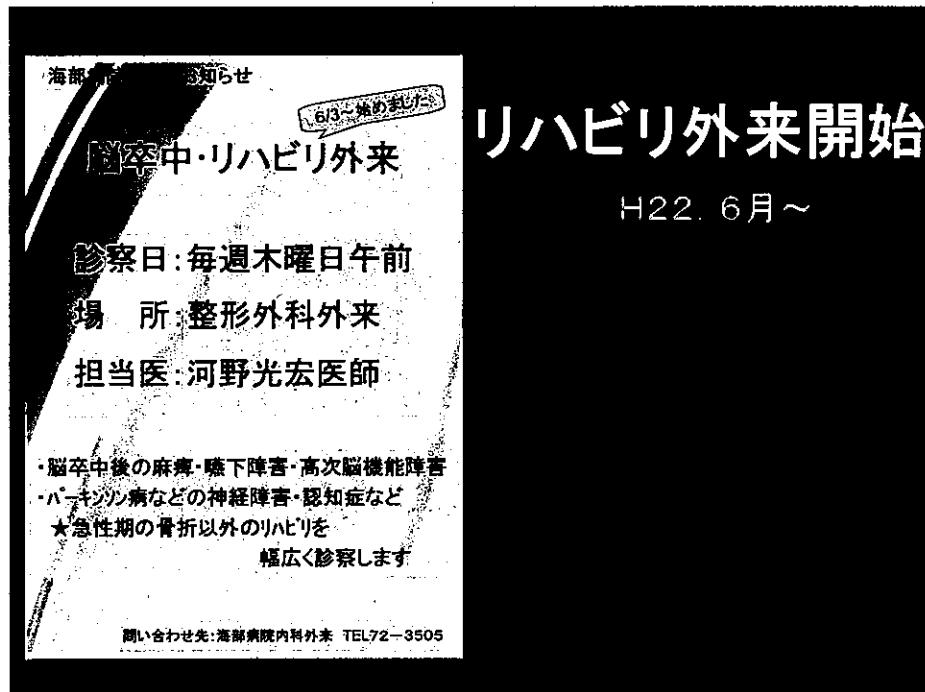
早朝リハビリテーション

H22.6月~



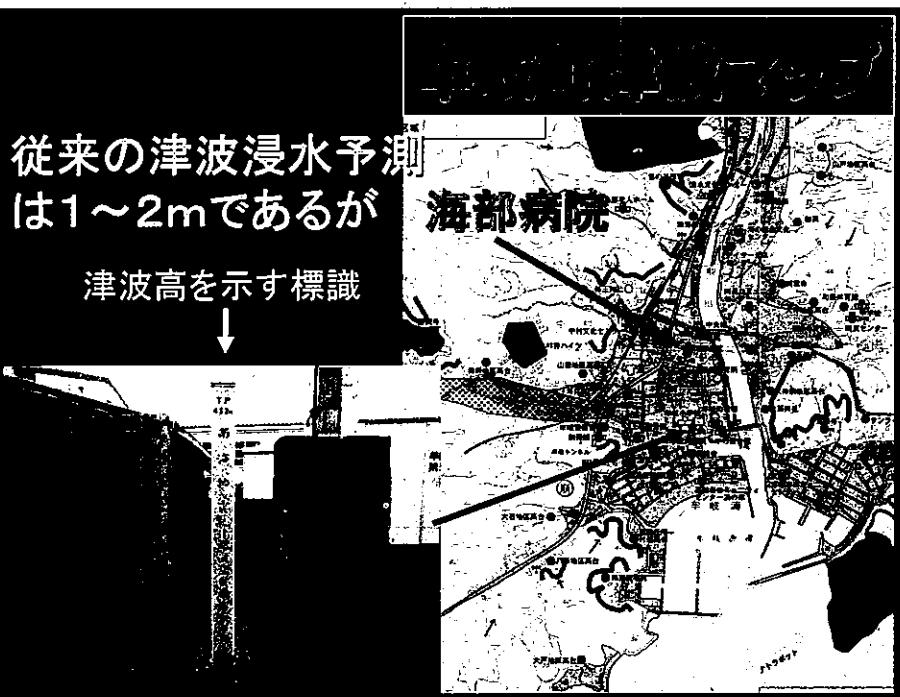
朝食時より適正なポジショニングと車椅子座位能力を向上させ、廃用や誤嚥を予防する

また、早朝から離床を促すことで生活リズムを取り戻し、質の高いリハを提供することで、ADL・QOLの向上を目指す





2) 災害拠点病院の対応



公立志津川病院

宮城県南三陸町



公立志津川病院

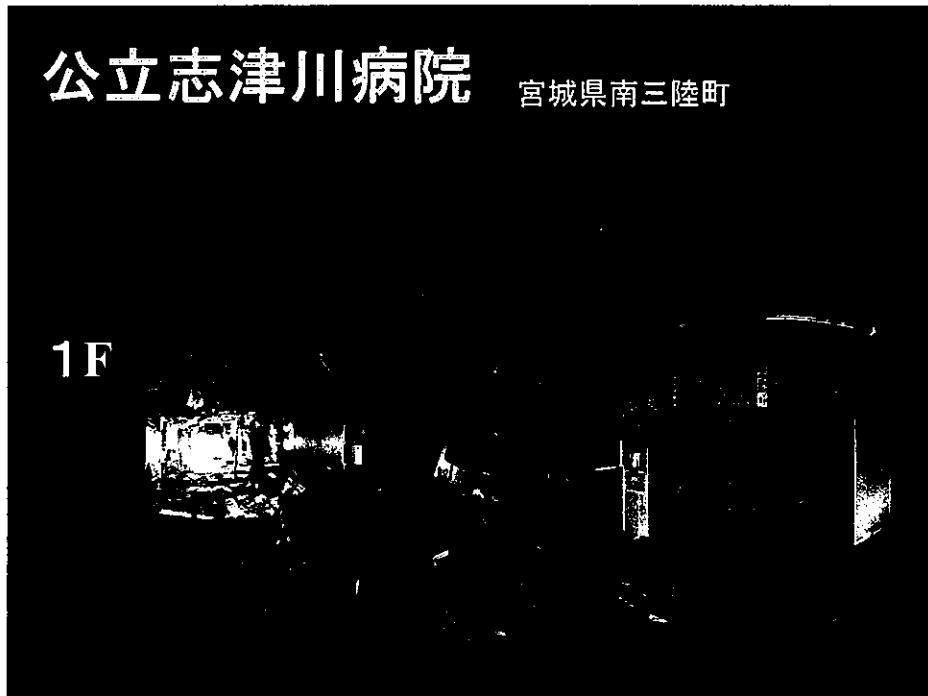
宮城県南三陸町



水没時

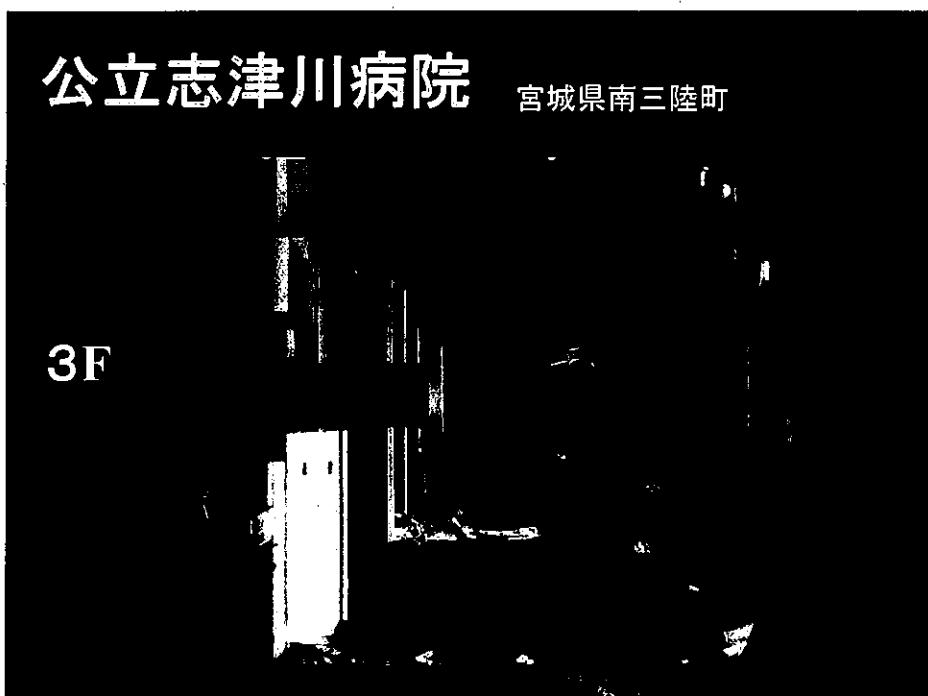
公立志津川病院 宮城県南三陸町

1F



公立志津川病院 宮城県南三陸町

3F



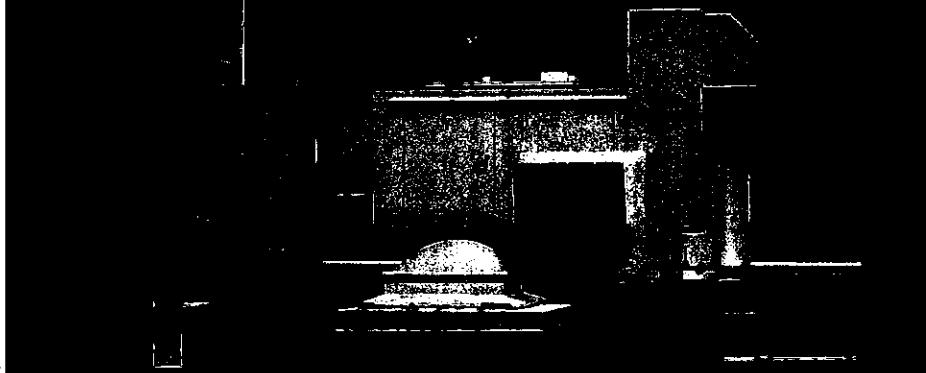
津波防波堤(牟岐浦)

従来の津波浸水予測であれば
効果が期待できるが



防災用自家発電装置

従来の津波浸水予測であれば
使用することが出来るが



非常食、保存水

食料(2700食分)、水(624L)は4Fへ移動した



避難路、トイレ等の確保



屋上の改造

- 1)屋外への出口の新設
- 2)ヘリ移動のためのスペース確保
- 3)転落防護柵の設置
- 4)非常用トイレの置き場所確保

5F倉庫には最低限の備品を保存

備品の充実も検討



緩和ケア(Palliative Care)
感染管理(Inflection Control)
糖尿病看護(Diabetes Nursing)

H22年4月～

日本アレルギー学会
日本緩和医療学会
日本内科学会
日本呼吸器学会
日本感染症学会
日本プライマリケア学会(申請中)
日本リウマチ学会(申請予定)

徳島県:3施設



徳島県:4施設





各病院の平成23年度の課題と取り組み状況
について1-③

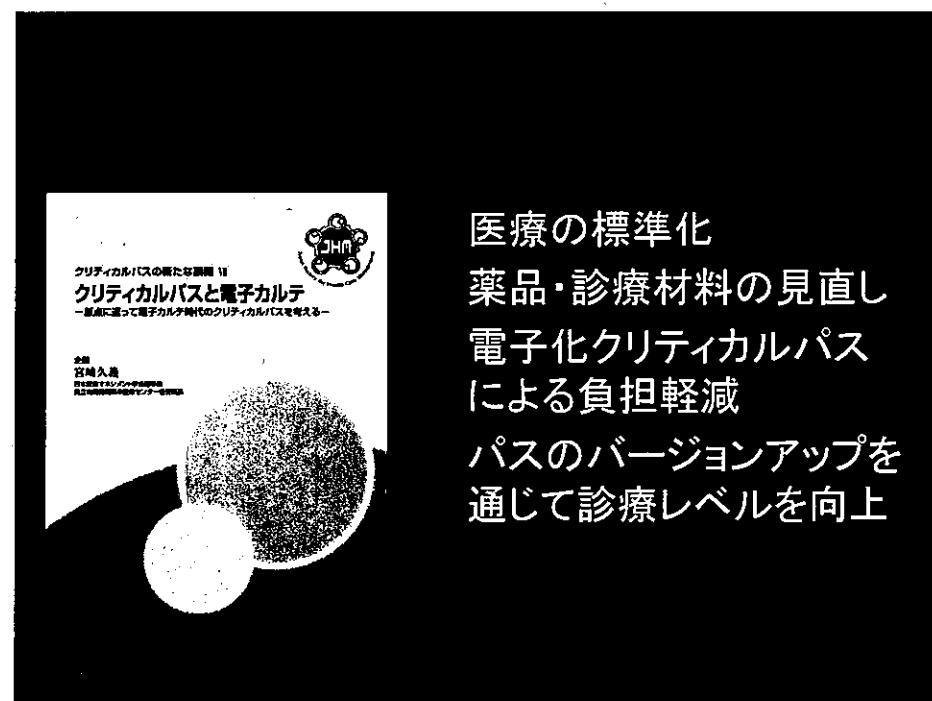
徳島県:4施設



徳島県:1施設



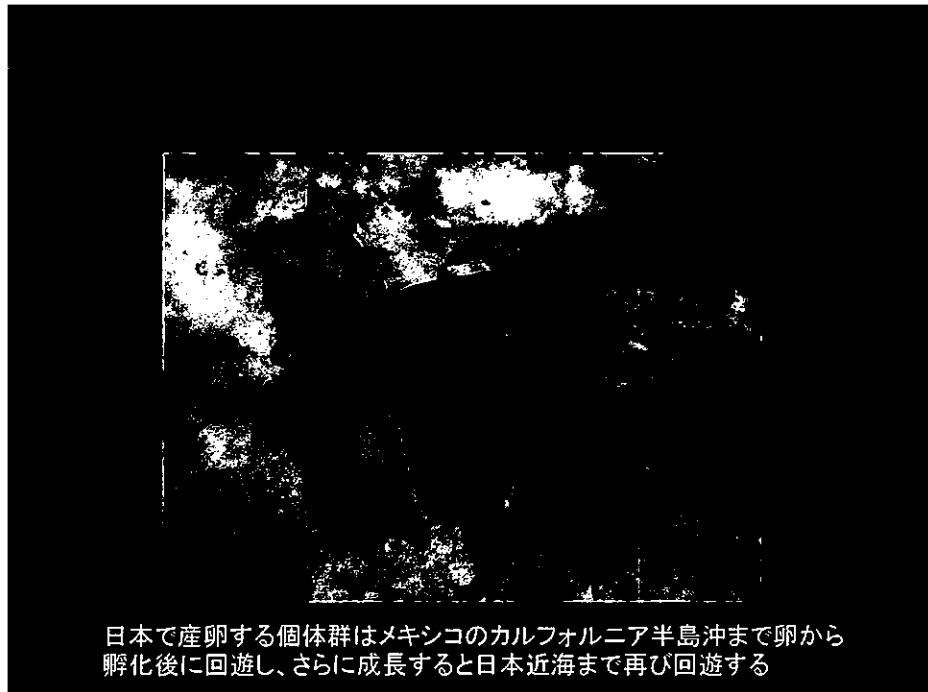
内科カンファランス(毎:火曜日)
医局勉強会(毎:木曜日)
抄読会(毎:火曜日)
院長回診(毎:火曜日、木曜日)
退院前カンファランス(医師、リハ、看護)



各病院の平成23年度の課題と取り組み状況
について1-③

資料1





洛和会音羽病院グループとの連携
指導医の派遣、研修医の受け入れ

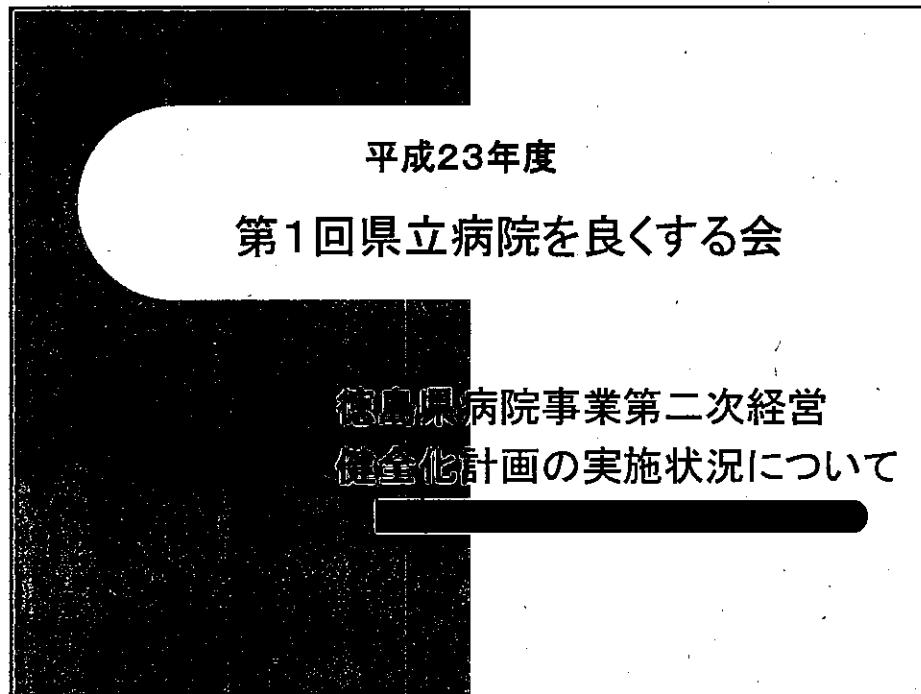
10月に後期研修医を
短期研修に派遣予定



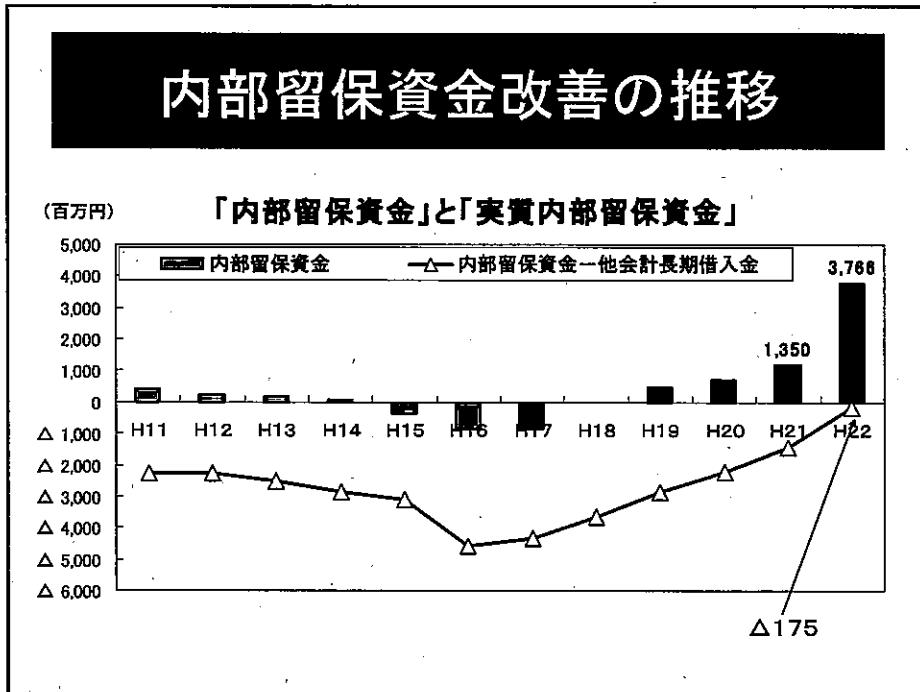
最後に

土曜日救急再開のために
ご支援をお願い致します

第2次経営健全化計画のこれまでの
進捗状況について



平成22年度 病院事業会計 総収支	
○平成22年度 総収支	
中央病院	668,884,220
三好病院	3,691,315
海部病院	45,143,950
本 局	△162,403,292
	555,316,193
平成18年度から5年連続の黒字化を実現	
○平成22年度の累積欠損金 △8,408,623,031円	



健全化計画 収支計画との比較

(単位:百万円)

区分	A H22決算	B H22計画	A-B
総収益	医業収益	15,251	14,869
	医業外収益	1,826	1,610
	特別利益	0	0
	総収益 計	17,077	16,479
	(うち繰入金)	2,426	2,237
総費用	医業費用	16,016	15,754
	(うち給与費)	9,334	8,781
	(うち退職給与金)	994	627
	＜うち退職引当金＞	355	0
	(うち減価償却費)	672	728
	医業外費用	506	399
	特別損失	0	0
	総費用 計	16,522	16,153
	【純損益】	556	326
	【内部留保資金残高】	3,766	4,048

県立病院を良くする会設置要綱

第2条 良くする会は、病院事業の次に掲げる事項について、必要な提言を行う。

- (1) 徳島県病院事業経営健全化計画の達成状況の評価及び見直し
- (2) その他県立病院の基本理念の実現に必要な事項

徳島県病院事業第二次経営健全化計画

5 進行管理

(1) 公表

計画の実施状況を概ね年1回以上、点検評価し、公表する。

(2) 客観性の確保

学識経験者等で構成する「県立病院を良くする会」に諮り、評価の客観性を確保する。

(3) 見直し

公立病院改革ガイドラインによる再編・ネットワーク部分については、徳島県地域医療対策協議会等の検討に合わせ、また、「総合メディカルゾーン構想」に係る具体的な機能連携については、徳島大学病院との協議状況に応じ、隨時変更し「進化する計画」として見直しを図る。

第二次経営健全化計画の評価について

1. 評価の考え方

徳島県病院事業第二次経営健全化計画で定めた経営指標、具体的取り組みの進行状況を評価するものとする。

2. 評価方法

第二次経営健全化計画で定めた目標、取り組み内容について、進行度の自己評価を下記の基準で行い、各委員により再評価していただく。

3. 進行度の評価基準

A：さらに上位レベルの目標設定が可能

B：取り組みは進んでおり、ほぼ計画を達成できる見込みがある

C：検討しているが、取り組みが進んでいるとまでは言えない

D：取り組みは遅れているが、今後着手する見通しがある

E：環境変化等により計画内容の変更が必要

進行度の評価集計表

	A	B	C	D	E	計
本局	11	21		0	0	25
	40	84%		0%	0%	100%
中央病院	4	51		0	0	59
	55	88%		0%	0%	100%
三好病院	9	34		4	0	54
	175	63%		7%	0%	100%
海部病院	0	42		0	0	53
	60	79%		0%	0%	100%
計	14	148		4	0	191
	73	78%		2%	0%	100%

進行度の自己評価(質の確保)①

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
1	がん診療		B	B	B
2	脳卒中及び急性心筋梗塞診療		B	B	B
3	糖尿病診療		B	B	B
4	高度医療の充実		B	B	B
5	急性期医療機能の充実に向けた看護師の増員	A	A	C	B
6	医師確保機能の強化	B	B	D	C
7	医師の安定確保に向けた条件整備	B	B	B	B
8	新たな政策医療等の実施に向けた任用制度の検討				
9	コメディカル職員等の独自採用やスペシャリストの育成				
10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	B	B	B	B
11	医療の質を示す臨床指標(クリニカル・インディケーター)の設定		B	C	B
12	患者さん中心のチーム医療の実践		B	B	B
13	患者さんのQOL(生活の質)を高める、各職種による指導・活動の推進		B	B	C
14	患者さんとの人間関係を重視する取り組みの推進		B	B	B

進行度の自己評価(質の確保)②

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
15	病院ボランティアの充実		C		C
16	患者さんの視点に立ったサービスの提供		B	B	B
17	治療効果を高め、満足していただける食事の提供		B	B	B
18	「新中央病院における療養環境整備」・ 「三好病院及び海部病院における療養環境の充実」		B	B	C
19	各種病院サービスにおける利便性の向上		B		C
20	「県立病院の医療機能を最大限に発揮する、総合的な連携体制構築」・ 「連携による在宅療養支援機能の発揮」		B	B	B
21	医療の標準化に資するクリティカルパス(入院診療計画)の活用促進		B	C	B
22	医療安全文化の確立		C	A	B
23	病院機能評価の更新受審		A	A	B
24	品質管理のための教育・研修の充実		B	B	B
25	「中央病院を中心とした座床研修医の育成」・ 「三好病院・海部病院での地域医療研修の実施」		B	B	B

進行度の自己評価(質の確保)③

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
26	中央病院における徳島大学病院・県医師会との協力による指導医の育成		A		
27	中央病院における学生実習の充実		B		
28	中央病院における、都道府県がん診療連携拠点病院としての、県内医療従事者への研修・啓発		B		
29	中央病院における、地域医療支援病院としての、地域医療機関等との共同研修		A		
30	中央病院における医薬品臨床試験業務(治験)の充実		B		
31	質の高い看護の提供を目指した、キャリアラダーによる研修の実施		B	B	B
32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	B	B	B	B
33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有	B	B	B	B
34	先進病院に対する派遣研修の実施	B	C	B	C
35	育児と仕事の両立支援	B	B	A	B

進行度の自己評価(透明性の確保)

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
1	DPC(診断群分類別包括評価制度)の導入による医療の透明性の向上		B	B	B
2	県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開(再掲)		B	C	B
3	患者さんと一緒に医療を実践する「私のカルテ」の発行		B	B	B
4	病院事業経営内容の公開	B	B	A	B
5	各県立病院毎の「住民参加会議」の開催		B	A	B
6	県民公開講座及び院内健康教室の開催		B	B	B
7	病院広報の充実	B	B	A	B

進行度の自己評価(効率性の確保)①

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
1	安定した内部留保の確保	B			
2	各病院の機能整備の動向に即した施設基準の取得		B	B	B
3	地域連携・機能分担の実情に応じた新規患者の受け入れ		B	B	
4	診療報酬請求漏れの防止		B	B	B
5	使用料・手数料設定の見直し		B		B
6	一般会計繰入金の定期的見直しと透明性の向上	B			
7	後発医薬品の採用拡大		B	C	B
8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	B	B	B	B
9	医療器械購入における競争入札の推進	B	B	B	B
10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	B	B	B	C
11	未収金の発生防止と回収促進	B	B	C	C
12	業務改善の手段としての情報化の推進		B	B	B

進行度の自己評価(効率性の確保)②

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
13	地方公営企業法全部適用による効果の最大限の発揮	B			
14	経営戦略会議の充実	B	B	A	B
15	幹部職員の經營管理力の向上		B	C	B
16	DPC(診断群分類別包括評価)データ活用による経営分析の実施	C	B	B	C
17	目標設定とPDCAサイクルによる進行管理の推進		B	A	B
18	全部門による実績報告・目標発表会の実施	C		A	B
19	堅実な危機管理体制の構築	B	B	B	B
20	3病院及び病院局本局の一体的運営	B			
21	3病院の診療面の連携・協調		B	B	B
22	資産等購入における共同化の拡充	B	B	B	
23	経営指標	B	B	B	

項目:質の確保6	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
医師確保の強化	B	B	C	
各病院の常勤医師の不足が続く状況においては、病院事業管理者を補佐し、医師確保に係る企画・情報収集・交渉等を行う機能を充実するほか、研修医確保のための企画立案や各病院との調整を図るなど、全組織を挙げた医師確保機能の強化に努めます。				
病院局	○臨床研修医の募集パンフレットを作成し、各関係機関に配布			
中央病院	○基幹型の研修プログラムを新設 ○NPO法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を受審し、プログラム内容や研修状況の評価を行い、充実を図った			
三好病院	○医師公舎の整備(H21完了) ○徳島大学の寄附講座 「地域外科診療部」外科医師3名が1週間の間に延べ7日勤務 病院自らも各関係機関の協力を仰ぎながらその確保に努めた。			
海部病院	○徳島大学の寄附講座 「総合診療医学分野」内科医師4名が1週間の間に延べ12日勤務 「地域産婦人科診療部」医師3名が交替。約3年ぶりに分娩を再開。 常勤医不足は解消されていない。			

第2次経営健全化計画のこれまでの進捗状況について

資料2

項目:質の確保20	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
県立病院の医療機能を最大限に発揮する、 切れ目ない連携体制強化	—	B	B	B
<p>「地域の医療機関の機能分化と連携による、必要な医療を切れ目なく提供する体制の構築」を目指し、県立病院と地域医療機関との連携をより一層強化します。</p> <p>また、連携を促進するため、患者さんの治療開始から終了までの全体的な治療計画である「地域連携クリティカルパス」の運用を積極的に進めるとともに、広域でのパスの統一化に努めます。</p> <p>さらに、医療・保健・福祉の領域を超えた連携をリードする地域医療連携部門のスタッフ(看護師・事務・MSW・PSW等の職種)を充実し、関係各機関との調整能力を高めます。【目標項目】</p>				
<p>中央病院 ○脳卒中、急性心筋梗塞、大腿骨頭部骨折、肺がん等、県下統一されたもの、あるいはそれに準ずる地域連携パスを運用し、機能分化と連携を進めた。</p> <p>三好病院 ○地域連携クリティカルパスの導入(県下統一「脳卒中パス22例」) 地域医療連携部門において、新たに相談員(MSW)1名を配置</p> <p>海部病院 ○平成22年4月に地域支援室を設置 (H23. 4. 1当院で最初のMSW配置) 看護師長を含む3名の体制で、地域の医療機関や施設との連携業務の充実を図った。</p>				

項目:質の確保23	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
病院機能評価の更新受審	—	A	A	B
<p>各病院の機能を第三者が多角的に評価する、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価については、既に全病院が受審し認定を受けておりますが、さらに新たな評価項目が加わったVer. 6. 0による再認定を受けるため、各病院が組織的に基準達成に向けた取り組みを行います。【目標項目】→【医療の透明性の確保】</p>				
<p>中央病院 ○平成22年3月更新認定(Ver.6.0)</p> <p>三好病院 ○平成23年3月認定更新(Ver.6.0) 担当者を研修に派遣し、委員会も頻繁に開催し更新認定に努めた。 また、病院管理者及び外部講師に夜研修会を開催した。</p> <p>海部病院 現在:平成20年1月認証(Ver.5.0) 平成24年度の受験に向けVer. 6. 0の解説集等資料の収集に努めた。 今後は、病院機能評価認定推進委員会において現バージョンの推進、管理、見直しを行うとともに、新バージョンの情報を周知し、再認定を受けるため、組織的に基準達成に向けた取組みを行っていきたい。</p>				

第2次経営健全化計画のこれまでの進捗状況について

資料2

項目:質の確保32	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
各種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	B	B	B	B
各県立病院がそれぞれの担うべき機能に応じ研修方針・研修計画を策定し、各職種の資格取得を推進するとともに、取得後の技術・ノウハウ活用を図ります。				
[目標項目]				
病院局	<ul style="list-style-type: none"> ○看護師2名が認定看護師の資格を取得(中央1、海部1) ○皮膚・排泄ケアの分野で認定看護師の養成機関へ看護師を派遣し、研修を終了 			
中央病院	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年6月には、認定看護管理者に2名が資格を取得 ○救急認定看護師取得 感染管理認定看護師は専従、ICTラウンドの開始に繋がっている。 医療技術局では、医学物理士資格取得の為に、計画的な研修会参加等を進めている。 			
三好病院	<ul style="list-style-type: none"> ○20年度誕生の感染管理認定看護師はチーム医療の牽引役として努力でき質の向上に寄与できている。 ○皮膚・排泄ケア認定看護師も23年6月に誕生 ○23年秋にはがん化学療法、救急看護認定看護師養成課程受講が決定している。 			
海部病院	<ul style="list-style-type: none"> ○感染管理認定看護師が誕生 ICTの核となって活動し、院内感染対策の充実に貢献している。 ○分娩再開に向けてエキスパート助産師研修を終了 			

項目:透明性の確保2	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開		B	C	B
患者さんの選択に役立つことや税が投入された病院としての成果を示すため、がんの術後生存率、手術後の死亡率、疾病別手術件数、術後入院日数等、診療の結果や治療成績などの実績について、ホームページでの公開に取り組みます。				
[目標項目]				
中央病院	<p>平成21年度に、臨床指標をホームページに公開しているが、平成22年度には、さらに公開できる臨床指標や公開すべき実績について検討を進めており、23年度に公表する予定である。</p>			
三好病院	<p>科別手術件数、科別・地域別患者数、救急患者数、科別入院平均在院日数等ホームページで公開している。 今後は当院の機能と役割に見合った指標を新規追加し公開へと聚げていく方向に進めている。</p>			
海部病院	<p>科別手術件数、科別・地域別患者数、救急患者数、科別入院平均在院日数、病類別病床利用率、地域別退院患者数、退院死亡率などの指標をホームページで公開している。 今後は、疾病別手術件数や術後在院日数などの臨床指標の公開に取組みたい。</p>			

第2次経営健全化計画のこれまでの進捗状況について

資料2

項目:効率性の確保3	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
地域連携・機能分担の実情に応じた新規患者の受け入れ		B	A(B)	
中央病院及び三好病院については、いずれも核となる医療機能として急性期医療機能の發揮を目指し、診療圏内の地域医療機関との連携により、新規入院患者数の増加を図ります。 【目標項目】				
中央病院 一般病床平均在院日数は、12.2日となり、急性期病院としての機能を発揮している。新規入院患者数は、453名増加の9,229名となった。 紹介率74.7%、逆紹介率73.2%				
三好病院 社会的要請や医療・保健環境の特性に応じる地域中核病院機能の取り組みとして、つるぎ町立半田病院・三好市立三野病院の間で、「徳島県西部保健医療圏における適正な医療を確保するための協定書」を締結し、3病院間の協力体制を実施している。 また、急性期医療分野での機能を十分に果たすためには、今後も引き続き診療圏内の病院及び診療所との連携に向けた検討・協議を行うとともに、医師の確保に向けた取り組みを強化する必要がある。 ○一般病床平均在院日数 17.1日【平成22年度】 新規入院患者数121名増加の3,101名 紹介率31.8%、逆紹介率30.5%				

項目:効率性の確保 9	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
医療器械購入における競争入札の推進		B	B	B
一般の医療器械については、今後も特別な理由があるものを除き、競争入札により購入します。 また、高額医療器械については、保守経費も含めた一般競争入札の他、総合評価一般競争入札の実施を検討し、総合的なコスト抑制や品質の確保を図ります。				
病院局 ○平成22年度における一般競争入札の実施としては、予定価格が1千万円以上の医療器械等については、すべて競争入札により執行				
中央病院 ○一般的医療器械については、特別な理由があるものを除き、競争入札により購入するように努めた				
三好病院 ○予定価格が30万円以上の医療器械の購入について競争入札を実施				
海部病院 ○医療器械の購入5件のうち3件について指名競争入札を実施 ○1件(X線撮影装置)は一般競争入札(三好病院との共同購入)により購入 ○高額医療器械については総合評価一般競争入札の実施を検討した				

第2次経営健全化計画のこれまでの進捗状況について

資料2

項目:効率性の確保16 DPC(診断群分類別包括評価)データ 活用による経営分析の実績	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
	C	B	B	C
DPCの導入により明らかになるMDC(主要診断群)別の患者数の他、傷病・診療行為(手術・処置等)のデータを解析し、各病院の入院診療に係る実績として公開に取り組みます。【目標項目】				
病院局	DPC医療機関別係数の資料を作成し、医事担当者会議等で活用方法の検討を行った。			
中央病院	○不定期ながら、DPCデータの分析を実施した。 今後、定期的に診療データや統計データの分析を実施し、活用できるように推進する。			
三好病院	○平成22年度においては、DPC準備病院として厚生労働省の実施する「DPC導入の影響評価に係る調査」に新規参加 全国自治体病院協議会DPCデータ分析事業に参加、分析結果をDPC導入準備委員会で検討している (平成23年度においては、DPC導入の影響評価に係る調査への参加を継続することにより、平成24年度からDPC対象病院としてDPCによる診療報酬の請求ができるようにする)			
海部病院	平成21年7月に導入したが、まだ充分なデータ活用はできていない。 今後、診療データ及び統計データの分析を行い、医療の質の向上等に活用していくたい。			

參 考 資 料

病 院 局

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 5	急性期医療機能の充実に向けた看護師の増員	所管部局	人事給与担当		
内 容	新中央病院においては、東部Ⅰ保健医療圏における急性期病院として、さらに機能を高めるため、一般病棟入院基本料の7:1入院基本料施設基準の取得を目指し、看護師を増員します。[目標項目：平成24年度]				
実施概要	21	22	23	24	25
○7:1看護の実施	増員	増員	増員	実施	実施
平成22年度の主な推進状況	新中央病院における7:1入院基本料施設基準の取得を目指し、看護師の増員を図った。				
進行度の評価	A				

推進項目 6	医師確保機能の強化	所管部局	人事給与担当		
内 容	各病院の常勤医師の不足が続く状況においては、病院事業管理者を補佐し、医師確保に係る企画・情報収集・交渉等を行う機能を充実するほか、研修医確保のための企画立案や各病院との調整を図るなど、全組織を挙げた医師確保機能の強化に努めます。				
実施概要	21	22	23	24	25
○全組織を挙げた医師確保機能の強化	推進	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	臨床研修医の募集パンフレットを作成し、各関係機関に配布し、医師確保に努めた。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

趣題 7	医師の安定確保に向けた条件整備	所管部局	人事給与担当		
内 容	救急部門における件数増加に伴う医師の過重労働や、病院全体の医師数減少に伴う負担が増加している状況において、医師の負担軽減とモチベーション向上につながる改善を実施することにより、今後の医師の離職防止に努めます。				
実施概要	21	22	23	24	25
○医師事務作業補助員の効果検証とともに、各補助員の能力向上を図り、積極的に活用 ○医師公舎等の居住環境の改善 ○資格取得や研修等の自己啓発に一定期間集中できる、自己啓発等休業制度の活用が図られるような環境整備に努める ○地域医療を自ら守ろうという趣旨で活動する団体や地元自治体と連携を強め、医師の離職防止を図る	活用 未検討	活用 検討	活用 推進	活用 推進	活用 推進
平成22年度の主な推進状況	医師事務作業補助員の積極的活用を図り、医師の負担軽減に努めた。				
進行度の評価	B				

趣題 8	新たな政策医療等の実施に向けた任用制度の検討	所管部局	人事給与担当		
内 容	県立病院において、今後5年間における新たに担うべき医療機能の發揮のために、迅速に職員の資質向上や体制整備を図る必要があるため、任期付職員の任用について検討します。				
実施概要	21	22	23	24	25
○任期付職員の任用	未活用	検討	実施	実施	実施
平成22年度の主な推進状況					
進行度の評価	C				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

－平成22年度の進捗状況について

●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

指標 9	コメディカル職員等の独自採用やスペシャリストの育成	所管部局	人事給与担当		
内 容	県立病院における技術・能力の組織としての蓄積を図るとともに、特定の専門性を必要とする業務に従事する職員を育成するため、薬剤師等の職種において、病院局独自採用等、スペシャリストの育成を図ります。				
実施概要	21	22	23	24	25
○病院局独自採用の実施	未実施	検討	調整	実施	実施
平成22年度の主な推進状況					
進行度の評価	C				

指標 10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	所管部局	人事給与担当		
内 容	地域医療連携の推進にあたり、重要な役割を果たすMSW（メディカルソーシャルワーカー）・精神保健福祉士（PSW）、医療機器の安全管理の向上を図るための臨床工学技士について、適正な確保を図ります。				
実施概要	21	22	23	24	25
○MSWの確保	試験実施	確保			
○精神保健福祉士（PSW）の確保	確保				
○臨床工学技士の確保	試験実施	確保			
平成22年度の主な推進状況	MSW 2名の選考採用試験を実施し、平成23年4月からの採用を図った（MSW：中央病院・海部病院に配置）				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

推進項目 32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	所管部局	人事給与担当
内 容	各県立病院がそれぞれの担うべき機能に応じ研修方針・研修計画を策定し、各職種の資格取得を推進するとともに、取得後の技術・ノウハウ活用を図ります。 【目標項目】		
実 施 概 要	21	22	23
○資格取得を推進 認定看護師数 【平成25年度】 病院事業全体で12名	実 施	実 施	推 進
○資格取得後の技術・ノウハウの活用	実 施	実 施	推 進
平成22年度の主な推進状況	看護師2名が認定看護師の資格を取得した。また、皮膚・排泄ケアの分野で認定看護師の養成機関へ看護師を派遣し、研修を終了した。		
進行度の評価	B		
24	25		

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有	所管部局	人事給与担当
内 容	各県立病院職員が一堂に会して日頃の研究成果を発表する「県立病院学会」を引き続き開催し、職員の相互交流と知識の向上・共有を図ります。		
実 施 概 要	21	22	23
○「県立病院学会」の開催	実 施	実 施	推 進
平成22年度の主な推進状況	2月5日、とくぎんトモニプラザにおいて、第5回「県立病院学会」を開催し、約120名が参加した。3病院からは11演題が発表された。また、特別講演は広島県緩和ケア支援センターの本家センター長による「緩和ケアにおける地域連携」という演題で緩和ケアに関する講演が行われた。		
進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

課題 34	先進病院に対する派遣研修の実施	所管部局	人事給与担当			
内 容	県立病院の核となる医療機能の発揮に向けて、救急医療・がん医療などにおける先進病院への派遣研修を実施します。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○先進病院への派遣研修の実施	実 施	実 施	推 進	推 進	推 進
平成22年度の 主な推進状況	薬剤師を「がん薬物療法認定薬剤師養成研修」へ派遣した。また、看護師を、がん看護技術の習得及び先進病院での臨地実習を行う「がん専門分野における質の高い看護師養成研修」へ派遣した。					
	進行度の評価	B				

課題 35	育児と仕事の両立支援	所管部局	人事給与担当			
内 容	育児短時間勤務制度の活用など、職員の育児と仕事の両立を図ることのできる環境整備に努めます。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○育児短時間勤務制度の活用等	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の 主な推進状況	育児休業取得者のべ84名、小学校就学前の子を持つ職員の深夜勤務制限適用者のべ24名。 育児休業等制度の一部改正により、非常勤職員について育児休業を取得することができるようとした。					
	進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の透明性の確保における進捗状況

推進項目 4	病院事業経営内容の公開	所管部局	予算企画担当・経営戦略担当				
内 容	病院事業の決算内容や医療の質・透明性・効率性の向上に向けた取り組み内容について、今後も引き続き、ホームページを活用して積極的に公開します。						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○決算内容や取り組み内容についてのホームページ公開		実施	推進	推進	推進	推進	
平成22年度の主な推進状況		平成22年度の病院事業の決算内容については、ホームページで公開した。また、医療の質・透明性・効率性の向上に向けた取り組み内容の1つとして、病院局経営戦略会議の議題に加えて、議事録をホームページで公開した。					
進行度の評価		B					

●医療の透明性の確保における進捗状況

推進項目 7	病院広報の充実	所管部局	政策調整担当	
内 容	病院局及び各病院のホームページを充実し、患者さんには地域医療連携の重要性や必要性等、医療についてわかりやすく説明するとともに、病院の姿が実感できる、親しみやすい情報の提供に努めます。 また、他の医療機関、将来医療を志す方等に向けては、診療機能や臨床研修に関する情報提供を充実します。 さらに、各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供も積極的に実施します。			
実 施 概 要		21	22	
○ホームページの充実 ○各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供	推進 推進	推進 推進	推進 推進	
平成22年度の主な推進状況		ホームページの充実として、新着情報など積極的な情報提供に努めた。 また、看護師募集に関するバナー広告や看護師及び臨床研修医募集に関するパンフレットを作成した。		
進行度の評価		B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

議題 1	安定した内部留保の確保	所管部局	経営戦略担当・予算企画担当		
内 容	計画期間中の安定した経営基盤の確立のためには、内部留保（流出を伴わず留保される資金）の確保が重要であり、各病院の毎年度の収支上における償却前利益計上が必要となります。 病院事業としては、県立3病院の置かれている経営状況を一体的に捉え、単体における経営資源の不足や非効率性を、診療支援や各種の共同化等で補いながら、全体としての不良債務の発生防止に努めます。 (単位：百万円)				
実施概要	21	22	23	24	25
○県立3病院の置かれている経営状況を一体的に捉えた内部留保の確保 ※()内計画	1,350 (734)	3,766 (1,048)	(892)	(529)	(348)
平成22年度の主な推進状況	健全化計画の収支計画と比較すると、収支は計画が326百万円の純利益を見込んでいたが、実績では555百万円の純利益となり計画値を達成。 資金では、計画が1,048百万円の内部留保を見込んでいたが、実績では3,766百万円の内部留保となり、計画値を大きく上回った。 なお、収支には355百万円の退職給与引当を含んでいる。				
進行度の評価	B				

議題 6	一般会計繰入金の定期的見直しと透明性の向上	所管部局	予算企画担当		
内 容	一般会計繰入金については、計画期間における新たな政策医療の実施に応じ、定期的に見直しを図ります。 また、繰入金の内容について、わかりやすい公表に努めます。				
実施概要	21	22	23	24	25
○定期的な見直しの実施	項目追加	見直し			見直し
○繰入金の内容についてのわかりやすい公表	総額公表	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度は、総務省の「繰出基準」改訂を受け、感染症医療政策に要する経費（三好病院、海部病院）を新たに繰り出し項目に追加。 平成12年度から平成22年度の収益的収入の繰入総額及び決算内容等について、病院局ホームページで公表。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	所管部局	予算企画担当		
内 容	各病院における委託契約・賃借契約については、委託業務内容・賃借契約内容と金額のバランスを検証し、効率性と品質管理の両面から見直しに努めます。また、複数年の継続契約、一括委託契約（複数業務を集約した、包括的な委託契約）、3病院を統一した一括契約等についても、積極的に実施します。				
	実 施 概 要	21	22	23	24
	○委託契約・賃借契約の見直し ○複数年の継続契約、一括委託契約の実施 ○3病院を統一した一括契約等の実施	実 実 実 実	施 施 施 施	推 推 推 进	進 進 進 進
平成22年度の主な推進状況	<p>委託契約・賃借契約の見直しについては、主な委託契約の内容比較を3病院で行い、契約額等品質の検証を続けている。</p> <p>平成22年度は、看護師等のユニホームについて3病院を統一した一括契約を締結するとともに、三好病院の給食業務について直営事業から民間業者との委託契約へ変更を行った。</p> <p>複数年の継続契約については、病院事業に適した条例改正を関係課に対して働きかけ、条例改正が整えば、対象事業について長期継続契約の拡大に努めたい。</p>				
	進行度の評価	B			

課題 9	医療器械購入における競争入札の推進	所管部局	予算企画担当		
内 容	一般の医療器械については、今後も特別な理由があるものを除き、競争入札により購入します。				
	また、高額医療器械については、保守経費も含めた一般競争入札の他、総合評価一般競争入札の実施を検討し、総合的なコスト抑制や品質の確保を図ります。				
	実 施 概 要	21	22	23	24
	○一般競争入札、総合評価一般競争入札の実施	実 施	実 施	推 進	推 進
平成22年度の主な推進状況	<p>平成22年度における一般競争入札の実施としては、基本的に本局で執行することとなる1品の予定価格が1千万円以上の医療器械等については、すべて競争入札により執行を行った。</p> <p>今後とも、物品購入については原則一般競争入札として、高額医療器械については、各病院の「物品購入業者選定委員会」や病院局の「病院事業医療器械等購入審議会」に諮り、仕様書、契約方法等について事前審査を行い、適正な購入手続きを努めることとする。</p>				
	進行度の評価	B			

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	所管部局	人事給与担当 予算企画担当			
内 容	給食・清掃・洗濯等のホテルサービス部門については、職員の転出先にも配慮しつつ、外部委託に積極的に取り組みます。 また、検体検査業務、滅菌材料室、院内施設維持管理、一般事務等についても、引き続き外部委託に取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○ホテルサービス部門の外部委託 ○一般事務等の外部委託		実 施	実 施	推 進	推 進	推 進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度における一般事務等の外部委託としては、長期継続契約に関する条例が活用できる業務については、これを活用する等、品質を維持した上で経費節減に努めた。					
進行度の評価	B					

推進項目 11	未収金の発生防止と回収促進	所管部局	予算企画担当			
内 容	患者さんの診療費用については、24時間会計の実施や支払い相談の充実等により、未収金の発生防止に努めます。 また、未収金が発生した場合には、速やかに支払い督促を実施し、納入指導の徹底により、回収不能債権の発生防止に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○24時間会計の実施 ○支払い相談の充実 ○速やかな納入指導の徹底		実 施 実 実	実 施 実 実	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進
平成22年度の主な推進状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中央病院において24時間会計を実施(H21.4～)。 ・電話、戸別訪問による督促。督促状の送付。 ・入院患者に対する高額療養費制度等の説明や退院時支払の徹底。 ・悪質な債務者に対しては、支払督促等法的措置を実施。 					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 13	地方公営企業法全部適用による効果の最大限の發揮	所管部局	政策調整担当・人事給与担当・予算企画担当			
内 容	病院事業管理者に与えられた人事・予算等の権限を最大限に發揮し、柔軟性に富んだ経営を実施するために、今後も開設者との相互理解・相互信頼の下で緊密な連携に努めます。 また、その一つの施策として、「医療の確保と健全化をすすめる会」を定期的に開催します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○柔軟性に富んだ経営を実施 ○「医療の確保と健全化をすすめる会」の定期的な開催		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計の負担を伴わない支出項目については、病院局が主体性を持って予算編成、予算執行を行うなど、経営環境の変化に対し、予算面で迅速に適切な対応をとった。 看護師の年度途中の欠員等を迅速に補充するため、通常の4月採用に加え、10月に採用試験を行った。 開設者である知事との緊密な連携を行うため、「医療の確保と健全化を進める会」を平成22年11月に開催。 					
進行度の評価	B					

推進項目 14	経営戦略会議の充実	所管部局	経営戦略担当
内 容	本局及び各病院で開催している経営戦略会議について、病院局本局職員と各病院の幹部職員が、環境変化に迅速に対応し、戦略的な取り組みを議論する場として、また、各病院職員が経営問題を共有する場として引き続き実施し、内容を充実します。		
実 施 概 要		21	22
○経営戦略会議の内容の充実		検討	検討・実施
平成22年度の主な推進状況	平成22年度についても、本局と各病院間の情報共有を深め、戦略的な取り組みを議論する場として、病院局経営戦略会議を引き続き毎月1回開催した。		
進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 16	D P C（診断群分類別包括評価）データ活用による経営分析の実施	所管部局	政策調整担当				
内 容	D P Cの運用から得られる自院の診療データ及び厚生労働省から公表される統計データの分析を行い、医療の質の向上・コスト削減・経営戦略策定等に積極的に活用します。						
	実 施 概 要	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	
	○診療データや統計データの分析、活用	推 進	推 進	推 進	推 進	推 進	
平成22年度の主な推進状況	D P C 医療機関別計数の資料を作成し、医事担当者会議等で活用方法の検討を行った。 進行度の評価 C						

推進項目 19	堅実な危機管理体制の構築	所管部局	経営戦略担当					
内 容	各病院職員が救急勉強会、A C L S、B L S、A E D講習会等救急に関する研修を定期的に行い、スキルアップを図ることにより、院内での急変時の対応や災害発生時の患者受け入れ体制を強化します。 また、災害拠点病院である各病院においては、大規模災害や新型インフルエンザ等の災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修実施に取り組むとともに、災害対策マニュアルの改訂を行います。 さらに、病院局全体が組織的に迅速な行動が実施できるよう、各病院と病院局本局との連携体制の堅持に努めます。							
	実 施 概 要	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5		
	○災害対策マニュアルの改訂 ○各病院と病院局本局との連携体制の堅持	制定 実施	推進	推進	推進	推進		
平成22年度主な推進状況	平成23年1月に実施した県図上訓練において、各病院の被害状況の確認やDMA Tの派遣及び受入れの調整等を徳島県病院局災害対策マニュアルに基づき、各病院と病院局本局が緊密に連携を取り合いながら行い、各病院と病院局本局の連携体制を確認した。							
	進行度の評価	B						

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

題目 20	3病院及び病院局本局の一体的運営	所管部局	人事給与担当		
内 容	めまぐるしく変化し、厳しさを増す経営環境の中で、地方公営企業法の全部適用という経営形態で基本理念の実現を図るために、病院事業管理者をトップとした組織を、より一体的に運営し、かつ迅速な意思決定と行動が実行できる効率的・機動的な組織づくりを検討します。 また、これまでも実施してきた3病院間の職員の人事交流について、今後も積極的に実施します。				
実施概要	21	22	23	24	25
○効率的・機動的な組織づくりの検討 ○3病院間の職員の人事交流の積極的な実施	実施 実施	実施 実施	実施 実施	実施 実施	実施 実施
平成22年度の主な推進状況	3病院間（及び本局）の人事交流を医師・看護師・事務等で実施				
進行度の評価	B				

題目 22	資産等購入における共同化の拡充	所管部局	予算企画担当		
内 容	各種の器械・材料・消耗品等の購入については、今後も引き続き共同化のメリットを追求し、効率化に努めます。 なお、総合メディカルゾーンの機能連携の一つとして、徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入について検討します。				
実施概要	21	22	23	24	25
○高額医療器械（同種器械の一括入札推進、同一メーカー器械の一括入札検討） ○医薬品 ○医療材料（使用品目の絞り込みと共同購入対象品目数の拡大） ○その他（主要給食材料・消耗品・燃料等） ○徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入についての検討	実施 実施 実施 実施 実検	実施 実施 実施 実施 実検	推進 推進 推進 推進 施討	推進 推進 進討 進討 討	推進 推進 進
平成22年度の主な推進状況	医薬品、医療材料については、3病院一括での共同購入を実施することで、経費削減が図られるとともに、標準化による運用等の統一により、医療安全面においても効果があった。 高額医療器械では、平成22年度に三好病院、海部病院のX線撮影装置を一括入札で購入し、価格低減を図ることができた。 また、徳島大学との総合メディカルゾーンの機能連携について、今後も検討を続け、医療材料の共同購入の具体策について話し合っていくこととしている。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について
●医療の効率性の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 23	経営指標	所管部局	経営戦略担当			
内 容	経営指標のうち経常収支比率・職員給与費対医業収益比率・病床利用率（精神病床を除く）については、公立病院改革ガイドラインの規定により平成23年度を目標値として取り組みます。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
○経常収支比率 102.0%	102.2%	102.0%	100.1%	94.1%	94.7%	
○病床利用率（精神病床を除く） 79.7%	79.9%	79.7%	79.7%	81.2%	82.0%	
○職員給与費対医業収益比率 56.9% 【平成23年度】	56.9% 推進	56.9% 推進	58.9% 達成	58.2% 推進	57.0% 推進	
平成22年度の主な推進状況	平成22年度の 経常収支比率は、103.4%であり、22年度の目標値である 102.0%を1.4%と同じ実績となり目標達成。 病床利用率は、73.7%であり、22年度の目標値である 79.7%を6.0%下回っており目標未達成。 職員給与費対医業収益比率は、58.6%であり、22年度の目標値である56.9%を1.7%超過しており目標未達成。					
進行度の評価	B					

參 考 資 料

中 央 病 院

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

課題1	がん診療	所管部局	中央病院			
内 容	地域がん診療連携拠点病院である県立中央病院を中心に、手術・化学療法・放射線治療による質の高い治療を実施します。また、がん患者及び家族のQOL向上を図るとともに、病院内のがんに関するデータを把握する「院内がん登録」に取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○質の高い治療を実施 ○がん患者及び家族のQOL向上 ○「院内がん登録」		実施 実施 実施	実施 実施 実施	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度は、手術・化学療法(無菌製剤4,988件)、放射線治療(ライナック3,562件)、院内がん登録(約850件)を実施した。 がん患者のQOL向上として、がん相談の窓口について、分かりやすく表示をしました。					
進行度の評価	B					

変更:H22.3.3 都道府県がん診療連携拠点病院から地域がん診療連携拠点病院に変更。

課題2	脳卒中及び急性心筋梗塞診療	所管部局	中央病院			
内 容	救急・急性期分野を中心とした治療を実施します。また、地域連携クリティカルバスの運用に取り組み、地域における医療・福祉機関と円滑な連携を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○地域連携クリティカルバスの運用 ○地域における医療・福祉機関との円滑な連携		実施 実施	実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	脳卒中は県下統一の地域連携バスで運用され、急性心筋梗塞は、県下統一の地域連携バスを運用した。肺がんと大腸がんに関しては地域連携クリティカルバスを作成し、届け出をした。地域連携バスを在宅・介護(福祉)へと繋げていけるような連携を進めたい。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

種類 3	糖尿病診療	所管部局	中央病院		
内 容	急性増悪時の治療を実施するとともに、各職種による指導により、患者さんの日常の生活・療養面の改善に貢献します。				
実施概要	21	22	23	24	25
○各職種による指導により、患者さんの日常の生活・療養面を改善	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	引き続き、糖尿病対策支援チームによる教室にて、支援・相談等を定期的に開催し、患者さんの生活指導等についても不定期ながら実施し、日常の生活・療養面の改善に努めた。				
進行度の評価	B				

種類 4	高度医療の充実	所管部局	中央病院		
内 容	引き続き、高度技術を要する内視鏡医療やインターベンション医療（連続血管撮影装置等を利用した血管内治療法）の積極的推進を図り、また、高度医療器械を効率的に使用し、地域医療連携として積極的活用を図ります。				
実施概要	21	22	23	24	25
○高度医療の積極的推進	実施	実施	推進	推進	推進
○地域医療連携としての積極的活用	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度は、内視鏡・D S A（連続血管撮影装置、1,514件）・C T（18,078件）・ライナック（3,572件）・MR I（4,341件）・R Iは、当日検査可能となり、1台体制のMR Iは、約2週間待ちである。また、地域医療連携を推進し、紹介率（74.7）、逆紹介率（73.2）となった。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

課題 5	急性期医療機能の充実に向けた看護師の増員	所管部局	中央病院
内 容	新中央病院においては、東部Ⅰ保健医療圏における急性期病院として、さらに機能を高めるため、一般病棟入院基本料の7:1入院基本料施設基準の取得を目指し、看護師を増員します。[目標項目：平成24年度]		
	実 施 概 要	21	22
	○7:1看護の実施	推進 10:1	推進 10:1
平成22年度の主な推進状況	平成23年6月より、7:1入院基本料施設基準を取得した。6月の入院収益は実稼働額ベースで、入院基本料の15%増となり、実稼働額に反映されているのを確認した。		
	進行度の評価	A	

課題 6	医師確保機能の強化	所管部局	中央病院
内 容	各病院の常勤医師の不足が続く状況においては、病院事業管理者を補佐し、医師確保に係る企画・情報収集・交渉等を行う機能を充実するほか、研修医確保のための企画立案や各病院との調整を図るなど、全組織を挙げた医師確保機能の強化に努めます。		
	実 施 概 要	21	22
	○全組織を挙げた医師確保機能の強化	実施	実施
平成22年度の主な推進状況	引き続き、徳島大学病院の研修プログラムの協力型病院となる一方、当院の基幹型の研修プログラムを新設することにより、選択肢を拡げ、NPO法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を受審し、プログラム内容や研修状況の評価を行い、充実を図った。その他に、当院単独の臨床研修説明会の開催、あるいは病院見学の受け入れに力を入れることにより、一層の臨床研修医確保に努めた。また、平成21年度には香川大学病院の協力型として2年次で2名の定員を設ける等、1人でも多くの研修医が当院で研修を受け、後期臨床研修医として残っていただけるような魅力ある病院になるよう努めている。		
	進行度の評価	B	

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 7	医師の安定確保に向けた条件整備	所管部局	中央病院			
内 容	救急部門における件数増加に伴う医師の過重労働や、病院全体の医師数減少に伴う負担が増加している状況において、医師の負担軽減とモチベーション向上につながる改善を実施することにより、今後の医師の離職防止に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○医師事務作業補助員の効果検証とともに、各補助員の能力向上を図り、積極的に活用 ○医師公舎等の居住環境の改善 ○資格取得や研修等の自己啓発に一定期間集中できる、自己啓発等休業制度の活用が図られるような環境整備に努める ○地域医療を自ら守ろうという趣旨で活動する団体や地元自治体と連携を強め、医師の離職防止を図る	実施 実施 実施 実施	実施 実施 実施 実施	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	緊急雇用対策事業を活用し、医師事務作業補助員を11名雇用し、臨時職員の9名を加え、合計20名になった。また、能力向上、積極的活用のため、講習会等を開く等、医師の負担を軽減すべく改善を進めた。 医師公舎等の居住環境の改善に努めた。 資格取得や研修等の自己啓発ができるように努めている。 地域説明会を開催し、住民の代表に参加していただいた。					
進行度の評価	B					

推進項目 10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	所管部局	中央病院			
内 容	地域医療連携の推進にあたり、重要な役割を果たすMSW（メディカルソーシャルワーカー）・精神保健福祉士（PSW）、医療機器の安全管理の向上を図るために臨床工学技士について、適正な確保を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○MSWの確保 ○精神保健福祉士（PSW）の確保 ○臨床工学技士の確保	検討 検討 検討	検討 検討 検討	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	地域医療連携のため、MSWやPSW、臨床工学技士の必要性について検討し、適正な確保を図るため増員要求を出した。結果、平成22年度には、臨床工学技士は2倍の6名を配置することができた。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について
●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 11	医療の質を示す臨床指標（クリニカル・インディケーター）の設定	所管部局	中央病院			
内 容	県立病院における診療の結果や治療成績などの実績を適切に評価し、担うべき医療機能への貢献度の測定や、院内での研修方針への活用、また、県民へ情報開示することを目指して、臨床指標設定のためのデータ収集や分析に取り組みます。 【医療の透明性の確保で再掲載】					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
○臨床指標設定のためのデータ収集や分析への取組		実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	ホームページに掲載する臨床指標（クリニカル・インディケーター）について、既に表示されているが、担うべき医療機能への貢献度の測定や県民へ情報開示について、さらに検討を重ねた。23年度内にHP掲載予定。					
	進行度の評価	B				

推進項目 12	患者さん中心のチーム医療の実践	所管部局	中央病院			
内 容	患者さんを中心として、全ての職種が、ファイン・チームワークを発揮しスペースを埋めながら医療を行う「チーム医療」に、今後も引き続き取り組みます。 また、各チーム合同によるカンファレンスや研修会を積極的に実施します。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
○「チーム医療」の推進 ○各チーム合同によるカンファレンスや研修会の実施		実施検討	実施検討	推進検討	推進検討	推進検討
平成22年度の主な推進状況	平成22年度は、引き続き、栄養サポートチーム、褥そう対策チームや緩和ケアチームによる支援を行った。糖尿病対策検討チームによる定期開催の教室、患者指導(年4回程度)等も実施、また、DMA Tの研修も実施して、これからもチーム医療を推進していくが、各チーム合同カンファレンス等についても、引き続き、検討を進めている。					
	進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 13	患者さんのQOL（生活の質）を高める、各職種による指導・活動の推進	所管部局	中央病院	
内 容	各職種の職員が、それぞれ有する専門的能力を発揮し、患者さんのQOL（生活の質）を高め、回復力・予防力の向上に貢献する指導や相談事業等を積極的に実施します。 [目標項目]			
	実 施 概 要	21	22	
	○薬剤管理指導件数【平成25年度】7,000件	3,867	4,678	
	○栄養管理指導件数【平成25年度】845件	1,009	1,266	
	○検査手帳の作成及びレントゲン手帳の運用【平成22年度】	検討	検討	
		23	24	
		6,000	6,500	
		1,100	1,150	
		実施	改訂	
			7,000	
			1,200	
			推進	
平成22年度の主な推進状況	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤管理指導は人員不足のため、目標の8割半ばの実施であった。 ・栄養管理指導件数は、既に目標を超えたので目標を変更した。 ・検査手帳の作成及びレントゲン手帳は、二つを一体化して作成すべく進めましたが、不祥事の発生により中断し、平成23年度より実施予定である。 			
	進行度の評価	B		

※ 栄養管理指導件数について、目標変更。

推進項目 14	患者さんとの人間関係を重視する取り組みの推進	所管部局	中央病院	
内 容	<p>患者さん中心の医療の実践と患者さんの医療への主体的な参加支援を掲げ、平成17年度に制定した「患者の権利章典」については、より一層の患者さんへの周知と職員への浸透を図ります。</p> <p>また、患者さんが納得して治療を受けるための「インフォームドコンセント（説明と同意）」を徹底し、誠意を持って説明に取り組むとともに、患者さんの不安解消や治療に関する自己決定を支援する「セカンドオピニオン相談」について、引き続き推進します。</p>			
	実 施 概 要	21	22	
	○「患者の権利章典」の患者さんへのより一層の周知	実施	実施	
	○「患者の権利章典」の職員への浸透	実施	実施	
	○「インフォームドコンセント（説明と同意）」の徹底	実施	実施	
	○「セカンドオピニオン相談」の推進	実施	実施	
		23	24	
		推進	推進	
平成22年度の主な推進状況	<p>「患者の権利章典」については、病院各所に掲示し、患者さんへの周知や職員への浸透を図った。「インフォームドコンセント（説明と同意）」については取組を徹底させ、平成22年度の「セカンドオピニオン相談」件数は2件しかなかったので、増やすように検討を重ねている。</p>			
	進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

課題 15	病院ボランティアの充実	所管部局	中央病院	
内 容	病院ボランティアの受入については、既に実施している病院環境整備や案内だけでなく、傾聴ボランティア等にも拡大するとともに、ボランティア参加者からのご意見を参考に、参加しやすい環境づくりに取り組みます。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○傾聴ボランティア等のボランティアの新規拡大	推進	推進	推進
	○ボランティアに参加しやすい環境づくりへの取組	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度のボランティア数は4名であった。常に募集しており、控え室を設け、研修等を実施しているが、減少している。病院が新しくなると募集人数が増加に転じるよう周知を徹底させたい。			
	進行度の評価	C		

課題 16	患者さんの視点に立ったサービスの提供	所管部局	中央病院	
内 容	職員一人一人が患者さんの視点に立った対応について一層の意識向上を図り、質の高いサービスを提供するために、患者満足度調査の毎年実施や、地域住民による定期的な病院見学の実施により改善に取り組みます。 また、外部講師による接遇研修を実施し、全職種の接遇能力の向上を図ります。さらに、診療・検査等の待ち時間については、待ち時間調査を実施し、短縮に向けた改善・工夫に努めます。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○患者満足度調査の毎年実施	実施	実施	推進
	○地域住民による定期的な病院見学の実施	検討	検討	推進
	○外部講師による接遇研修を実施	実施	実施	検討
	○待ち時間調査の実施と短縮に向けた改善・工夫	実施	実施	実施
平成22年度の主な推進状況	患者満足度調査や外部講師による接遇研修、待ち時間調査は、毎年、実施しております、平成22年度も実施している。新病院では、地域住民による病院見学ができるように、検討を進める。			
	進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

課題 17	治療効果を高め、満足していただける食事の提供	所管部局	中央病院			
内 容	管理栄養士と調理師が病棟を訪問して摂食状況を調査するなどにより患者さんの食事の状況を把握し、全部食べていただける食事の提供に努めます。 また、行事食や祝い膳の充実とともに季節感を感じていただける工夫を行い、おいしく食べていただけるよう努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○摂食状況の調査		実施	実施	推進	推進	推進
○行事食や祝い膳の充実		検討	検討	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	摂食状況は、個別的に、不定期ながら実施し、概ね、良い結果が得られた。行事食を実施し、祝い膳については、H22で33件を実施した。がん化学療法の実施により、増加したがん患者さんに対応した個人食に力を入れている。					
進行度の評価	B					

課題 18	新中央病院における療養環境整備	所管部局	中央病院			
内 容	新中央病院においては、患者さんの利便性と居住性の高い、快適な療養環境を整備します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○1床あたり床面積・・・現在の約6m ² から約9.6m ² に拡張		推進			実施	
○個室的多床室・・・各ベッドに外部に面した窓を設置		推進			実施	
○多目的トイレ・・・現在の2カ所から3カ所に増設		(推進)			実施	
○各病棟談話室・患者図書室・カフェコーナーを新設		推進			実施	
○患者用駐車場・・・現在の約300台から400台に増設		推進			実施	
○エレベーター・・・現在の2台から5台に増設		推進			実施	
○ユニバーサルデザインによる設計		実施			実施	
平成22年度の主な推進状況	平成21年9月13日に改築工事を起工し、平成24年3月の竣工に向けて工事を進めている。					
進行度の評価	B					

変更点：多目的トイレは、現在の2カ所から各階1カ所以上で、合計31カ所に増設。

理 由：実施設計時に、必要箇所を見直し、結果、1カ所減となつた。

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

趣題 19	各種病院サービスにおける利便性の向上	所管部局	中央病院	
内 容	病院を利用する方の利便性の向上に向けて、サービスの導入や充実を検討します。			
実 施 概 要	21	22	23	24
○売店については、コンビニエンスストアの導入や、営業時間の延長・品揃えの充実を検討する ○会計待ち時間短縮を図るための自動精算機の導入と診療費用のクレジットカードによる支払い、及びコンビニエンスストアでの支払いなどの実施について検討する	検討	検討	実施	実施
平成22年度の主な推進状況	病院総合情報システムの更新に合わせ、自動精算機を1台導入した。新病院では、自動精算機を2台に増やす予定である。			
進行度の評価	B			

趣題 20	県立病院の医療機能を最大限に發揮する、継ぎ目のない連携体制構築	所管部局	中央病院		
内 容	<p>「地域の医療機関の機能分化と連携による、必要な医療を切れ目なく提供する体制の構築」を目指し、県立病院と地域医療機関との連携をより一層強化します。</p> <p>また、連携を促進するため、患者さんの治療開始から終了までの全体的な治療計画である「地域連携クリティカルパス」の運用を積極的に進めるとともに、広域でのパスの統一化に努めます。</p> <p>さらに、医療・保健・福祉の領域を超えた連携をリードする地域医療連携部門のスタッフ（看護師・事務・MSW・PSW等の職種）を充実し、関係各機関との調整能力を高めます。 [目標項目]</p>				
実 施 概 要	21	22	23	24	
○「地域連携クリティカルパス」の積極的運用 ○地域医療連携部門のスタッフの充実 ○紹介率・逆紹介率【平成25年度】 紹介率80%， 逆紹介率70%	実施 検討 73.5 70.9	実施 検討 74.7 73.2	推進 検討 75.0 75.0	推進 検討 77.5 77.5	推進 検討 80.0 70.0
平成22年度の主な推進状況	脳卒中、急性心筋梗塞、大腿骨頸部骨折、肺がん等、県下統一されたもの、あるいはそれに準ずる地域連携パスを運用し、機能分化と連携を進めた。患者さんに安心安全な医療を提供するため、急増する医療相談への対応を含め、地域医療連携スタッフの充実が不可欠となる。平成22年度の紹介率は74.7%，逆紹介率は73.2%であった。				
進行度の評価	B				

※ 逆紹介率については、既に超えているので、目標を変更した。

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 21	医療の標準化に資するクリティカルパス（入院診療計画）の活用促進	所管部局	中央病院	参考資料
内 容	一定の症例について、院内の医療の標準化ツールとして院内で作成・適用しているクリティカルパスについても、院内多職種による連携を図りつつ、適用数の増加に努めます。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○クリティカルパスの活用促進	実施	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	※クリティカルパスの種類毎に活用開始年月日を記載してください。 平成22年度時点での登録済みパスは、患者用191 医療者用187 連携パス8で、引き続き、登録済みパスの見直しを行っている。			
	進行度の評価	B		

推進項目 22	医療安全文化の確立	所管部局	中央病院	参考資料
内 容	医療安全管理者（医師）を中心とした医療事故の発生の予防、発生した事故の影響拡大等の防止を確立し、県立病院における医療安全文化の醸成に努めます。 また、医療安全管理者（医師）に対する安全管理の業務を行うことを目的とした医療安全管理者研修会の受講機会を確保するとともに、院内での苦情や事故後の対応の際に、患者側との対話を円滑に行えるスキルの養成を図ります。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○医療安全文化の醸成に対する努力 ○医療安全管理者研修会の受講	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	県立病院における医療安全文化の醸成に努めているが、医療安全管理者研修受講者は、看護師はいるものの、医師は多忙なため、思うように受講できない状況にある。引き続き、受講機会の確保に努める。			
	進行度の評価	C		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

課題 23	病院機能評価の更新受審	所管部局	中央病院		
内 容	各病院の機能を第三者が多角的に評価する、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価については、既に全病院が受審し認定を受けておりますが、さらに新たな評価項目が加わったVer. 6.0による再認定を受けるため、各病院が組織的に基準達成に向けた取り組みを行います。 【目標項目】→【医療の透明性の確保】				
実施概要	21	22	23	24	25
○病院機能評価の更新受審 【平成21年度】	実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	H21年11月25日から27日に、Ver. 6.0による再認定を受審した。H22年6月に認定証が届いた。平成22年度は、B評価項目をA評価にすべく検討を行った。また、NPO法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を受審して、翌年5月1日に認定証の発行があった。				
進行度の評価	A				

課題 24	品質管理のための教育・研修の充実	所管部局	中央病院		
内 容	「医療は製品である」という認識の下、医療安全管理・院内感染対策等において安全・安心な医療を提供できるように、全体研修並びに個別研修を充実し、品質の保証に取り組みます。				
実施概要	21	22	23	24	25
○全体研修並びに個別研修を充実	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	引き続き、月1回の全体研修(CHANEL カンファレンス)において、毎回インシデント報告を行っている他、全職員対象の想定訓練や暴力対策研修を実施しており、感染対策においても、感染管理認定看護師を中心に、新人研修・委託職員研修等、レベルに合わせた研修会を実施している。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 25	中央病院を中心とした臨床研修医の育成	所管部局	中央病院		
内 容	県全体の安定的な医療供給体制の確保に資するため、中央病院の特色である救命救急医療や総合診療の魅力を生かし、初期及び後期臨床研修医の計画的育成を行います。 また、沖縄県立中部病院への派遣研修の実施や、総合メディカルゾーンとして徳島大学病院と連携することにより、互いの機能の特長を生かした研修を実施するなど、魅力ある研修プログラムを策定します。【目標項目】				
実施概要	21	22	23	24	25
○魅力ある研修プログラムを策定 ○初期及び後期臨床研修医数 【平成25年度】 60名	実施 34	実施 21	推進 50	推進 55	推進 60
平成22年度の主な推進状況	平成22年度は、初期及び後期臨床研修医数21名を受け入れ、魅力ある研修プログラムの作成を実施した。				
進行度の評価	B				

推進項目 26	中央病院における徳島大学病院・県医師会との協力による指導医の育成	所管部局	中央病院		
内 容	中央病院における指導医を増やすとともに、県内で臨床研修に携わる指導医の増員と指導能力のレベルアップを図るために、今後も引き続き徳島大学病院や県医師会との協力による指導医の育成に取り組みます。【目標項目】				
実施概要	21	22	23	24	25
○臨床研修指導医数 【平成25年度】 45名	50	61	65	70	70
平成22年度の主な推進状況	平成22年度は、11名の医師が、講習会等に参加した。引き続き、指導医の増員と指導能力のレベルアップに取り組む。				
進行度の評価	A				

※ 臨床研修指導医数について、計算方法が不明確だが、現時点で目標変更。

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進期 27	中央病院における学生実習の充実	所管部局	中央病院		
内 容	中央病院において、看護学生や各種医療関係学科の学生実習の充実を図るために、指導者の育成と能力向上を図ります。				
実施概要	21	22	23	24	25
○指導者の育成と能力向上	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	看護学生については、県内4校5課程の学生実習を受け入れ、多い日には1日80名、年間での実習延べ人数は、9,000名余りになる。指導者の能力向上のため、平成22年度の徳島県保健師助産師看護師等実習指導者講習会を2名受講した。 徳大からの放射線技師の学生実習は36名で、臨床実習指導者の育成は、資格取得と能力向上の為、計画的に研修会等に参加した。				
進行度の評価	B				

推進期 28	中央病院における、地域がん診療連携拠点病院としての、県内医療従事者への研修・啓発	所管部局	中央病院		
内 容	地域がん診療連携拠点病院として、がん医療に係る県内医療従事者への研修・啓発に引き続き取り組むため、「がんコンソーシアム」や「緩和ケアセミナー」の開催に取り組みます。				
実施概要	21	22	23	24	25
○「がんコンソーシアム」の取組 ○「緩和ケアセミナー」の開催	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	がん診療連携拠点病院は、都道府県から地域へ変わったが引き続き「がんコンソーシアム」や「緩和ケア研修会」の開催に取り組んだ。平成22年度は「がんコンソーシアム」を4回、「緩和ケア研修会」を1回開催した。 がん看護・がん治療勉強会「やまもも勉強会」を3~4ヶ月に1回に開催し、マンスリーFAXで地域医療機関へ案内している。				
進行度の評価	B				

変更：H22.3.3 に都道府県がん診療連携拠点病院から地域がん診療連携拠点病院に変更。

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
一平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 29	中央病院における、地域医療支援病院としての、地域医療機関等との共同研修	所管部局	中央病院	
内 容	地域医療支援病院として、連携する地域医療機関と顔が見える関係を構築し、一体となって患者さんの診療を実施するために、引き続き、情報共有や啓発の場である「医療連携担当者ネットワークミーティング」の開催に取り組みます。			
	実 施 概 要	21	22	23
	24	25		
○医療連携担当者ネットワークミーティング」の開催	実施	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	今年も、「医療担当者ネットワークミーティング」を開催した。介護支援専門員協会との共催事業として多数の介護・福祉分野からの参加があった。 地域医療支援病院として、毎年、「医療連携担当者ネットワークミーティング」の開催する。			
進行度の評価	A			

推進項目 30	中央病院における医薬品臨床試験業務（治験）の充実	所管部局	中央病院	
内 容	中央病院治験管理センターの体制を充実することにより、治験審査委員会の運営や治験コーディネーター業務等を円滑に進め、医薬品の臨床試験を増やします。			
	実 施 概 要	21	22	23
	24	25		
○医薬品の臨床試験の増加	実施	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	第II相1件及び第III相4件を実施した。また、治験事務局セミナーに薬剤師1名を派遣した。引き続き治験の実施を推進していく。 なお、平成21年度に治験事務局を事務局から薬剤局に移した。			
進行度の評価	B			

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 31	質の高い看護の提供を目指した、キャリアラダーによる研修の実施	所管部局	中央病院
内 容	看護師の意欲を高め、専門性を高めるために、卒後のキャリアに応じてレベルを高める、看護師キャリアラダーによる研修制度を確立します。		
	実 施 概 要	21	22
	○看護師キャリアラダーによる研修制度の確立	実施	実施
平成22年度の主な推進状況	キャリアラダー獲得者も増加し、取り組みの成果が表れている。ラダー毎の研修に加え、計画的で自主的な研修への参加があり、職員の教育意欲向上が実感できる。		
	進行度の評価	B	

推進項目 32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	所管部局	中央病院
内 容	各県立病院がそれぞれの担うべき機能に応じ研修方針・研修計画を策定し、各職種の資格取得を推進するとともに、取得後の技術・ノウハウ活用を図ります。 【目標項目】		
	実 施 概 要	21	22
	○資格取得を推進 認定看護師数 【平成25年度】 病院事業全体で12名 ○資格取得後の技術・ノウハウの活用	1 実施	1 実施
平成22年度の主な推進状況	平成22年6月には、認定看護管理者に2名が資格を取得した。また、平成23年度は、集中ケア認定看護師教育を9月から1名が受講する。感染看護認定看護師は専従となり、ICTラウンドの開始に繋がっている。 医療技術局では、医学物理士資格取得の為に、計画的な研修会参加等を進めている。		
	進行度の評価	B	

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有	所管部局	中央病院	
内 容	各県立病院職員が一堂に会して日頃の研究成果を発表する「県立病院学会」を引き続き開催し、職員の相互交流と知識の向上・共有を図ります。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○「県立病院学会」の開催	実施	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	毎年、県立病院学会を開催し、職員の相互交流と知識の向上・共有を図っている。			
	進行度の評価	B		

推進項目 34	先進病院に対する派遣研修の実施	所管部局	中央病院	
内 容	県立病院の核となる医療機能の発揮に向けて、救急医療・がん医療などにおける先進病院への派遣研修を実施します。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○先進病院への派遣研修の実施	実施	検討	推進
平成22年度の主な推進状況	平成 22 年度は、先進病院への派遣研修について検討を続けたが、時間的・人員的問題もあり、派遣できなかった。引き続き検討を続けたい。			
	進行度の評価	C		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

議題 35	育児と仕事の両立支援	所管部局	中央病院
内 容	育児短時間勤務制度の活用など、職員の育児と仕事の両立を図ることのできる環境整備に努めます。		
	実 施 概 要	21	22
	○育児短時間勤務制度の活用等	実施	実施
平成22年度の主な推進状況	平成22年度は育児休業の中の部分休業が1名、育児休暇が5名の利用があつたが、育児短時間勤務制度の活用はなかつたので、周知等に努めている。また、24時間保育を実施しており、育児と仕事の両立を図るべく、環境整備に努めている。		
進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の透明性の確保における進捗状況

推進項目 1	DPC（診断群分類別包括評価制度）の導入による医療の透明性の向上	所管部局	中央病院			
内 容	DPCの導入により明らかになるMDC（主要診断群）別の患者数の他、傷病・診療行為（手術・処置等）のデータを解析し、各病院の入院診療に係る実績として公開に取り組みます。【目標項目】					
実施概要		21	22	23	24	25
○DPCの導入 ○DPC解析データの公開		実施 実施	実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	DPCの導入は、既に行っている。データの解析は少しずつ行い、適切なコーディング情報を委員会に提出している。今後、更なる解析と公開に努めたい。					
	進行度の評価	B				

推進項目 2	県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開（再掲）	所管部局	中央病院			
内 容	患者さんの選択に役立つことや税が投入された病院としての成果を示すため、がんの術後生存率、手術後の死亡率、疾病別手術件数、術後在院日数等、診療の結果や治療成績などの実績について、ホームページでの公開に取り組みます。【目標項目】					
実施概要		21	22	23	24	25
○臨床指標のホームページ公開 【各病院】平成21年度から実施		実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成21年度に、臨床指標をホームページに公開しているが、平成22年度には、さらに公開できる臨床指標や公開すべき実績について検討を進めしており、23年度に公表する予定である。					
	進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の透明性の確保における進捗状況

推進期 3	患者さんと一緒に医療を実践する「私のカルテ」の発行	所管部局	中央病院				
内 容	患者さんの理解を助け、また、他の医療機関受診時の診療情報の共有にも役立てていただくため、医師診療録・看護記録・検査結果などを「私のカルテ」として発行することに取り組みます。 [目標項目]						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○「私のカルテ」の発行 【平成21年度】		実施	実施	検討	検討	検討	
平成22年度の主な推進状況	平成21年度に小児科にて実施おり、前年11月から平成23年度6月まで約実施1092件発行している。引き続き、掲載内容や発行診療科について検討を進める。						
進行度の評価	B						

推進期 4	病院事業経営内容の公開	所管部局	中央病院				
内 容	病院事業の決算内容や医療の質・透明性・効率性の向上に向けた取り組み内容について、今後も引き続き、ホームページを活用して積極的に公開します。						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○決算内容や取り組み内容についてのホームページ公開		実施	実施	推進	推進	推進	
平成22年度の主な推進状況	基礎情報(経営指標)、臨床指標、救急実績等、一部の取り組み内容については、ホームページで公開したが、詳細な決算内容等については、公開していないものもある。決算内容や取り組み内容(詳細)は検討済みだが、平成23年度から公開する予定である。						
進行度の評価	B						

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の透明性の確保における進捗状況

推進項目 5	各県立病院毎の「住民参加会議」の開催	所管部局	中央病院			
内 容	医師の疲弊と離職を防ぐため、各病院で開催される経営戦略会議等に、地域住民によって設立された団体等の代表者が参加する「住民参加会議」を引き続き開催し、県立病院の現状を明らかにするとともに、地域医療と共に考え、共に支えていただけるような関係づくりを行います。 また、地域団体の研修会等に積極的に出向き、病院運営の現状を説明します。 【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経営戦略会議への住民参加 【各病院】継続して実施		実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	中央病院経営戦略会議の住民代表の参加はないが、地域住民に参加していただきたい地域懇談会を開いた。必要により実施していきたい。 また、要請があれば、地域団体の研修会等に積極的に出向き、病院運営の現状を説明するようにしたい。					
進行度の評価	B					

推進項目 6	県民公開講座及び院内健康教室の開催	所管部局	中央病院			
内 容	各病院それぞれの機能の特性に応じ、患者さんや住民の皆様を対象とした疾病・療養に関する「県民公開講座」並びに「院内健康教室」を開催します。 【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「県民公開講座」の開催 【年間2回】		実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	毎年、がん関係と糖尿病関係の「県民公開講座」を開催している。平成22年も実施したが、2つの議題に分かれるが、便宜上、午前と午後に分けて1日で行っている。 平成22年度の「院内健康教室」としては、糖尿病教室、やまもも教室(がん)、がん患者教室、呼吸器教室等を行い、その他、禁煙外来、ストマ外来、助産師外来等を実施している。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 7	病院広報の充実	所管部局	中央病院	
内 容	病院局及び各病院のホームページを充実し、患者さんには地域医療連携の重要性や必要性等、医療についてわかりやすく説明するとともに、病院の姿が実感できる、親しみやすい情報の提供に努めます。 また、他の医療機関、将来医療を志す方等に向けては、診療機能や臨床研修に関する情報提供を充実します。 さらに、各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供も積極的に実施します。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○ホームページの充実 ○各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供	実施	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	当院のホームページに地域医療連携や臨床研修医等について、掲載しており、親しみやすい情報の提供に努めた。また、地域連携のマンスリーFAXや病院広報誌ナニージャ等により、情報提供を積極的に実施している。			
	進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題2	各病院の機能整備の動向に即した施設基準の取得	所管部局	中央病院		
内 容	計画期間における各病院が担うべき医療機能の整備動向に即した、診療報酬上の施設基準の取得を図るとともに、診療報酬改定への迅速な対応や、DPC（診断群分類別包括評価）における最適な請求など、適切な診療収益の確保に努めます。				
実施概要	21	22	23	24	25
○診療報酬改定への迅速な対応 ○DPCにおける最適な請求	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度の診療報酬改定への対応は、対応準備を行い、同年から対応できた。DPC（診断群分類別包括評価）については、包括医療対策委員会を月末に1回開催して、最適な請求ができるようにしており、引き続き、適切な診療収益の確保に努めている。				
進行度の評価	B				

課題3	地域連携・機能分担の実情に応じた新規患者の受入	所管部局	中央病院		
内 容	中央病院及び三好病院については、いずれも核となる医療機能として急性期医療機能の発揮を目指し、診療圏内の地域医療機関との連携により、新規入院患者数の増加を図ります。 【目標項目】				
実施概要	21	22	23	24	25
○一般病床平均在院日数 13.0日 【平成25年度】	13.4	12.2	13.2	13.1	13.0
平成22年度の主な推進状況	一般病床平均在院日数は、12.2となり、急性期病院としての機能を発揮している。新規入院患者数は、453名増加の9,229名となった。 平成22年度の紹介率は74.7%，逆紹介率は73.2%				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 4	診療報酬請求漏れの防止	所管部局	中央病院		
内 容	各病院における総合医療情報システムの有効活用により、ヒューマン・エラーによる請求漏れを防止します。 また、各病院において院内各部門と医事委託業者から構成されるレセプト委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上を図ります。 なお、既に実施している中央病院に引き続き、三好病院及び海部病院においてもレセプトオンライン請求による効率的な請求を実施します。				
実施概要	21	22	23	24	25
○総合医療情報システムの有効活用 ○毎月のレセプト委員会の開催 ○レセプトオンライン請求の実施	検討 実施 実施	検討 実施 実施	検討 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	病院における総合医療情報システムの有効活用している。 また、診療報酬検討委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上に努めている。 なお、レセプトオンライン請求は実施済みである。				
進行度の評価	B				

推進項目 5	使用料・手数料設定の見直し	所管部局	中央病院		
内 容	各病院における使用料・手数料については、健全経営の確保を踏まえた原価を反映した上、周辺の公的医療機関との均衡等も勘案し、適切な料金設定を行います。				
実施概要	21	22	23	24	25
○適切な料金設定	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度は、使用料・手数料の変更はなかったが、周辺の公的医療機関との均衡等も勘案し、適切な料金設定を行いたい。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題項目 7	後発医薬品の採用拡大	所管部局	中央病院		
内 容	後発医薬品の採用については、患者さんの負担軽減とともに、薬品費の削減に繋がるため、積極的に採用を増やします。【目標項目】				
実施概要	21	22	23	24	25
○後発医薬品購入額割合 【各病院】薬品購入額の10% 【平成25年度】	8.4%	8.7%	9.2%	9.6%	10.0%
平成22年度の主な推進状況	後発医薬品16品目を追加採用した。 薬価ベースで10.0%、購入ベースでは8.7%となるが、購入ベースだと値引き分が反映されてしまう。				
進行度の評価	B				

※ 後発医薬品購入額割合について、目標の意味を再確認すること。

課題項目 8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	所管部局	中央病院		
内 容	各病院における委託契約・賃借契約については、委託業務内容・賃借契約内容と金額のバランスを検証し、効率性と品質管理の両面から見直しに努めます。 また、複数年の継続契約、一括委託契約（複数業務を集約した、包括的な委託契約）、3病院を統一した一括契約等についても、積極的に実施します。				
実施概要	21	22	23	24	25
○委託契約・賃借契約についての見直し ○複数年の継続契約、一括委託契約の実施 ○3病院を統一した一括契約等の実施	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度は、引き続き委託額の見直しを行い、入札業者が少ない業務はプロポーザルを実施した。複数年の継続契約、一括委託契約（複数業務を集約した、包括的な委託契約）、3病院を統一した一括契約等についても実施した。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 9	医療器械購入における競争入札の推進	所管部局	中央病院		
内 容	一般の医療器械については、今後も特別な理由があるものを除き、競争入札により購入します。 また、高額医療器械については、保守経費も含めた一般競争入札の他、総合評価一般競争入札の実施を検討し、総合的なコスト抑制や品質の確保を図ります。				
実施概要	21	22	23	24	25
○一般競争入札、総合評価一般競争入札の実施	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	一般の医療器械については、特別な理由があるものを除き、競争入札により購入するように努めたが、不祥事の発生により、なお一掃の努力を行う。				
進行度の評価	B				

※ 総合評価一般競争入札は、除くのか？

推進項目 10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	所管部局	中央病院		
内 容	給食・清掃・洗濯等のホテルサービス部門については、職員の転出先にも配慮しつつ、外部委託に積極的に取り組みます。 また、検体検査業務、滅菌材料室、院内施設維持管理、一般事務等についても、引き続き外部委託に取り組みます。				
実施概要	21	22	23	24	25
○ホテルサービス部門の外部委託 ○一般事務等の外部委託	実施	実施	検討	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	これまで、多くの業務を外部委託したが、院内施設維持管理、一般事務等の外部委託については、現在、検討中である。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 11	未収金の発生防止と回収促進	所管部局	中央病院			
内 容	<p>患者さんの診療費用については、24時間会計の実施や支払い相談の充実等により、未収金の発生防止に努めます。</p> <p>また、未収金が発生した場合には、速やかに支払い督促を実施し、納入指導の徹底により、回収不能債権の発生防止に努めます。</p>					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
<input checked="" type="checkbox"/> 24時間会計の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 支払い相談の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 速やかな納入指導の徹底		実施 実施 実施	実施 実施 実施	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>平成21年度から、24時間会計は実施済みである。</p> <p>支払い相談の充実には、MSWの増員が不可欠である。</p> <p>電話、督促状による督促は、実施している。</p>					
進行度の評価	B					

推進項目 12	業務改善の手段としての情報化の推進	所管部局	中央病院			
内 容	<p>各病院で導入している電子カルテをはじめとする病院総合情報システムの使用にあたっては、能力を最大限に使用し、その効果である効率性の発揮に努めます。</p> <p>また、院内の情報化を組織的に推進するために、院長のリーダーシップの下、情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理に努めます。</p>					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
<input checked="" type="checkbox"/> 病院総合情報システムの最大限の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>電子カルテ、オーダリングシステム、医事会計システム等、既存の病院総合情報システムを最大限に活用することにより、業務の効率化を図った。</p> <p>定期的に、システム管理委員会を開き、院長のリーダーシップの下、システム整備と一元的管理に努めている。</p>					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

期間 14	経営戦略会議の充実	所管部局	中央病院	
内 容	本局及び各病院で開催している経営戦略会議について、病院局本局職員と各病院の幹部職員が、環境変化に迅速に対応し、戦略的な取り組みを議論する場として、また、各病院職員が経営問題を共有する場として引き続き実施し、内容を充実します。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○経営戦略会議の内容の充実	実施	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	内容について、その時々の状況により充実させた。			
	進行度の評価	B		

期間 15	幹部職員の経営管理力の向上	所管部局	中央病院	
内 容	各病院における管理者会議で、各病院経営における重要案件を議論し、病院幹部職員が一丸となって経営に取り組みます。 また、各病院の幹部職員や中堅職員に対して、経営分析力や経営企画力を高める合同研修を実施し、マネジメントに長けた職員の育成に努めます。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○幹部職員や中堅職員に対する経営分析力や経営企画力を高める合同研修の実施	実施	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	管理者会議は、重要案件を議論しているが、各局長は、全国自治体病院協議会が開催している各部会総会研修会に参加したり、その他、研修会や病院視察を実施した。しかし、経営分析力や経営企画力を高める合同研修は実施していない。引き続き、病院幹部職員が一丸となって経営に取り組む。			
	進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 16	D P C (診断群分類別包括評価) データ活用による経営分析の実施	所管部局	中央病院			
内 容	D P Cの運用から得られる自院の診療データ及び厚生労働省から公表される統計データの分析を行い、医療の質の向上・コスト削減・経営戦略策定等に積極的に活用します。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○診療データや統計データの分析、活用	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	不定期ながら、D P Cデータの分析を実施した。定期的に診療データや統計データの分析を実施し、活用できるように推進する。					
	進行度の評価	B				

推進項目 17	目標設定とP D C Aサイクルによる進行管理の推進	所管部局	中央病院			
内 容	各課・各診療科・各部門等において明確に目標を設定し、P D C Aサイクルによる進行管理に努めるとともに、Q C (クオリティ・コントロール：品質管理)活動やB S C (バランス・スコアカード：多元的な業績評価システム)の浸透を図ります。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○各課・各診療科・各部門等における目標設定	実施	実施	推進	推進	推進
	○P D C Aサイクルによる進行管理	実施	実施	推進	推進	推進
	○Q C活動やB S Cの浸透	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度は、各局において、共通様式にて目標設定を実施した。P D C Aサイクルによる進行管理やQ C活動・B S Cの浸透については、実施している部署もあるが、全部局の実施には至っていない。					
	進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 18	全部門による実績報告・目標発表会の実施	所管部局	中央病院	
内 容	職員の任用形態や委託職員の区別無く、病院内の全ての職員の一体感の醸成と経営認識の向上を図るために、前年度の実績報告と当年度の課題・目標について院内で発表する「実績報告・目標発表会」を行います。			
実 施 概 要	21	22	23	24
○「実績報告・目標発表会」の実施	検討	検討	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成20年度には、「実績報告・目標発表会」を実施できたが、昨年度は新病院システムの更新もあり、できなかった。今年度は再会できるように検討したい。			
進行度の評価	C			

推進項目 19	堅実な危機管理体制の構築	所管部局	中央病院	
内 容	各病院職員が救急勉強会、ACLS、BLS、AED講習会等救急に関する研修を定期的に行い、スキルアップを図ることにより、院内での急変時の対応や災害発生時の患者受け入れ体制を強化します。 また、災害拠点病院である各病院においては、大規模災害や新型インフルエンザ等の災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修実施に取り組むとともに、災害対策マニュアルの改訂を行います。 さらに、病院局全体が組織的に迅速な行動が実施できるよう、各病院と病院局本局との連携体制の堅持に努めます。			
実 施 概 要	21	22	23	24
○救急に関する研修会の実施 ○災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修の実施 ○災害対策マニュアルの改訂 ○各病院と病院局本局との連携体制の堅持	実施 実施 改訂 検討	実施 実施 推進 検討	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	救急に関する研修会は定期的に実施、また災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修の実施は、年1～2回実施している。 平成22年度末には東日本大震災があり、被災地に医療チームを派遣し、災害医療について再認識した。各病院と病院局本局との連携体制の他、他の病院とのネットワーク化についても推進していく必要がある。			
進行度の評価	B			

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の効率性の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 21	3 病院の診療面の連携・協調	所管部局	中央病院			
内 容	<p>これまでにも、三好病院及び海部病院における常勤医師不足に対して、「県立病院は三つでひとつ」の考えの下、中央病院の医師等による、応援診療・電子化された撮影画像の読影・病理検査などの支援を行ってきました。</p> <p>今後も、三好病院及び海部病院における医師不足が解消されるまでの間は、同様の支援を実施するとともに、中央病院における救急機能の強化に併せて、三好病院及び海部病院で対応できない救急患者の診療連携に取り組みます。</p> <p>また、中央病院で高次の治療を行ったがん患者について、より自宅近くで療養できる場合に、三好病院及び海部病院での受け入れを進めます。</p>					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○中央病院の支援 ○3病院の連携	実施 実施	実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>引き続き、中央病院の医師による海部、三好、三野病院等への支援(派遣)や、その他応援診療・電子化された撮影画像の読影・病理検査などの支援を行ってきた。平成22年度には、要望に応えて、月2回、マンモグラフィー撮影のため、三好病院に医療技術員(女性技師)を派遣している。これからも、3病院間での連携を中心として、医療機能の強化を図っていく。</p>					
	進行度の評価	B				

推進項目 22	資産等購入における共同化の拡充	所管部局	中央病院			
内 容	<p>各種の器械・材料・消耗品等の購入については、今後も引き続き共同化のメリットを追求し、効率化に努めます。</p> <p>なお、総合メディカルゾーンの機能連携の一つとして、徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入について検討します。</p>					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○高額医療器械(同種器械の一括入札推進、同一メーカー器械の一括入札検討) ○医薬品 ○医療材料(使用品目の絞り込みと共同購入対象品目数の拡大) ○その他(主要給食材料・消耗品・燃料等)	推進 推進 推進 推進	推進 実施 実施 推進	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>高額医療器械の3病院での同種器械の一括入札、同一メーカー器械の一括入札を推進した。</p> <p>診療(医療)材料の共同購入については、平成18年度から実施している。平成20年度は共同入札と購入を実施したが、21年度の共同入札は実施せず、22年度は、共同入札・購入を実施した。なお、22年度は、新たに10品目(20種類)追加して、共同入札し、購入した。22年度以降、毎年、共同入札と購入を実施することにした。</p> <p>徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入については、平成21年10月16日に、知事と大学長との間で締結された「総合メディカルゾーンにおける地域医療再生に関する合意書」の合意事項の1つとして共同交渉による調達を進めるとしている。</p>					
	進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進期 23	経営指標	所管部局	中央病院
内 容	経営指標のうち経常収支比率・職員給与費対医業収益比率・病床利用率（精神病床を除く）については、公立病院改革ガイドラインの規定により平成23年度を目指値として取り組みます。		
	実 施 概 要	21	22
	○経常収支比率 101.0 %	103.6 %	103.9 %
	○病床利用率（精神病床を除く） 81.0 %	78.2 %	81.5 %
	○職員給与費対医業収益比率 57.5 % 【平成23年度】	57.2 %	54.9 %
平成22年度の主な推進状況	経常収支比率 105.4 % 病床利用率（精神病床を除く） 76.9 % 職員給与費対医業収益比率 57.2 % となっている。	101.0 %	81.0 %
	進行度の評価	B	

參 考 資 料

三 好 病 院

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 1	がん診療	所管部局	三好病院				
内 容	手術・化学療法・放射線治療による質の高い治療を実施します。また、がん患者及び家族のQOL向上を図るとともに、病院内のがんに関するデータを把握する「院内がん登録」に取り組みます。						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○質の高い治療を実施 ○がん患者及び家族のQOL向上 ○「院内がん登録」	検討 実施 検討	実施 推進 実施	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進	
平成22年度の主な推進状況		21年度に減少した外科医師数の確保がままならず、これまでの状況を維持することすら危ぶまれる状況であったが、関係機関の協力を得ながらそれを凌いできた。 関係機関と協議を進めながら、次年度に向けての基盤整備に努めた。 また、21年度の休止していた「院内がん登録」の取り組みについては、22年度4月から再開している。					
進行度の評価		B					

推進項目 2	脳卒中及び急性心筋梗塞診療	所管部局	三好病院					
内 容	救急・急性期分野を中心とした治療を実施します。また、地域連携クリティカルパスの運用に取り組み、地域における医療・福祉機関と円滑な連携を図ります。							
実 施 概 要		21	22	23	24	25		
○地域連携クリティカルパスの運用 ○地域における医療・福祉機関との円滑な連携	検討	検討	推進	推進	推進			
平成22年度の主な推進状況		県医師会主導により地域連携パスの策定への取り組みが図られているが、県西部地区における中核病院として参加し、脳卒中を対象とする地域連携パスの適用に努めた。また、21年度より地域医療連携部門において、新たに相談員(MSW)1名を配置することにより、医療・福祉機関との円滑な連携の体制強化に努めた。 10ページ「推進項目20」参照						
進行度の評価		B						

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

指標3	糖尿病診療	所管部局	三好病院		
内 容	急性増悪時の治療を実施するとともに、各職種による指導により、患者さんの日常の生活・療養面の改善に貢献します。				
実施概要	21	22	23	24	25
○各職種による指導により、患者さんの日常の生活・療養面を改善	検討	実施	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	糖尿病専門医不在の中、非常勤医により内科外来を中心に、糖尿病教室(月1回)を開催し、地域住民のニーズに応えている。 平成20年度から保健所主導により、地域連携パスへの取り組みが図られているが、地域中核病院としてその役割を十分に果たしているとは言い難い状況である。				
進行度の評価	B				

指標4	高度医療の充実	所管部局	三好病院		
内 容	高度技術を要する内視鏡医療やインターベンション医療(連続血管撮影装置等を利用した血管内治療法)の積極的推進を図ります。また、高度医療器械を効率的に使用し、地域医療連携として積極的活用を図ります。 <主な高度医療器械> 【三好病院】内視鏡・DSA(連続血管撮影装置)・CT・MRI				
実施概要	21	22	23	24	25
○高度医療の積極的推進	実施	実施	推進	推進	推進
○地域医療連携としての積極的活用	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	高度医療器械の効率的な利用の推進を図るために、画像読取装置等を購入するとともに、急性心筋梗塞等の高度技術を必要とする患者に対し積極的にインターベーション医療を推進した。また、地域医療センターにおける地域連携事業を通じて、地域開業医との共同診療やCT、MRI等の高度医療器械の共同利用をサポートしている。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 5	急性期医療機能の充実に向けた看護師の増員	所管部局	三好病院		
内 容	新中央病院においては、東部Ⅰ保健医療圏における急性期病院として、さらに機能を高めるため、一般病棟入院基本料の7:1入院基本料施設基準の取得を目指し、看護師を増員します。 また、将来の三好病院への導入についても検討します。[目標項目：平成26年度]				
実 施 概 要	21 22 23 24 25				
○7:1看護の実施	検討	検討	実施	推進	実現
平成22年度の主な推進状況	平成25年度までの前倒し取得を目指し、看護必要度、平均在院日数等取得要件の克服に向けた検討を行った。				
進行度の評価	C				

推進項目 6	医師確保機能の強化	所管部局	三好病院		
内 容	各病院の常勤医師の不足が続く状況においては、病院事業管理者を補佐し、医師確保に係る企画・情報収集・交渉等を行う機能を充実するほか、研修医確保のための企画立案や各病院との調整を図るなど、全組織を挙げた医師確保機能の強化に努めます。				
実 施 概 要	21 22 23 24 25				
○全組織を挙げた医師確保機能の強化	検討	検討	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成20年度に大きく減少した医師の確保を図るべく、病院局（病院事業管理者）に一任するのではなく、病院自らも各関係機関の協力を仰ぎながらその確保に努めた。 医師の定着を図っていくために、医師公舎の整備をはじめ、医師事務作業補助者6名を採用し医師の負担軽減を図ると共に、学会への参加経費や認定医試験経費を負担するなど、技術や知識を習得するための機会増加等の措置を講じた。 徳島大学寄附講座「地域外科診療部」外科医師3名 週延べ7日間				
進行度の評価	D				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

議題目 7	医師の安定確保に向けた条件整備	所管部局	三好病院			
内 容	救急部門における件数増加に伴う医師の過重労働や、病院全体の医師数減少に伴う負担が増加している状況において、医師の負担軽減とモチベーション向上につながる改善を実施することにより、今後の医師の離職防止に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○医師事務作業補助員の効果検証とともに、各補助員の能力向上を図り、積極的に活用 ○医師公舎等の居住環境の改善 ○資格取得や研修等の自己啓発に一定期間集中できる、自己啓発等休業制度の活用が図られるような環境整備に努める ○地域医療を自ら守ろうという趣旨で活動する団体や地元自治体と連携を強め、医師の離職防止を図る	実 施 実 実 実 施	実 施 実 実 実 施	推 進 推 進 推 進			
平成22年度の主な推進状況	医師の事務負担軽減を図るために、22年度から医師事務作業補助員を6名体制へ増強し、医師からも負担軽減の効果が大きく医療業務に集中できると高い評価を得ている。また、経費面での費用対効果もプラスの実績を上げている。 医師公舎の計画的改修、当直室の修繕等居住環境の整備を図った。 また、住民が自らの力で地域医療を守ることを目指して組織された「三好病院を応援する会」による医師公舎の清掃作業等の活動との連携を通じて、医師の離職防止を図っている。					
進行度の評価	B					

議題目 8	新たな政策医療等の実施に向けた任用制度の検討	所管部局	三好病院			
内 容	県立病院において、今後5年間における新たに担うべき医療機能の発揮のために、迅速に職員の資質向上や体制整備を図る必要があるため、任期付職員の任用について検討します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○任期付職員の任用		検 討				
平成22年度の主な推進状況						
進行度の評価						

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

課題 9	コメディカル職員等の独自採用やスペシャリストの育成	所管部局	三好病院		
内 容	県立病院における技術・能力の組織としての蓄積を図るとともに、特定の専門性を必要とする業務に従事する職員を育成するため、薬剤師等の職種において、病院局独自採用等、スペシャリストの育成を図ります。				
実 施 概 要	21	22	23	24	25
○病院局独自採用等の実施	検討				
○スペシャリストの育成	推進				
平成22年度の主な推進状況					
進行度の評価					

課題 10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	所管部局	三好病院		
内 容	地域医療連携の推進にあたり、重要な役割を果たすMSW（メディカルソーシャルワーカー）・精神保健福祉士（PSW）、医療機器の安全管理の向上を図るために臨床工学技士について、適正な確保を図ります。				
実 施 概 要	21	22	23	24	25
○MSWの確保	検討	実施	推進	推進	推進
○精神保健福祉士（PSW）の確保	実施	推進	推進	推進	推進
○臨床工学技士の確保					
平成22年度の主な推進状況	MSWについては、22年4月より新規採用され、全般的な医療相談が実施されている。 臨床工学技士については、正規職員2名、臨時職員1名が配属されている。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 11	医療の質を示す臨床指標（クリニカル・インディケーター）の設定	所管部局	三好病院			
内 容	県立病院における診療の結果や治療成績などの実績を適切に評価し、担うべき医療機能への貢献度の測定や、院内での研修方針への活用、また、県民へ情報開示することを目指して、臨床指標設定のためのデータ収集や分析に取り組みます。 【医療の透明性の確保で再掲載】					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○臨床指標設定のためのデータ収集や分析への取組	検討	実施	推進		
平成22年度の主な推進状況	22年度は県立3病院の診療情報管理士が集まり、臨床指標の統一化について検討したが、3病院の規模、機能、役割の違いもあり統一化は難しいとの結果になった。 23年度は各病院の機能と役割に応じた指標を検討することとなりすでに取り組みを進めている。					
	進行度の評価	C				

推進項目 12	患者さん中心のチーム医療の実践	所管部局	三好病院			
内 容	患者さんを中心として、全ての職種が、ファイン・チームワークを発揮しスペースを埋めながら医療を行う「チーム医療」に、今後も引き続き取り組みます。 また、各チーム合同によるカンファレンスや研修会を積極的に実施します。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○「チーム医療」の推進 ○各チーム合同によるカンファレンスや研修会の実施	実 実 施 施	実 実 施 施	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進
平成22年度の主な推進状況	患者さんを中心とするチーム医療を推進するため、各職種の代表者で組織された各種チームを設置し、それぞれの専門性を生かし、良質で安全な医療の提供に取り組んでいる。 例えばNST推進チームにおいては治療をより効果的に進めるために、栄養面のリスクアセスメントを行い、栄養面からサポートしている。その他、安全管理、救急救命、クリティカル・パス、化学療法推進、緩和ケア、排泄ケア、呼吸ケア、褥瘡対策等のチームが職種間の垣根を越えて、情報交換や相互連携を図り、情報を共有しながら「ファイン・チームワーク」の精神でチーム医療を実践している					
	進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 13	患者さんのQOL（生活の質）を高める、各職種による指導・活動の推進	所管部局	三好病院								
内 容	各職種の職員が、それぞれ有する専門的能力を発揮し、患者さんのQOL（生活の質）を高め、回復力・予防力の向上に貢献する指導や相談事業等を積極的に実施します。 [目標項目]										
実 施 概 要	21 22 23 24 25										
○薬剤管理指導件数【平成25年度】3,000件 ○栄養管理指導件数【平成25年度】500件	実施 実施 推進 推進 推進 推進										
平成22年度の主な推進状況	<p>薬剤科においては、22年度は1名増員となり病棟業務に費やす時間が増え、目標値を大きく上回ることができた。</p> <p>栄養管理科においては、栄養指導依頼システムの改善等により指導機会の拡大を図ったが、件数増加には結びつかなかった。23年度以降は給食業務の委託により病院管理栄養士が栄養指導用務に専念することができるので目標達成の見込みがある。</p>										
進行度の評価	B										

推進項目 14	患者さんとの人間関係を重視する取り組みの推進	所管部局	三好病院								
内 容	<p>患者さん中心の医療の実践と患者さんの医療への主体的な参加支援を掲げ、平成17年度に制定した「患者の権利章典」については、より一層の患者さんへの周知と職員への浸透を図ります。</p> <p>また、患者さんが納得して治療を受けるための「インフォームドコンセント（説明と同意）」を徹底し、誠意を持って説明に取り組むとともに、患者さんの不安解消や治療に関する自己決定を支援する「セカンドオピニオン相談」について、引き続き推進します。</p>										
実 施 概 要	21 22 23 24 25										
○「患者の権利章典」の患者さんへのより一層の周知 ○「患者の権利章典」の職員への浸透 ○「インフォームドコンセント（説明と同意）」の徹底 ○「セカンドオピニオン相談」の推進	実施 実施 推進 推進 推進 実施 実施 推進 推進 推進 実施 実施 推進 推進 推進										
平成22年度の主な推進状況	<p>患者さんとの信頼関係を構築し、患者さんの医療参加への主体性を促すため、「患者の権利章典」の周知徹底を図るとともに、患者さんの治療に関わるあらゆる情報を確実に伝え、同意を得る「インフォームドコンセント」の手続きについて、各委員会等あらゆる機会を通じて院内統一を図っている。</p> <p>また、地域医療センターを窓口とするセカンドオピニオン外来を開設し、がんまたはその疑いのある患者さん等からの相談に応じる体制を整備した。</p>										
進行度の評価	B										

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 15	病院ボランティアの充実	所管部局	三好病院	
内 容	病院ボランティアの受入については、既に実施している病院環境整備や案内だけでなく、傾聴ボランティア等にも拡大するとともに、ボランティア参加者からのご意見を参考に、参加しやすい環境づくりに取り組みます。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○傾聴ボランティア等のボランティアの新規拡大	検討	検討	実施
	○ボランティアに参加しやすい環境づくりへの取組	検討	検討	実施
平成22年度の主な推進状況	平成22年度においては、病院ボランティアそのものへの参加が少なかった。(平成23年度においては、広報誌やホームページにおいて病院ボランティアへの参加者を募集するとともに、傾聴ボランティアその他のボランティアについても他病院の状況を調査し、拡大できるものについては拡大していきたい。)			
	進行度の評価	D		

推進項目 16	患者さんの視点に立ったサービスの提供	所管部局	三好病院	
内 容	職員一人一人が患者さんの視点に立った対応について一層の意識向上を図り、質の高いサービスを提供するために、患者満足度調査の毎年実施や、地域住民による定期的な病院見学の実施により改善に取り組みます。 また、外部講師による接遇研修を実施し、全職種の接遇能力の向上を図ります。さらに、診療・検査等の待ち時間については、待ち時間調査を実施し、短縮に向けた改善・工夫に努めます。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○患者満足度調査の毎年実施	実施	実施	推進
	○地域住民による定期的な病院見学の実施	実施	実施	推進
	○外部講師による接遇研修を実施	実施	実施	推進
	○待ち時間調査の実施と短縮に向けた改善・工夫	実施	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	接遇向上委員会により毎年待ち時間を含めた外来患者満足度調査が実施され、それに基づく接遇研修及び待ち時間の改善が図られている。 月1回の経営戦略会議に住民代表が参加し、地域住民の声を取り入れている。			
	進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 17	治療効果を高め、満足していただける食事の提供	所管部局	三好病院			
内 容	<p>管理栄養士と調理師が病棟を訪問して摂食状況を調査するなどにより患者さんの食事の状況を把握し、全部食べていただける食事の提供に努めます。</p> <p>また、行事食や祝い膳の充実とともに季節感を感じていただける工夫を行い、おいしく食べていただけるよう努めます。</p>					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○摂食状況の調査		推進	推進	推進	推進	推進
○行事食や祝い膳の充実		推進	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	<p>積極的に摂食状況調査を実施し、患者さんのニーズにタイムリーに応えるとともに行事食や誕生日カードにより季節の気配り等を加え患者さんに全部食べて頂ける食事の提供に努めた。</p>					
進行度の評価	B					

推進項目 18	三好病院及び海部病院における療養環境の充実	所管部局	三好病院			
内 容	<p>三好病院及び海部病院においては、個室の改裝や設備改修により快適性の向上を図るとともに、個室数の増加について検討します。</p> <p>また、患者さんのプライバシーへの配慮や老朽化した施設・設備の修繕については、患者さんからの要望やアメニティ向上への効果を優先して実施します。</p>					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○個室の改裝や設備改修	推進	推進	推進	推進	推進	推進
○個室数の増加	推進	推進	推進	推進	推進	推進
○患者さんのプライバシーへの配慮	推進	推進	推進	推進	推進	推進
○老朽化した施設・設備の修繕	推進	推進	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	<p>平成22年度では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2箇所のトイレについて洋式（ウォシュレット）化の改修工事を実施した。 ・放射線科内の患者さん用トイレに手すりを設置した。 ・内科診察室のアコードィオンカーテンを新しく取り替えた。 					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
一平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 19	各種病院サービスにおける利便性の向上		所管部局	三好病院
内 容	病院を利用される方の利便性の向上に向けて、サービスの導入や充実を検討します。			
実 施 概 要	21	22	23	24
○売店については、コンビニエンスストアの導入や、営業時間の延長・品揃えの充実を検討する ○会計待ち時間短縮を図るための自動精算機の導入と診療費用のクレジットカードによる支払い、及びコンビニエンスストアでの支払いなどの実施について検討する	検討 未定	検討 未定	検討 未定	検討 実施
平成22年度の主な推進状況	売店については申し入れを行っているが、実現には至っていない。 会計については現在のところ未定であり検討はしていない。			
進行度の評価	D			

推進項目 20	県立病院の医療機能を最大限に発揮する、継ぎ目のない連携体制構築		所管部局	三好病院
内 容	<p>「地域の医療機関の機能分化と連携による、必要な医療を切れ目なく提供する体制の構築」を目指し、県立病院と地域医療機関との連携をより一層強化します。</p> <p>また、連携を促進するため、患者さんの治療開始から終了までの全体的な治療計画である「地域連携クリティカルパス」の運用を積極的に進めるとともに、広域でのバスの統一化に努めます。</p> <p>さらに、医療・保健・福祉の領域を超えた連携をリードする地域医療連携部門のスタッフ（看護師・事務・MSW・PSW等の職種）を充実し、関係各機関との調整能力を高めます。【目標項目】</p>			
実 施 概 要	21	22	23	24
○「地域連携クリティカルパス」の積極的運用 ○地域医療連携部門のスタッフの充実 ○紹介率・逆紹介率【平成24・25年度】 紹介率60%，逆紹介率30%	実施 実施	実施 実施	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>地域医療機関との連携による機能分化と協力体制を構築するため、三好病院・つるぎ町立半田病院・三好市国民健康保険市立三野病院の間で、「徳島県西部保健医療圏における適正な医療を確保するための協定書」に基づいた連携・協力を実施した。また、委員会において地域連携クリティカルパスの導入に向けた検討を行うとともに、平成21年10月より運用を開始し、平成22年度は脳神経外科で22名の適用を実施した。また、地域医療連携部門において、新たに相談員（MSW）1名を配置することによりスタッフの充実を図った。</p> <p>○紹介率・逆紹介率【平成22年度】 紹介率31.8%，逆紹介率30.5%</p>			
進行度の評価	B			

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 21	医療の標準化に資するクリティカルパス（入院診療計画）の活用促進	所管部局	三好病院
内 容	一定の症例について、院内の医療の標準化ツールとして院内で作成・適用しているクリティカルパスについても、院内多職種による連携を図りつつ、適用数の増加に努めます。		
実 施 概 要	21	22	23
○クリティカルパスの活用促進	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	<p>クリティカルパスの適用数が増加することによりクリティカルパス委員を中心に作成と活用の推進に努めた。パスの種類は外科が3種類新規作成し、内科が3種類追加された。適用率は21.5%であり、高い月は29.2%と昨年度よりは多く使用された。</p> <p>電子カルテにてのパスの運用を有効活用するために、パス委員を中心に意識の向上に努めた。</p>		
進行度の評価	C		

推進項目 22	医療安全文化の確立	所管部局	三好病院
内 容	<p>医療安全管理者（医師）を中心とした医療事故の発生の予防、発生した事故の影響拡大等の防止を確立し、県立病院における医療安全文化の醸成に努めます。</p> <p>また、医療安全管理者（医師）に対する安全管理の業務を行うことを目的とした医療安全管理者研修会の受講機会を確保するとともに、院内での苦情や事故後の対応の際に、患者側との対話を円滑に行えるスキルの養成を図ります。</p>		
実 施 概 要	21	22	23
○医療安全文化の醸成に対する努力 ○医療安全管理者研修会の受講	推進 実施	推進 実施	推進 実施
平成22年度の主な推進状況	<p>医療安全文化を全院的に広め、事故の未然防止の徹底を図るため、各部署のセーフティーマネージャーの活動の活性化に努めるとともに、第2回医療事故想定訓練を実施した。</p> <p>医療安全管理者取得研修に職員（看護師）を派遣し活動推進の核となる者の増員を図った。</p>		
進行度の評価	A		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 23	病院機能評価の更新受審	所管部局	三好病院			
内 容	各病院の機能を第三者が多角的に評価する、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価については、既に全病院が受審し認定を受けておりますが、さらに新たな評価項目が加わったVer. 6.0による再認定を受けるため、各病院が組織的に基準達成に向けた取り組みを行います。 【目標項目】 → 【医療の透明性の確保】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○病院機能評価の更新受審 【平成22年度】		実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	担当者を研修に派遣し、委員会も頻繁に開催し更新認定に努めた。また、病院管理者及び外部講師に夜研修会を開催した。					
進行度の評価	A					

推進項目 24	品質管理のための教育・研修の充実	所管部局	三好病院			
内 容	「医療は製品である」という認識の下、医療安全管理・院内感染対策等において安全・安心な医療を提供できるように、全体研修並びに個別研修を充実し、品質の保証に取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○全体研修並びに個別研修を充実		実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	医療安全管理に関しては年2回以上、感染管理についても年2回以上それぞれ全職員対象の研修会を実施し、職員の啓発に努めた。また生命維持装置等ME機器の取扱の重要性を鑑み、看護師だけでなく全職員対象の研修を行った。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

課題 25	三好病院・海部病院での地域医療研修の実施	所管部局	三好病院	
内 容	地域に密着した医療を実践する場である三好病院及び海部病院と急性期機能を持つ中央病院が一体となった研修プログラムを策定し、地域医療の担い手の育成に努めます。 また、三好病院及び海部病院においては、今後も引き続き徳島大学と協力し、学生実習の受入や地域医療研究に積極的に貢献します。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○学生実習の受入	実施	推進	推進
	○地域医療研究への積極的な貢献	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	徳島大学より研修生を受け入れを継続している。			
	進行度の評価	B		

課題 31	質の高い看護の提供を目指した、キャリアラダーによる研修の実施	所管部局	三好病院	
内 容	看護師の意欲を高め、専門性を高めるために、卒後のキャリアに応じてレベルを高める、看護師キャリアラダーによる研修制度を確立します。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○看護師キャリアラダーによる研修制度の確立	実施	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	キャリア別にそれぞれ院内研修27回、院外研修は延べ180名あまりの参加となっている。23年度教育担当師長の専任によりキャリアアップのための教育の全体像をしっかりと明示できる体制が整いつつある。			
	進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	所管部局	三好病院
内 容	各県立病院がそれぞれの担うべき機能に応じ研修方針・研修計画を策定し、各職種の資格取得を推進するとともに、取得後の技術・ノウハウ活用を図ります。 【目標項目】		
実 施 概 要		21	22
○資格取得を推進 認定看護師数 【平成25年度】 病院事業全体で12名		検討	実施
○資格取得後の技術・ノウハウの活用		実施	実施
平成22年度の主な推進状況	20年度誕生の感染管理認定看護師はチーム医療の牽引役として努力でき質の向上に寄与できている。また委員会、ICTの活動も成果として確認できる結果を残せている。(皮膚・排泄ケア認定看護師も23年6月に誕生した。23年秋にはがん化学療法、救急看護認定看護師養成課程受講が決定している。)		
進行度の評価	B		

推進項目 33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有	所管部局	三好病院
内 容	各県立病院職員が一堂に会して日頃の研究成果を発表する「県立病院学会」を引き続き開催し、職員の相互交流と知識の向上・共有を図ります。		
実 施 概 要		21	22
○「県立病院学会」の開催		実施	推進
平成22年度の主な推進状況	第5回徳島県立病院学会には、学会長の余喜多院長をはじめ38名が参加した。吉田副院長が座長を、看護局手術室、医療技術局放射線技術科から演題発表を行った。また、褥瘡対策チームがグループ表彰を受賞した。		
進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 34	先進病院に対する派遣研修の実施	所管部局	三好病院		
内 容	県立病院の核となる医療機能の発揮に向けて、救急医療・がん医療などにおける先進病院への派遣研修を実施します。				
実 施 概 要	21	22	23	24	25
○先進病院への派遣研修の実施	実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	<p>22年度は集中治療での看護の質向上のため徳島大学病院へ1名派遣研修を行った。</p> <p>23年度はチーム医療(近森病院)、クリティカルパス(香川労災)、について派遣を予定している。</p>				
進行度の評価	B				

推進項目 35	育児と仕事の両立支援	所管部局	三好病院		
内 容	育児短時間勤務制度の活用など、職員の育児と仕事の両立を図ることのできる環境整備に努めます。				
実 施 概 要	21	22	23	24	25
○育児短時間勤務制度の活用等 育児休業者に制度の周知 制度の活用	実施 実施	実施 実施	実施 実施	実施 実施	実施 実施
平成22年度の主な推進状況	<p>育児休業に入る職員には、育児短時間制度の周知は行っているが、今まででは、育児休業復帰の際保育所日勤帯は保育所に預けられる環境にあつたり、看護師の場合深夜でも同居の親族にみてもらったりできる環境にあるし、親と同居してなく、夜間に、子をみてもらえる人がいない場合でも夜勤免除の申請をしてもらい、日勤帯だけの勤務も可能であるため、育児短時間勤務制度の利用はない。</p> <p>今後、育児休暇から復帰する者からの要望があれば取得推進をはかりたい</p> <p>育児休業期間については、子が3歳になるまで取得できることを周知しているので、ほとんどの育休取得者は、3歳になるまでの期間を希望するようになった。父親も育児休業が取得できることも周知している。</p>				
進行度の評価	A				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の透明性の確保における進捗状況

議題1	DPC（診断群分類別包括評価制度）の導入による医療の透明性の向上	所管部局	三好病院	
内 容	DPCの導入により明らかになるMDC（主要診断群）別の患者数の他、傷病・診療行為（手術・処置等）のデータを解析し、各病院の入院診療に係る実績として公開に取り組みます。 【目標項目】			
	実施概要	21	22	23
	○DPCの導入【平成23年度】 ○DPC解析データの公開	検討 検討	実施 実施	実施 実施
平成22年度の主な推進状況	平成22年度においては、DPC準備病院として厚生労働省の実施する「DPC導入の影響評価に係る調査」に新規参加した。 (平成23年度においては、DPC導入の影響評価に係る調査への参加を継続することにより、平成24年度からDPC対象病院としてDPCによる診療報酬の請求ができるようになります。)			
	進行度の評価	B		

議題2	県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開（再掲）	所管部局	三好病院	
内 容	患者さんの選択に役立つことや税が投入された病院としての成果を示すため、がんの術後生存率、手術後の死亡率、疾病別手術件数、術後在院日数等、診療の結果や治療成績などの実績について、ホームページでの公開に取り組みます。 【目標項目】			
	実施概要	21	22	23
	○臨床指標のホームページ公開 【各病院】平成21年度から実施	検討	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	22年度にホームページに公開された指標の項目について県立3病院で見直しと統一化を検討したが、明快な結論は出なかった。 23年度は当院の機能と役割に見合った指標を新規追加し公開へと繋げていく方向に進めている。			
	進行度の評価	C		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 3	患者さんと一緒に医療を実践する「私のカルテ」の発行	所管部局	三好病院	
内 容	患者さんの理解を助け、また、他の医療機関受診時の診療情報の共有にも役立てていただくため、医師診療録・看護記録・検査結果などを「私のカルテ」として発行することに取り組みます。 [目標項目]			
実 施 概 要	21	22	23	24
○「私のカルテ」の発行 【平成22年度】	実 施	実 施	推 進	推 進
平成22年度の主な推進状況	患者さん自ら病気への関心を高め、情報を共有し健康管理ができるよう、平成22年3月から小児科で「私のカルテ」の発行を開始した。平成22年度末の発行件数は7件。			
進行度の評価	B			

課題 4	病院事業経営内容の公開	所管部局	三好病院	
内 容	病院事業の決算内容や医療の質・透明性・効率性の向上に向けた取り組み内容について、今後も引き続き、ホームページを活用して積極的に公開します。			
実 施 概 要	21	22	23	24
○決算内容や取り組み内容についてのホームページ公開	実施	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	経営戦略会議に住民代表が参加することにより経営状況をはじめ各取り組み状況について公開されている。 またホームページにより決算内容が広く公開されている。			
進行度の評価	A			

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の透明性の確保における進捗状況

趣題5	各県立病院毎の「住民参加会議」の開催	所管部局	三好病院			
内 容	医師の疲弊と離職を防ぐため、各病院で開催される経営戦略会議等に、地域住民によって設立された団体等の代表者が参加する「住民参加会議」を引き続き開催し、県立病院の現状を明らかにするとともに、地域医療を共に考え、共に支えていただけるような関係づくりを行います。 また、地域団体の研修会等に積極的に出向き、病院運営の現状を説明します。 【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経営戦略会議への住民参加 【各病院】継続して実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の 主な推進状況	経営戦略会議への住民代表の参加及び地域住民の研修会に出席することにより三好病院の現状を理解していただくとともに病院に対する率直な意見をいただき医療の透明性の確保に努めている。 23年度は住民が地域医療に対しより理解が深められるよう会議の内容を充実させる。					
	進行度の評価	A				

趣題6	県民公開講座及び院内健康教室の開催	所管部局	三好病院			
内 容	各病院それぞれの機能の特性に応じ、患者さんや住民の皆様を対象とした疾病・療養に関する「県民公開講座」並びに「院内健康教室」を開催します。 【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「院内健康教室」の開催 【毎月2回】		実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の 主な推進状況	患者さん、地域の皆さんを対象に「糖尿病教室」を月1回のペースで実施している。					
	進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の透明性の確保における進捗状況

推進項目	病院広報の充実	所管部局	三好病院			
内 容	病院局及び各病院のホームページを充実し、患者さんには地域医療連携の重要性や必要性等、医療についてわかりやすく説明するとともに、病院の姿が実感できる、親しみやすい情報の提供に努めます。 また、他の医療機関、将来医療を志す方等に向けては、診療機能や臨床研修に関する情報提供を充実します。 さらに、各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供も積極的に実施します。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
○ホームページの充実 ○各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供	実 施 実 施	推 進 推 進				
平成22年度の主な推進状況	平成22年度においては、ホームページの見直しをし、中期的な目標である当院の医療機能と方向性の掲載を追加した。また、医療機関向けに広報誌「ドクターの横顔」を発行し、各医師の専門分野などのプロフィールを掲載することで、より緊密な地域医療連携に努めた。 (平成23年度においては、引き続き、ホームページの更新及び広報誌の発行に努めるとともに、より良い情報を提供していくようとする。)					
進行度の評価	A					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 2	各病院の機能整備の動向に即した施設基準の取得	所管部局	三好病院			
内 容	計画期間における各病院が担うべき医療機能の整備動向に即した、診療報酬上の施設基準の取得を図るとともに、診療報酬改定への迅速な対応や、DPC（診断群分類別包括評価）における最適な請求など、適切な診療収益の確保に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○診療報酬改定への迅速な対応		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度においては、一般病棟看護必要度評価加算、急性期看護補助体制加算1、慢性期病棟等退院調整加算1及び急性期病棟等退院調整加算1他の施設基準を取得した。 (平成23年度においては、高層棟の改築を検討する中で、当院の医療機能の整備動向に即した施設基準を検討していく。)					
進行度の評価	B					

推進項目 3	地域連携・機能分担の実情に応じた新規患者の受入	所管部局	三好病院			
内 容	中央病院及び三好病院については、いずれも核となる医療機能として急性期医療機能の発揮を目指し、診療圏内の地域医療機関との連携により、新規入院患者数の増加を図ります。 【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○一般病床平均在院日数 18.0日 【平成25年度】		実 施	実 施	推 進	推 進	推 進
平成22年度の主な推進状況	社会的要請や医療・保健環境の特性に応じる地域中核病院機能の取り組みとして、つるぎ町立半田病院・三好市立三野病院の間で、「徳島県西部保健医療圏における適正な医療を確保するための協定書」を締結し、3病院間の協力体制を実施している。 また、急性期医療分野での機能を十分に果たすためには、今後も引き続き診療圏内の病院及び診療所との連携に向けた検討・協議を行うとともに、医師の確保に向けた取り組みを強化する必要がある。 ○一般病床平均在院日数 17.1日 【平成22年度】					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進期 4	診療報酬請求漏れの防止	所管部局	三好病院		
内 容	<p>各病院における総合医療情報システムの有効活用により、ヒューマン・エラーによる請求漏れを防止します。</p> <p>また、各病院において院内各部門と医事委託業者から構成されるレセプト委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上を図ります。</p> <p>なお、既に実施している中央病院に引き続き、三好病院及び海部病院においてもレセプトオンライン請求による効率的な請求を実施します。</p>				
実施概要	21	22	23	24	25
○総合医療情報システムの有効活用 ○毎月のレセプト委員会の開催 ○レセプトオンライン請求の実施	実 施 実 施 実 施	推 進 推 進 推 進			
平成22年度の主な推進状況	<p>平成22年度からは輸血の未実施リストの点検も開始したことにより輸血の請求漏れが減少した。また、栄養管理計画書の算定確認を開始したことにより栄養管理実施加算の請求漏れが減少した。また、起票の漏れの傾向をまとめ、各階病棟や救急外来に配布し、起票の漏れの注意喚起をした。</p> <p>レセプト委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上を図っている。</p> <p>(平成21年度は、平成20年度末の電子カルテシステムの導入により診療情報提供料の請求漏れが減少した。注射の未実施リストも毎日点検することにより注射料の請求漏れが減少した。また、複数科受診時の初診料も請求できるようになった)</p>				
進行度の評価	B				

推進期 5	使用料・手数料設定の見直し	所管部局	三好病院		
内 容	各病院における使用料・手数料については、健全経営の確保を踏まえた原価を反映した上、周辺の公的医療機関との均衡等も勘案し、適切な料金設定を行います。				
実施概要	21	22	23	24	25
○適切な料金設定	検討	検討	検討	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	<p>平成22年度においては、使用料・手数料設定の見直しは行わなかった。</p> <p>(平成23年度においては、改築の計画、当院が地域医療支援病院になることを目指していることや、他院の状況を踏まえ、特別初診料(750円)の見直しを検討していきたい。)</p>				
進行度の評価	D				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 7	後発医薬品の採用拡大	所管部局	三好病院			
内 容	後発医薬品の採用については、患者さんの負担軽減とともに、薬品費の削減に繋がるため、積極的に採用を増やします。【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○後発医薬品購入額割合 【各病院】薬品購入額の10% 【平成25年度】			推 進	推 進	推 進	推 進
平成22年度の主な推進状況		平成22年度末では、購入金額で1.4%の後発医薬品を採用した。				
進行度の評価		C				

推進項目 8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	所管部局	三好病院			
内 容	各病院における委託契約・賃借契約については、委託業務内容・賃借契約内容と金額のバランスを検証し、効率性と品質管理の両面から見直しに努めます。また、複数年の継続契約、一括委託契約（複数業務を集約した、包括的な委託契約）、3病院を統一した一括契約等についても、積極的に実施します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○委託契約・賃借契約についての見直し ○複数年の継続契約、一括委託契約の実施 ○3病院を統一した一括契約等の実施			推 進	推 進	推 進	推 進
推 進			推 進	推 進	推 進	推 進
平成22年度の主な推進状況		高額な医療機器の保守委託（MRI・DSA・X線）について、平成22年度から3年間の複数年契約を締結し、経費削減に努めた。				
進行度の評価		B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

議題 9	医療器械購入における競争入札の推進	所管部局	三好病院	
内 容	一般の医療器械については、今後も特別な理由があるものを除き、競争入札により購入します。 また、高額医療器械については、保守経費も含めた一般競争入札の他、総合評価一般競争入札の実施を検討し、総合的なコスト抑制や品質の確保を図ります。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○一般競争入札、総合評価一般競争入札の実施	推 進	推 進	推 進
平成22年度の主な推進状況	予定価格が30万円以上の医療器械の購入について競争入札を実施した。			
	進行度の評価	B		

議題 10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	所管部局	三好病院	
内 容	給食・清掃・洗濯等のホテルサービス部門については、職員の転出先にも配慮しつつ、外部委託に積極的に取り組みます。 また、検体検査業務、滅菌材料室、院内施設維持管理、一般事務等についても、引き続き外部委託に取り組みます。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○ホテルサービス部門の外部委託 ○一般事務等の外部委託	検 討 検 討	推 進 検 討	推 進 検 討
平成22年度の主な推進状況	給食業務の外部委託について、公募型プロポーザル方式により委託業者を選定し、平成23年度から業務開始の予定となっている。			
	進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 11	未収金の発生防止と回収促進	所管部局	三好病院			
内 容	患者さんの診療費用については、24時間会計の実施や支払い相談の充実等により、未収金の発生防止に努めます。 また、未収金が発生した場合には、速やかに支払い督促を実施し、納入指導の徹底により、回収不能債権の発生防止に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○24時間会計の実施	検討					
○支払い相談の充実	実施	推進	推進	推進	推進	推進
○速やかな納入指導の徹底	実施	推進	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度においては、従来通り、生活に困窮している患者などの支払い相談には医療相談室等において対応した。また、未収金が発生した場合には、速やかに支払い督促を実施し、納入指導の徹底により、回収不能債権の発生防止に努めた。 24時間会計については、専門性が高く、今後とも不可能であると見込んでいることから、計画変更の必要がある。					
進行度の評価	C					

推進項目 12	業務改善の手段としての情報化の推進	所管部局	三好病院			
内 容	各病院で導入している電子カルテをはじめとする病院総合情報システムの使用にあたっては、能力を最大限に使用し、その効果である効率性の発揮に努めます。 また、院内の情報化を組織的に推進するために、院長のリーダーシップの下、情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○病院総合情報システムの最大限の活用	実施	推進	推進	推進	推進	推進
○情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理	実施	推進	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度においては、情報システム委員会で病院総合情報システムの使用に当たっての問題点等を検討し、システムベンダーに対して改善を要望した。重要事項については情報システム委員会から院長に協議し、院長と委員会が一体となって情報システムの整備と一元的管理に努めた。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 14	経営戦略会議の充実	所管部局	三好病院	
内 容	本局及び各病院で開催している経営戦略会議について、病院局本局職員と各病院の幹部職員が、環境変化に迅速に対応し、戦略的な取り組みを議論する場として、また、各病院職員が経営問題を共有する場として引き続き実施し、内容を充実します。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○経営戦略会議の内容の充実	実施	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	幹部職員のみならず職員の自由な参加により、すべての職員が経営問題について共有することができている。 23年度は住民参加会議とは別に職員のみの会議を設け、より専門的戦略的な議論を行う。			
進行度の評価	A			

推進項目 15	幹部職員の経営管理力の向上	所管部局	三好病院	
内 容	各病院における管理者会議で、各病院経営における重要案件を議論し、病院幹部職員が一丸となって経営に取り組みます。 また、各病院の幹部職員や中堅職員に対して、経営分析力や経営企画力を高める合同研修を実施し、マネジメントに長けた職員の育成に努めます。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○幹部職員や中堅職員に対する経営分析力や経営企画力を高める合同研修の実施	検討	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	毎週月曜日に幹部職員による管理会議を開催し、重要案件については、その場で検討を行っており、幹部職員が共通の問題意識を持って取り組むようなシステムを構築している。 また、幹部職員が常に経営意識をもって望むようにするために、管理会議の冒頭に、入退院患者数、救急患者数等ポイントとなる数値を毎週報告し、議論している。			
進行度の評価	C			

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 16	D P C（診断群分類別包括評価）データ活用による経営分析の実施	所管部局	三好病院			
内 容	D P Cの運用から得られる自院の診療データ及び厚生労働省から公表される統計データの分析を行い、医療の質の向上・コスト削減・経営戦略策定等に積極的に活用します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○診療データや統計データの分析、活用		検討	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度においては、D P C準備病院として厚生労働省の実施する「D P C導入の影響評価に係る調査」に新規参加した。また、全国自治体病院協議会D P Cデータ分析事業に参加し、その分析結果をD P C導入準備委員会で検討している (平成23年度においては、D P C導入の影響評価に係る調査への参加を継続することにより、平成24年度からD P C対象病院としてD P Cによる診療報酬の請求ができるようとする)					
進行度の評価		B				

推進項目 17	目標設定とP D C Aサイクルによる進行管理の推進	所管部局	三好病院			
内 容	各課・各診療科・各部門等において明確に目標を設定し、P D C Aサイクルによる進行管理に努めるとともに、Q C（クオリティ・コントロール：品質管理）活動やB S C（バランス・スコアカード：多元的な業績評価システム）の浸透を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○各課・各診療科・各部門等における目標設定 ○P D C Aサイクルによる進行管理 ○Q C活動 やB S Cの浸透		実施	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	各部門ごとに目標を設定し、PDCAサイクルによる進行管理は実績報告・目標発表会として病院全体として共有されている。 今後Q C活動、B S Cについてどのように取り組んでいくかの検討が必要である。					
進行度の評価		A				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 18	全部門による実績報告・目標発表会の実施	所管部局	三好病院			
内 容	職員の任用形態や委託職員の区別無く、病院内の全ての職員の一体感の醸成と経営認識の向上を図るために、前年度の実績報告と当年度の課題・目標について院内で発表する「実績報告・目標発表会」を行います。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「実績報告・目標発表会」の実施		検討	実施	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	P D C Aサイクルの手段として位置づけている。 今後各種委員会の参加も検討していきたい。					
進行度の評価	A					

推進項目 19	堅実な危機管理体制の構築	所管部局	三好病院			
内 容	各病院職員が救急勉強会、A C L S、B L S、A E D講習会等救急に関する研修を定期的に行い、スキルアップを図ることにより、院内での急変時の対応や災害発生時の患者受け入れ体制を強化します。 また、災害拠点病院である各病院においては、大規模災害や新型インフルエンザ等の災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修実施に取り組むとともに、災害対策マニュアルの改訂を行います。 さらに、病院局全体が組織的に迅速な行動が実施できるよう、各病院と病院局本局との連携体制の堅持に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○救急に関する研修会の実施 ○災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修の実施 ○災害対策マニュアルの改訂 ○各病院と病院局本局との連携体制の堅持		実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度主な推進状況	救急勉強会、A C L S推進チーム、B L S、A E D講習会等を定期的に実施し、トリアージ訓練、災害図上訓練、傷病者受入訓練を実施している。 また、D M A Tも初出動した。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 21	3病院の診療面の連携・協調	所管部局	三好病院			
内 容	<p>これまでにも、三好病院及び海部病院における常勤医師不足に対して、「県立病院は三つでひとつ」の考えの下、中央病院の医師等による、応援診療・電子化された撮影画像の読影・病理検査などの支援を行ってきました。</p> <p>今後も、三好病院及び海部病院における医師不足が解消されるまでの間は、同様の支援を実施するとともに、中央病院における救急機能の強化に併せて、三好病院及び海部病院で対応できない救急患者の診療連携に取り組みます。</p> <p>また、中央病院で高次の治療を行ったがん患者について、より自宅近くで療養できる場合に、三好病院及び海部病院での受け入れを進めます。</p>					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
○中央病院の支援 ○3病院の連携	実 施 実 施	推 進 推 進				
平成22年度の主な推進状況	<p>平成22年度においては、徳島大学の寄付講座の外科医3名が本院外科の診療支援を行ってきた。</p> <p>中央病院で高次の治療を行ったがん患者については、より自宅近くで療養できる場合は、三好病院で受け入れを行った。</p> <p>(平成22年度には、がん治療連携指導料(肺がん)の施設基準について、中央病院を計画策定病院とし、本院は連携保険医療機関となったことから、より一層の連携を図っていく。また、中央病院における救急機能の強化の進捗状況を見極めながら、救急患者の搬送等を図っていく。)</p>					
進行度の評価	B					

推進項目 22	資産等購入における共同化の拡充	所管部局	三好病院			
内 容	<p>各種の器械・材料・消耗品等の購入については、今後も引き続き共同化のメリットを追求し、効率化に努めます。</p> <p>なお、総合メディカルゾーンの機能連携の一つとして、徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入について検討します。</p>					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
○高額医療器械(同種器械の一括入札推進、同一メーカー器械の一括入札検討) ○医薬品 ○医療材料(使用品目の絞り込みと共同購入対象品目数の拡大) ○その他(主要給食材料・消耗品・燃料等)	検 討 実 現 推 進	推 進 推 進 推 進	推 進 推 進 推 進	推 進 推 進 推 進	推 進 推 進 推 進	推 進 推 進 推 進
平成22年度の主な推進状況	医療材料について、平成22年度では60品目を共同購入した。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進期 23	経営指標	所管部局	三好病院			
内 容	経営指標のうち経常収支比率・職員給与費対医業収益比率・病床利用率（精神病床を除く）については、公立病院改革ガイドラインの規定により平成23年度を目指値として取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経常収支比率 99.0%	○病床利用率（精神病床を除く）82.0%	○職員給与費対医業収益比率 58.0% 【平成23年度】	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進	
平成22年度の主な推進状況	経常収支比率 100.1% 病床利用率 77.1% 職員給与費対医業収益比率 58.2%（給与費から報酬費を除く） 患者数の減少により診療収益は減少している。患者増による収益増に向けての取り組み、費用減のための対策について検討が必要					
進行度の評価	B					

參 考 資 料

海 部 病 院

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 1	がん診療	所管部局	海部病院			
内 容	手術・化学療法・放射線治療による質の高い治療を実施します。また、がん患者及び家族のQOL向上を図るとともに、病院内のがんに関するデータを把握する「院内がん登録」を取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○質の高い治療を実施 ○がん患者及び家族のQOL向上 ○「院内がん登録」		実施 実施 検討	推進 推進 実施	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>入院化学療法は前年度の13件から72件に、外来化学療法も80件から149件にそれぞれ増加した。海部地域で標準的な治療が受けられることは、がん患者の通院や経済的負担が軽減され、QOLの向上に繋がった。</p> <p>21年度から開始した終末期患者の訪問医療（診療・看護・リハビリ）は、地域に浸透し、22年度実績は、訪問看護利用者16人、延べ訪問回数123回、訪問診療は7回、訪問リハビリは16回であった。利用者が徐々に増加し、がん医療に欠かせない医療資源となっている。利用者が住み慣れた自宅で終末期を過ごすことができ、多種多様な悩みや不安を抱える家族の経済的・精神的負担の軽減が図られた。</p> <p>緩和ケアチームの活動も充実してきており、地域住民や医療従事者の緩和ケアや在宅医療に関する基礎調査を行った。その結果を基に地域介入を開始する予定である。がんサロンも開始することができた。</p> <p>院内がん登録は22年度に開始することができた。</p> <p>引き続き、質の高い治療とがん患者や家族のQOLの向上について充実させていきたい。</p>					
進行度の評価	B					

推進項目 2	脳卒中及び急性心筋梗塞診療	所管部局	海部病院			
内 容	救急・急性期分野を中心とした治療を実施します。また、地域連携クリティカルパスの運用に取り組み、地域における医療・福祉機関と円滑な連携を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○地域連携クリティカルパスの運用 ○地域における医療・福祉機関との円滑な連携		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>平成22年度には、徳島赤十字病院から脳卒中連携パスにより脳卒中患者3名を受け入れた。救急の脳卒中、心筋梗塞の患者に対しては、一次救命措置を行い、当院で治療困難な症例は徳島赤十字病院などへ紹介し、適切な治療が行えるように連携を行った。</p> <p>地域の医療・福祉機関との連携については、在宅療養支援担当者会議を毎月開催し、現状や在宅復帰に向けての問題点等を話し合い、地域で生活できるよう支援を行った。その他、地域医療連携担当者意見交換会を2回開催し、地域の医療・福祉関係者との顔の見える関係づくりに努めた。</p> <p>引き続き、地域との円滑な連携を図っていきたい。</p>					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進課題 3	糖尿病診療	所管部局	海部病院			
内 容	急性増悪時の治療を実施するとともに、各職種による指導により、患者さんの日常の生活・療養面の改善に貢献します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○各職種による指導により、患者さんの日常の生活・療養面を改善	実施	推進	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況		<p>低血糖や高血糖、下肢壊死等の急性増悪時は救急外来での受入れから始まり、入院治療・リハビリテーションと社会復帰までの医療を行った。また、多職種による月4回の「生活習慣病教室」を通じて良好な日常生活が送られるように支援するとともにフットケアも行った。</p> <p>23年度は、糖尿病認定看護師の研修に職員を派遣しており、認定看護師の資格取得後は、糖尿病看護外来の開設など、より専門性の高いチーム医療を行い、糖尿病患者のQOLの向上に貢献していきたい。</p>				
進行度の評価		B				

推進課題 4	高度医療の充実	所管部局	海部病院			
内 容	高度技術を要する内視鏡医療やインターベンション医療（連続血管撮影装置等を利用した血管内治療法）の積極的推進を図ります。また、高度医療器械を効率的に使用し、地域医療連携として積極的活用を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○高度医療の積極的推進	実施	推進	推進	推進	推進	推進
○地域医療連携としての積極的活用	実施	推進	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況		<p>21年度末に購入した16列マルチスライスCTの活用により、短時間で高精細な画像や3D画像を提供することができた。</p> <p>地域医療連携として、高度医療器械(CT, MRI)を、平成22年度には前年度よりも6.3%増の168件活用した。</p> <p>今後は、この新しいCTと23年度に更新を予定しているMR I (1.5 T)及び内視鏡システムを積極的に活用していきたい。</p>				
進行度の評価		B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 6	医師確保機能の強化	所管部局	海部病院		
内 容	各病院の常勤医師の不足が続く状況においては、病院事業管理者を補佐し、医師確保に係る企画・情報収集・交渉等を行う機能を充実するほか、研修医確保のための企画立案や各病院との調整を図るなど、全組織を挙げた医師確保機能の強化に努めます。				
実施概要	21	22	23	24	25
○全組織を挙げた医師確保機能の強化	実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度において、当病院に徳島大学の寄附講座「総合診療医学分野」と「地域産婦人科診療部」が開設され、「総合診療医学分野」では、内科医師4名が1週間の間に延べ12日勤務するほか、日当直業務を担当した。「地域産婦人科診療部」では、医師3名が交替で24時間365日対応できる体制を確保することができ、約3年ぶりに分娩を再開することができた。しかし、常勤医不足は解消されていない。				
進行度の評価	C				

推進項目 7	医師の安定確保に向けた条件整備	所管部局	海部病院		
内 容	救急部門における件数増加に伴う医師の過重労働や、病院全体の医師数減少に伴う負担が増加している状況において、医師の負担軽減とモチベーション向上につながる改善を実施することにより、今後の医師の離職防止に努めます。				
実施概要	21	22	23	24	25
○医師事務作業補助員の効果検証とともに、各補助員の能力向上を図り、積極的に活用 ○医師公舎等の居住環境の改善 ○資格取得や研修等の自己啓発に一定期間集中できる、自己啓発等休業制度の活用が図られるような環境整備に努める ○地域医療を自ら守ろうという趣旨で活動する団体や地元自治体と連携を強め、医師の離職防止を図る	実施 実施検討 実施	推進 推進検討 推進	推進 推進検討 推進	推進 推進実施 推進	推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	県の医師事務作業補助者導入推進事業を活用して、医師事務作業補助者を1名増員し、医師の負担軽減に努めた。 また、新総合医療情報システムの導入に際し、県立中央病院と同一のカルテとし、作業環境の統一を図るなど中央病院の医師による応接診療がスムーズにできる環境づくりを行った。 医師公舎の整備については、地デジ化改修を行い、ケーブルテレビに加入し、居住環境を改善した。 「地域医療を守る会」や海部病院ボランティア「さくらの会」との連携により医師の離職防止にも努めた。 今後も、医師の安定確保に向けた条件整備に努めていきたい。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	所管部局	海部病院	
内 容	地域医療連携の推進にあたり、重要な役割を果たすMSW（メディカルソーシャルワーカー）・精神保健福祉士（P SW）、医療機器の安全管理の向上を図るために臨床工学技士について、適正な確保を図ります。			
	実 施 概 要	21	22	23
	24	25		
	○MSWの確保 ○精神保健福祉士（P SW）の確保 ○臨床工学技士の確保	検討 検討 検討	実施 検討 検討	推進 実施 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>地域連携業務、退院支援業務、各種相談業務等、地域連携が重要となってきている。当院においては22年4月に、看護局に地域支援室を設置し、3名の専従看護師を配置し、訪問医療と地域連携業務の充実を図った。</p> <p>23年4月にMSWが地域支援室に配置されたため、今後、地域の貴重な医療資源として活用していきたい。</p> <p>臨床工学技士については、安全に医療を行うために必要となるが、22年度から中央病院の臨床工学技士に月1回定期的に応援に来てもらつており当病院の医療安全の向上に寄与している。</p>			
	進行度の評価	B		

推進項目 11	医療の質を示す臨床指標（クリニカル・インディケーター）の設定	所管部局	海部病院	
内 容	県立病院における診療の結果や治療成績などの実績を適切に評価し、担うべき医療機能への貢献度の測定や、院内での研修方針への活用、また、県民へ情報開示することを目指して、臨床指標設定のためのデータ収集や分析に取り組みます。 [医療の透明性の確保で再掲載]			
	実 施 概 要	21	22	23
	24	25		
	○臨床指標設定のためのデータ収集や分析への取組	検討	検討	推進 実施 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>当病院については、退院時に入院患者に係る疾病の種類、経過、転記等のデータを収集してきたが、23年1月から院内がん登録の実施を始めた。</p> <p>今後、これらのデータやDPCデータを用いて入院患者の分析を行うとともに、外来患者の統計データの収集についても努力していきたい。</p>			
	進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
一平成22年度の進捗状況について
●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

推進期 12	患者さん中心のチーム医療の実践	所管部局	海部病院			
内 容	患者さんを中心として、全ての職種が、ファイン・チームワークを発揮しスペースを埋めながら医療を行う「チーム医療」に、今後も引き続き取り組みます。 また、各チーム合同によるカンファレンスや研修会を積極的に実施します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「チーム医療」の推進 ○各チーム合同によるカンファレンスや研修会の実施		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>多職種間のスペースを埋める連携(検査技師による早朝採血、放射線技師によるフィルム配達、理学療法士による早朝リハビリ、薬剤師による持参薬チェックや保管等)や情報交換、カンファレンスにより、患者さんにとって効率的で質の高い医療が提供できるよう努力した。また、チームによる訪問医療や生活習慣病教室の定期開催などを行った。</p> <p>N S Tは、医師の加入により充実し、管理栄養士、薬剤師、看護師が所定の研修を受け栄養サポートチーム加算を取得した。定期的にカンファレンスやラウンドを行い、栄養評価、嚥下テストを行いながら効果的な介入ができた。</p> <p>I C Tは、感染管理認定看護師を中心に院内感染対策を行った。今後は地域の施設等の職員を対象とした研修会を開催し、施設での感染対策の充実など地域介入を行う予定である。</p> <p>P C Tは、医師、緩和ケア認定看護師を中心にチーム活動を開始し、患者さんや家族に緩和ケアを行った。</p>					
進行度の評価	B					

推進期 13	患者さんのQOL（生活の質）を高める、各職種による指導・活動の推進	所管部局	海部病院			
内 容	各職種の職員が、それぞれ有する専門的能力を発揮し、患者さんのQOL（生活の質）を高め、回復力・予防力の向上に貢献する指導や相談事業等を積極的に実施します。 [目標項目]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○薬剤管理指導件数【平成25年度】2,400件		実施	推進	推進	推進	推進
○栄養管理指導件数【平成25年度】180 件		実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	<p>薬剤管理指導件数は、対前年度比 80.6%の 1,117 件(21 年度 1,386 件)であったが、栄養管理指導件数は、対前年度比 121.5 %の 158 件(21 年度 130 件)と増加した。</p> <p>今後は、必要に応じて患者さんの QOL を高めるための指導や相談事業等を実施していく。</p>					
進行度の評価	C					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について-

●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 14	患者さんとの人間関係を重視する取り組みの推進	所管部局	海部病院			
内 容	<p>患者さん中心の医療の実践と患者さんの医療への主体的な参加支援を掲げ、平成17年度に制定した「患者の権利章典」については、より一層の患者さんへの周知と職員への浸透を図ります。</p> <p>また、患者さんが納得して治療を受けるための「インフォームドコンセント（説明と同意）」を徹底し、誠意を持って説明に取り組むとともに、患者さんの不安解消や治療に関する自己決定を支援する「セカンドオピニオン相談」について、引き続き推進します。</p>					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「患者の権利章典」の患者さんへのより一層の周知	実施	推進	推進	推進	推進	推進
○「患者の権利章典」の職員への浸透	実施	推進	推進	推進	推進	推進
○「インフォームドコンセント（説明と同意）」の徹底	実施	推進	推進	推進	推進	推進
○「セカンドオピニオン相談」の推進	検討	検討	検討	検討	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	<p>「患者の権利章典」については、病棟及び外来の掲示板等への掲示により患者さんへの周知と職員への浸透を図った。また、病院のホームページへの掲載により、地域住民への周知にも努めた。</p> <p>患者さんへの治療方針等の説明と同意については、誠意を持って説明に取り組んだ。</p> <p>今後は、セカンドオピニオン相談の実施について検討したい。</p>					
進行度の評価	B					

推進項目 15	病院ボランティアの充実	所管部局	海部病院			
内 容	<p>病院ボランティアの受入については、既に実施している病院環境整備や案内だけでなく、傾聴ボランティア等にも拡大するとともに、ボランティア参加者からのご意見を参考に、参加しやすい環境づくりに取り組みます。</p>					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○傾聴ボランティア等のボランティアの新規拡大	検討	検討	検討	検討	実施	
○ボランティアに参加しやすい環境づくりへの取組	実施	推進	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	<p>平成22年4月に開催したボランティア打合せ会において、ボランティアの方と意見交換をしたり、また、ボランティア保険加入等について説明し、参加しやすい環境づくりに努めた。</p> <p>専門性の高い傾聴ボランティア等は適当な人材が見あたらず、環境整備以外への拡大はできていない。</p>					
進行度の評価	C					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 16	患者さんの視点に立ったサービスの提供	所管部局	海部病院				
内 容	<p>職員一人一人が患者さんの視点に立った対応について一層の意識向上を図り、質の高いサービスを提供するために、患者満足度調査の毎年実施や、地域住民による定期的な病院見学の実施により改善に取り組みます。</p> <p>また、外部講師による接遇研修を実施し、全職種の接遇能力の向上を図ります。さらに、診療・検査等の待ち時間については、待ち時間調査を実施し、短縮に向けた改善・工夫に努めます。</p>						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○患者満足度調査の毎年実施 ○地域住民による定期的な病院見学の実施 ○外部講師による接遇研修を実施 ○待ち時間調査の実施と短縮に向けた改善・工夫	実施 実施 実施 実施	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進	
平成22年度の主な推進状況	<p>昨年度に引き続き外来満足度調査を実施、概ね良い評価を頂いた。待ち時間に関しては、電話による予約変更や予約枠の見直し、待ち時間表示、患者さんへの声掛け、アメニティの改善などを行い、待ち時間が短縮するよう、また、患者さんにとって不快な待ち時間とならないよう努力した。</p> <p>地域住民を対象とした応援診療の医師による定期的な公開研修会の開催や生活習慣病教室の開催等により、定期的に当院へ来ていただける機会を提供了。また、地域住民の要望に応じて栄養士、理学療法士、看護師が地域に向き、出前講座も行った。</p> <p>接遇については、接遇インストラクターを養成予定であり、今後も患者さんの視点に立った、ニーズに応えられるようなサービスが提供出来るように努力していきたい。</p>						
進行度の評価	B						

推進項目 17	治療効果を高め、満足していただける食事の提供	所管部局	海部病院				
内 容	<p>管理栄養士と調理師が病棟を訪問して摂食状況を調査するなどにより患者さんの食事の状況を把握し、全部食べていただける食事の提供に努めます。</p> <p>また、行事食や祝い膳の充実とともに季節感を感じていただける工夫を行い、おいしく食べていただけるよう努めます。</p>						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○摂食状況の調査 ○行事食や祝い膳の充実	実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進	
平成22年度の主な推進状況	<p>摂食状況の調査については、昼食時の病棟訪問を延べ889件実施、昼食後の個別残食調査を35回実施した。調査により、患者さんの食事の状況を把握し、個別対応することによって喫食率の向上に努めた。</p> <p>行事食等の充実については、郷土食や季節感を取り入れ、年間23回の行事食を実施したり、月2回の手作りおやつサービスも定着させた。また、分娩の再開に合わせて、祝膳を実施した。</p>						
進行度の評価	B						

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

一 平成22年度の進捗状況について

● 医療の質の確保における進捗状況

参考資料

課題目 18	海部病院における療養環境の充実	所管部局	海部病院				
内 容	海部病院においては、個室の改装や設備改修により快適性の向上を図るとともに、個室数の増加について検討します。 また、患者さんのプライバシーへの配慮や老朽化した施設・設備の修繕については、患者さんからの要望やアメニティ向上への効果を優先して実施します。						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○個室の改装や設備改修 ○個室数の増加 ○患者さんのプライバシーへの配慮 ○老朽化した施設・設備の修繕		実施 検討 実施 実施	推進 検討 推進 推進	推進 検討 推進 推進	推進 検討 推進 推進	推進 検討 推進 推進	
平成22年度の主な推進状況		お産再開に備え、産科病室にエアコンを設置し、冷暖房が入らない端境期に冷暖房を行い、妊産婦のアメニティの向上を図った。 また、患者用のトイレを和式から洋式に改修し、快適性の向上を図った。 今後も、患者アンケートの実施等により、ニーズに応じた環境改善に努めたい。 当院の入院患者は年金で生活している高齢者が多く、患者負担（個室料）の増加に繋がる個室の増加については、今後の入院患者の動向を踏まえ、検討していきたい。					
進行度の評価		C					

課題目 19	各種病院サービスにおける利便性の向上	所管部局	海部病院				
内 容	病院を利用される方の利便性の向上に向けて、サービスの導入や充実を検討します。						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○売店については、コンビニエンスストアの導入や、営業時間の延長・品揃えの充実を検討する ○会計待ち時間短縮を図るために自動精算機の導入と診療費用のクレジットカードによる支払い、及びコンビニエンスストアでの支払いなどの実施について検討する		検討	検討	検討	検討	検討	
平成22年度の主な推進状況		入院・外来患者数の動向を踏まえ、今後、売店の営業時間や品揃えの充実、診療費用の支払い方法等について、検討していきたい。					
進行度の評価		C					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について
●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

課題 20	県立病院の医療機能を最大限に發揮する、継ぎ目のない連携体制構築	所管部局	海部病院	
内 容	<p>「地域の医療機関の機能分化と連携による、必要な医療を切れ目なく提供する体制の構築」を目指し、県立病院と地域医療機関との連携をより一層強化します。</p> <p>また、連携を促進するため、患者さんの治療開始から終了までの全体的な治療計画である「地域連携クリティカルパス」の運用を積極的に進めるとともに、広域でのパスの統一化に努めます。</p> <p>さらに、医療・保健・福祉の領域を超えた連携をリードする地域医療連携部門のスタッフ（看護師・事務・MSW・PSW等の職種）を充実し、関係各機関との調整能力を高めます。 [目標項目]</p>			
実 施 概 要	21	22	23	24
○「地域連携クリティカルパス」の積極的運用 ○地域医療連携部門のスタッフの充実	実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>「地域連携クリティカルパス」の運用については、対象病院（徳島赤十字病院）から脳卒中連携パスの患者を3名受け入れ、広域でのパスの統一化に努めた。</p> <p>また、地域医療連携部門の充実については、平成22年4月に地域支援室を設置し、看護師長を含む3名の体制で、地域の医療機関や施設との連携業務の充実を図った。（H23.4.1当院で最初のMSW配属）</p>			
進行度の評価	B			

課題 20-2	連携による在宅療養支援機能の発揮	所管部局	海部病院	
内 容	<p>海部病院において、地域における在宅医療の充足状況や自宅での看取りに対するニーズを把握し、開業医や訪問看護ステーションとの連携を深め、診療・看護・ケアを支援します。</p>			
実 施 概 要	21	22	23	24
○地域における在宅医療や自宅での看取りに対する診療・看護・ケアの支援	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	<p>末期がん等の患者に対し、平成21年度に訪問看護と訪問リハビリを開始し、22年度には訪問診療も開始し、地域支援に取り組んだ。（H22年度訪問看護実績123件、訪問リハビリ実績16件、訪問診療実績7件）</p> <p>今後は、引き続き在宅医療を推進していくとともに、地域の開業医や訪問看護ステーション等との連携体制の充実に努め、患者情報を共有化するなど、的確で効率的なサービスの提供に努めていきたい。</p>			
進行度の評価	B			

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 21	医療の標準化に資するクリティカルパス（入院診療計画）の活用促進	所管部局	海部病院			
内 容	一定の症例について、院内の医療の標準化ツールとして院内で作成・適用しているクリティカルパスについても、院内多職種による連携を図りつつ、適用数の増加に努めます。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○クリティカルパスの活用促進	検討	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度において作成・適用しているパスは前年度より2種類増の7種類である。 今後は、院内多職種による連携を図りつつ、適用数の増加に努めたい。					
	進行度の評価	B				

推進項目 22	医療安全文化の確立	所管部局	海部病院			
内 容	医療安全管理者（医師）を中心とした医療事故の発生の予防、発生した事故の影響拡大等の防止を確立し、県立病院における医療安全文化の醸成に努めます。 また、医療安全管理者（医師）に対する安全管理の業務を行うことを目的とした医療安全管理者研修会の受講機会を確保するとともに、院内での苦情や事故後の対応の際に、患者側との対話を円滑に行えるスキルの養成を図ります。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○医療安全文化の醸成に対する努力 ○医療安全管理者研修会の受講	実施 検討	推進 実施	推進 推進	推進 実施	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	毎月開催している「ヒヤリハット報告会」において事例報告をし、ヒヤリハットの情報を蓄積・共有することによって、重大な事故の発生の防止に努めた。 医療安全管理者研修会は看護師1名が受講した。					
	進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 23	病院機能評価の更新受審	所管部局	海部病院		
内 容	各病院の機能を第三者が多角的に評価する、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価については、既に全病院が受審し認定を受けておりますが、さらに新たな評価項目が加わったVer. 6.0による再認定を受けるため、各病院が組織的に基準達成に向けた取り組みを行います。 【目標項目】→【医療の透明性の確保】				
実施概要	21	22	23	24	25
○病院機能評価の更新受審 【平成24年度】	検討	検討	検討	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	平成24年度の受験に向けVer. 6.0の解説集等資料の収集に努めた。 今後は、病院機能評価認定推進委員会において現バージョンの推進、管理、見直しを行うとともに、新バージョンの情報を周知し、再認定を受けるため、組織的に基準達成に向けた取組みを行っていきたい。				
進行度の評価	B				

推進項目 24	品質管理のための教育・研修の充実	所管部局	海部病院		
内 容	「医療は製品である」という認識の下、医療安全管理・院内感染対策等において安全・安心な医療を提供できるように、全体研修並びに個別研修を充実し、品質の保証に取り組みます。				
実施概要	21	22	23	24	25
○全体研修並びに個別研修を充実	実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	医療安全については、毎月実施するヒヤリハット報告会のほか、年2回の全体研修会によりレベルアップに努めた。 院内感染対策については、感染管理の認定看護師研修に職員を派遣し、資格を取得した。今後は、認定看護師を中心とした院内研修に加え、認定看護師による郡内の医療機関、施設等を含めた研修会を開催するなど、地域と一体となって、感染対策についてレベルアップを図っていきたい。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 25	三好病院・海部病院での地域医療研修の実施	所管部局	海部病院	
内 容	地域に密着した医療を実践する場である三好病院及び海部病院と急性期機能を持つ中央病院が一体となった研修プログラムを策定し、地域医療の担い手の育成に努めます。 また、三好病院及び海部病院においては、今後も引き続き徳島大学と協力し、学生実習の受入や地域医療研究に積極的に貢献します。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○学生実習の受入	実施	推進	推進
	○地域医療研究への積極的な貢献	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	学生実習の受入れについては、徳島大学の5年生が、当院を拠点とした地域医療実習を行った。 今後も引き続き徳島大学と協力し、学生実習の受入れや地域医療研究に貢献していきたい。			
	進行度の評価	B		

推進項目 31	質の高い看護の提供を目指した、キャリアラダーによる研修の実施	所管部局	海部病院	
内 容	看護師の意欲を高め、専門性を高めるために、卒後のキャリアに応じてレベルを高める、看護師キャリアラダーによる研修制度を確立します。			
	実 施 概 要	21	22	23
	○看護師キャリアラダーによる研修制度の確立	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	キャリアラダーによる研修制度に応じてステップアップできるように研修会を企画・実施し、また、衛生放送による研修会も行った。なかでも、認定看護師（感染、緩和ケア、救急看護）による研修で、専門的知識を深めることができた。また、看護研究の研修会を開催することにより、看護学会（成人看護II）、緩和医療学会で2演題の発表をするなど成果を上げた。 院内研修はもとより、より専門性を高めるため、75名の看護師数であるが、院外研修に延べ80名を派遣した。 今後は、新人研修の充実や多くの看護スタッフが参加できるような研修会の開催方法の検討や評価方法の確立等を行い、質の高い看護ができるよう努力していきたい。また、効果的な研修体制によるキャリアアップにより、看護職のモチベーションの向上や離職防止にも努めていきたい。			
	進行度の評価	B		

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について
●医療の質の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	所管部局	海部病院	
内 容	各県立病院がそれぞれの担うべき機能に応じ研修方針・研修計画を策定し、各職種の資格取得を推進するとともに、取得後の技術・ノウハウ活用を図ります。 【目標項目】			
実 施 概 要	21	22	23	24
○資格取得を推進 認定看護師数 【平成25年度】 病院事業全体で12名	実施	推進	推進	実現
○資格取得後の技術・ノウハウの活用	検討	実施	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	<p>22年度は、栄養サポートチームの薬剤師、管理栄養士、看護師が所定の研修を終了し、NST活動の充実に繋がった。</p> <p>看護局では、感染管理認定看護師が誕生した。ICTの核となって活動し、院内感染対策の充実に貢献している。また、分娩再開に向けてエキスパート助産師研修を終了した。</p> <p>23年度は、糖尿病認定看護師の研修派遣を行っている。</p> <p>その他、各職種の専門性を高める資格取得や研修受講を積極的に推進している。</p>			
進行度の評価	B			

推進項目 33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有	所管部局	海部病院	
内 容	各県立病院職員が一堂に会して日頃の研究成果を発表する「県立病院学会」を引き続き開催し、職員の相互交流と知識の向上・共有を図ります。			
実 施 概 要	21	22	23	24
○「県立病院学会」の開催	実施	実施	実施	実施
平成22年度の主な推進状況	<p>平成23年2月に開催された「県立病院学会」に、当院からも多数の職員が参加した。</p> <p>今後も引き続き、職員の相互交流と知識の向上・共有を図りたい。</p>			
進行度の評価	B			

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の質の確保における進捗状況

難題目 34	先進病院に対する派遣研修の実施	所管部局	海部病院		
内 容	県立病院の核となる医療機能の発揮に向けて、救急医療・がん医療などにおける先進病院への派遣研修を実施します。				
	実 施 概 要	21	22	23	24
	○先進病院への派遣研修の実施	検討	検討	検討	実施
平成22年度の 主な推進状況	職員のスキルアップ、やる気の向上を図る手段として、効果があると認められるので、時期を見て実施したい。				
	進行度の評価	C			

難題目 35	育児と仕事の両立支援	所管部局	海部病院		
内 容	育児短時間勤務制度の活用など、職員の育児と仕事の両立を図ることのできる環境整備に努めます。				
	実 施 概 要	21	22	23	24
	○育児短時間勤務制度の活用等	検討	実施	推進	推進
平成22年度の 主な推進状況	育児休業中の職員に、短時間勤務制度の説明文書を郵送し周知を図った。また、病院と疎遠にならないように、定期的な電話や手紙で近況確認や病院の状況などを伝えた。 育休から職場復帰後は、育児と仕事が両立できるように、超過勤務をしないような勤務上の配慮や夜勤の免除、特別休暇（子の看護）等を取得しやすい職場環境作りに努めた。 今後も、仕事と育児を両立できるよう支援を継続していきたい。				
	進行度の評価	B			

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の透明性の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 1	D P C（診断群分類別包括評価制度）の導入による医療の透明性の向上	所管部局	海部病院			
内 容	D P Cの導入により明らかになるM D C（主要診断群）別の患者数の他、傷病・診療行為（手術・処置等）のデータを解析し、各病院の入院診療に係る実績として公開に取り組みます。【目標項目】					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○D P Cの導入【平成23年度】 ○D P C解析データの公開	実施検討	推進検討	推進検討	推進実施	推進推進
平成22年度の主な推進状況	平成21年7月にD P Cを導入した。 今後は、D P Cのデータを解析し、当院の入院診療の実績として公開に取り組みたい。					
	進行度の評価	B				

推進項目 2	県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開（再掲）	所管部局	海部病院			
内 容	患者さんの選択に役立つことや税が投入された病院としての成果を示すため、がんの術後生存率、手術後の死亡率、疾病別手術件数、術後住院日数等、診療の結果や治療成績などの実績について、ホームページでの公開に取り組みます。【目標項目】					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○臨床指標のホームページ公開 【各病院】平成21年度から実施	実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	科別手術件数、科別・地域別患者数、救急患者数、科別入院平均在院日数、病類別病床利用率、地域別退院患者数、退院死亡率などの指標をホームページで公開している。 今後は、疾病別手術件数や術後住院日数などの臨床指標の公開に取り組みたい。					
	進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

－平成22年度の進捗状況について－

●医療の透明性の確保における進捗状況

参考資料

課題 3	患者さんと一緒に医療を実践する「私のカルテ」の発行	所管部局	海部病院		
内 容	患者さんの理解を助け、また、他の医療機関受診時の診療情報の共有にも役立てていただくため、医師診療録・看護記録・検査結果などを「私のカルテ」として発行することに取り組みます。【目標項目】				
実 施 概 要	21	22	23	24	25
○「私のカルテ」の発行 【平成22年度】	実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年3月に、外来化学療法を実施している患者さんに対して最初の「私のカルテ」を発行後、訪問看護を行っている患者さんについても発行し、22年度末までに計16人の患者さんに対して「私のカルテ」を発行している。				
進行度の評価	B				

課題 4	病院事業経営内容の公開	所管部局	海部病院		
内 容	病院事業の決算内容や医療の質・透明性・効率性の向上に向けた取り組み内容について、今後も引き続き、ホームページを活用して積極的に公開します。				
実 施 概 要	21	22	23	24	25
○決算内容や取り組み内容についてのホームページ公開	実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	決算内容や診療内容、指標等についてホームページで公開した。 今後も引き続き、最新の情報を積極的に公開していきたい。				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の透明性の確保における進捗状況

参考資料

趣旨 5 各県立病院毎の「住民参加会議」の開催		所管部局	海部病院			
内 容	医師の疲弊と離職を防ぐため、各病院で開催される経営戦略会議等に、地域住民によって設立された団体等の代表者が参加する「住民参加会議」を引き続き開催し、県立病院の現状を明らかにするとともに、地域医療を共に考え、共に支えていただけるような関係づくりを行います。また、地域団体の研修会等に積極的に出向き、病院運営の現状を説明します。 【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経営戦略会議への住民参加 【各病院】継続して実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	毎月開催している海部病院経営戦略会議に、地域住民によって設立された団体の代表者に参加していただいた。また、病院からは情報を提供し、また住民の方からの質問に答えたり意見交換を行うことにより、地域医療を共に考え共に支えていく関係づくりを行った。 また、経営戦略会議に参加している「地域医療を守る会」主催の「海部郡の救急を考える会」に出向き、当院の救急受入の現状を説明した。					
進行度の評価	B					

趣旨 6 県民公開講座及び院内健康教室の開催		所管部局	海部病院			
内 容	各病院それぞれの機能の特性に応じ、患者さんや住民の皆様を対象とした疾病・療養に関する「県民公開講座」並びに「院内健康教室」を開催します。 【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「院内健康教室」の開催 【毎月 2回】		実施	実施	実施	実施	実施
平成22年度の主な推進状況	住民の皆様を対象とした「公開研修会」を9回、患者さんを対象とした「生活習慣病教室」を毎月4回開催した。 今後も、引き続き開催していきたい。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

一 平成22年度の進捗状況について

● 医療の透明性の確保における進捗状況

参考資料

課題 7	病院広報の充実	所管部局	海部病院			
内 容	病院局及び各病院のホームページを充実し、患者さんには地域医療連携の重要性や必要性等、医療についてわかりやすく説明するとともに、病院の姿が実感できる、親しみやすい情報の提供に努めます。 また、他の医療機関、将来医療を志す方等に向けては、診療機能や臨床研修に関する情報提供を充実します。 さらに、各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供も積極的に実施します。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
○ホームページの充実 ○各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供	実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	22年10月に、職員の手作りによりホームページのリニューアルを行った。当院の「地域医療センター」の設置目的や業務内容等を載せ、地域医療連携の必要性等、医療についての情報提供に努めた。 また、年3回広報誌を発行し、海部郡内の住民に新聞折込等により配布し、診療内容等の情報提供をした。 今後は、郡内の自治体広報誌等を通じた情報提供も行っていきたい。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について
●医療の効率性の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 2	各病院の機能整備の動向に即した施設基準の取得	所管部局	海部病院			
内 容	計画期間における各病院が担うべき医療機能の整備動向に即した、診療報酬上の施設基準の取得を図るとともに、診療報酬改定への迅速な対応や、DPC（診断群分類別包括評価）における最適な請求など、適切な診療収益の確保に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○診療報酬改定への迅速な対応		実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成21年7月にDPCを導入して以来、請求の精度向上が図られ診療収益の確保に繋がった。また、施設基準の取得については、7対1入院基本料や50対1急性期看護補助体制加算等の届出により大幅な収益の増加に繋がった。 今後も、当院の現状に即した施設基準の取得に努めていきたい。					
進行度の評価	B					

推進項目 4	診療報酬請求漏れの防止	所管部局	海部病院			
内 容	各病院における総合医療情報システムの有効活用により、ヒューマン・エラーによる請求漏れを防止します。 また、各病院において院内各部門と医事委託業者から構成されるレセプト委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上を図ります。 なお、既に実施している中央病院に引き続き、三好病院及び海部病院においてもレセプトオンライン請求による効率的な請求を実施します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○総合医療情報システムの有効活用 ○毎月のレセプト委員会の開催 ○レセプトオンライン請求の実施		実施 実施 実施	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	総合医療情報システムを活用し、ヒューマンエラーによる請求漏れの防止に努めた。また、レセプト委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上を図った。レセプトオンライン請求は前年度に引き続き実施した。 今後も、引き続き実施していきたい。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の効率性の確保における進捗状況

参考資料

課題 5	使用料・手数料設定の見直し	所管部局	海部病院		
内 容	各病院における使用料・手数料については、健全経営の確保を踏まえた原価を反映した上、周辺の公的医療機関との均衡等も勘案し、適切な料金設定を行います。				
	実 施 概 要	21	22	23	24
	○適切な料金設定	検討	検討	検討	検討
平成22年度の主な推進状況	使用料・手数料は、原価を反映させるとともに、周辺の医療機関との均衡を勘案し、料金設定を行っている。 今後も、適切な料金であるかの検証を行っていきたい。				
	進行度の評価	B			

課題 7	後発医薬品の採用拡大	所管部局	海部病院		
内 容	後発医薬品の採用については、患者さんの負担軽減とともに、薬品費の削減に繋がるため、積極的に採用を増やします。 [目標項目]				
	実 施 概 要	21	22	23	24
	○後発医薬品購入額割合 【各病院】薬品購入額の10% 【平成25年度】	実施	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度の後発医薬品購入割合は6.6%であるが、1名の高額医薬品(ノボセブン)使用患者の医薬品購入額(医薬品購入額の約3割)を除いた割合は9.2%である。 今後も、後発医薬品の採用に努めたい。				
	進行度の評価	B			

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について
●医療の効率性の確保における進捗状況

参考資料

趣題 8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	所管部局	海部病院				
内 容	各病院における委託契約・賃借契約については、委託業務内容・賃借契約内容と金額のバランスを検証し、効率性と品質管理の両面から見直しに努めます。また、複数年の継続契約、一括委託契約（複数業務を集約した、包括的な委託契約）、3病院を統一した一括契約等についても、積極的に実施します。						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○委託契約・賃借契約についての見直し ○複数年の継続契約、一括委託契約の実施 ○3病院を統一した一括契約等の実施		検討 実施 検討	検討 推進 推進	実施 推進 実施	推進 推進 推進	推進 推進 推進	
平成22年度の主な推進状況		機械警備とカーテン・カーペットの賃貸借に加えて、22年度にはデジタル複写機についても競争入札により長期継続契約を締結した。 今後は、業務内容の見直しや3病院統一した一括契約についても実施していきたい。					
進行度の評価		B					

趣題 9	医療器械購入における競争入札の推進	所管部局	海部病院				
内 容	一般的医療器械については、今後も特別な理由があるものを除き、競争入札により購入します。 また、高額医療器械については、保守経費も含めた一般競争入札の他、総合評価一般競争入札の実施を検討し、総合的なコスト抑制や品質の確保を図ります。						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○一般競争入札、総合評価一般競争入札の実施		実施	推進	推進	推進	推進	
平成22年度の主な推進状況		医療器械の購入5件のうち3件について指名競争入札を実施し、1件（X線撮影装置）は一般競争入札（三好病院との共同購入）により購入した。 今後は、高額医療器械については総合評価一般競争入札の実施を検討したい。					
進行度の評価		B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	所管部局	海部病院			
内 容	給食・清掃・洗濯等のホテルサービス部門については、職員の転出先にも配慮しつつ、外部委託に積極的に取り組みます。 また、検体検査業務、滅菌材料室、院内施設維持管理、一般事務等についても、引き続き外部委託に取り組みます。					
実 施 概 要	21	22	23	24	25	
○ホテルサービス部門の外部委託	検討	検討	検討	検討	検討	
○一般事務等の外部委託	検討	検討	検討	検討	検討	
平成22年度の主な推進状況	ホテルサービス部門の外部委託については、清掃・洗濯業務は外部委託しているが、給食業務は直営で実施している。 今後、他の部門の外部委託化についても職員との協議を踏まえ、検討していきたい。					
進行度の評価	C					

推進項目 11	未収金の発生防止と回収促進	所管部局	海部病院			
内 容	患者さんの診療費用については、24時間会計の実施や支払い相談の充実等により、未収金の発生防止に努めます。 また、未収金が発生した場合には、速やかに支払い督促を実施し、納入指導の徹底により、回収不能債権の発生防止に努めます。					
実 施 概 要	21	22	23	24	25	
○24時間会計の実施	検討	検討	検討	検討	検討	
○支払い相談の充実	実施	推進	推進	推進	推進	
○速やかな納入指導の徹底	実施	推進	推進	推進	推進	
平成21年度の主な推進状況	医療費の支払いに関する相談等を実施するとともに、土、日等時間外の外来会計を実施することにより未収金発生防止に努めた。 未収金が発生した場合には、早期の督促状の発送や電話督促、次回外来受診時に督促をし回収に努めた。長期滞納者については、法的措置による回収を進めた。 24時間会計の実施については、専門業者に委託すると費用が増大するところから、将来に向けて検討する。					
進行度の評価	C					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
-平成22年度の進捗状況について
●医療の効率性の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 12	業務改善の手段としての情報化の推進	所管部局	海部病院			
内 容	各病院で導入している電子カルテをはじめとする病院総合情報システムの使用にあたっては、能力を最大限に使用し、その効果である効率性の発揮に努めます。また、院内の情報化を組織的に推進するために、院長のリーダーシップの下、情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○病院総合情報システムの最大限の活用 ○情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理		実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	総合医療情報システムは、平成16年度から稼働しており、患者データの一元管理により、待ち時間の短縮、データの分析等に威力を発揮している。導入後6年を経過し、システムの更新時期を迎えたため、効率性を重視しつつ、可能な限り安価で安全に稼働できるよう、県立中央病院と共同のサービスを利用するという仕様で入札を行い契約を締結した。23年8月に稼働しており、より良いシステム整備に取り組んでいる。					
進行度の評価	B					

推進項目 14	経営戦略会議の充実	所管部局	海部病院			
内 容	本局及び各病院で開催している経営戦略会議について、病院局本局職員と各病院の幹部職員が、環境変化に迅速に対応し、戦略的な取り組みを議論する場として、また、各病院職員が経営問題を共有する場として引き続き実施し、内容を充実します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経営戦略会議の内容の充実		実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	前年度に引き続き、病院経営の戦略的な取組みを議論する場として、毎月、経営戦略会議を開催した。今後も各部局が経営改善への取り組み等についてプレゼン発表した上で、議論するなど、内容を充実していきたい。					
進行度の評価	B					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

一平成22年度の進捗状況について

●医療の効率性の確保における進捗状況

参考資料

課題目 15	幹部職員の経営管理力の向上	所管部局	海部病院			
内 容	各病院における管理者会議で、各病院経営における重要案件を議論し、病院幹部職員が一丸となって経営に取り組みます。 また、各病院の幹部職員や中堅職員に対して、経営分析力や経営企画力を高める合同研修を実施し、マネジメントに長けた職員の育成に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○幹部職員や中堅職員に対する経営分析力や経営企画力を高める合同研修の実施		検討	検討	検討	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	管理会議や運営会議において、必要な各種経営指標の周知の他、重要案件について協議し、幹部職員一丸となつた経営に取り組んでいます。また、経営戦略会議では、経営指標等の説明を職員が毎回、交替で発表することとしており、発表に際しては、収入・支出の中身について詳しく知るよう心がけています。 22年度には、看護局長を国立保健医療科学院の地域医療マネジメント研修に派遣した。 今後も、幹部職員や中堅職員に対する研修の実施について検討していくたい。					
進行度の評価	B					

課題目 16	D P C (診断群分類別包括評価) データ活用による経営分析の実施	所管部局	海部病院			
内 容	D P Cの運用から得られる自院の診療データ及び厚生労働省から公表される統計データの分析を行い、医療の質の向上・コスト削減・経営戦略策定等に積極的に活用します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○診療データや統計データの分析、活用		検討	検討	検討	実施	推進
平成22年度の主な推進状況	平成21年7月に導入したが、まだ充分なデータ活用はできていない。 今後、診療データ及び統計データの分析を行い、医療の質の向上等に活用していきたい。					
進行度の評価	C					

徳島県病院事業第2次経営健全化計画
－平成22年度の進捗状況について

参考資料

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 17	目標設定とP D C Aサイクルによる進行管理の推進	所管部局	海部病院			
内 容	各課・各診療科・各部門等において明確に目標を設定し、P D C Aサイクルによる進行管理に努めるとともに、QC（クオリティ・コントロール：品質管理）活動やB S C（バランス・スコアカード：多元的な業績評価システム）の浸透を図ります。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○各課・各診療科・各部門等における目標設定 ○P D C Aサイクルによる進行管理 ○QC活動やB S Cの浸透	実施 実施	推進 推進検討	推進 推進検討	推進 実施	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	年度当初に、看護局等において、目標を設定し、P D C Aサイクルによる進行管理を行い、中間評価で目標を修正、年度末に総括を行った。 QC活動やB S Cの浸透は十分図ることは出来なかった。次年度の課題として取り組んでいきたい。					
	進行度の評価	B				

推進項目 18	全部門による実績報告・目標発表会の実施	所管部局	海部病院			
内 容	職員の任用形態や委託職員の区別無く、病院内の全ての職員の一体感の醸成と経営認識の向上を図るために、前年度の実績報告と当年度の課題・目標について院内で発表する「実績報告・目標発表会」を行います。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○「実績報告・目標発表会」の実施	実施	推進	推進	推進	推進
平成22年度の主な推進状況	毎月開催している「やってる会」等において、各部門が取り組み状況や前年度の実績及び当年度の目標等について発表した。 今後も、職員の一体感の醸成と経営認識の向上を図るため、引き続き実施していきたい。					
	進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

－平成22年度の進捗状況について

●医療の効率性の確保における進捗状況

参考資料

推進項目 19	堅実な危機管理体制の構築	所管部局	海部病院		
内 容	<p>各病院職員が救急勉強会、ACLS、BLS、AED講習会等救急に関する研修を定期的に行い、スキルアップを図ることにより、院内での急変時の対応や災害発生時の患者受け入れ体制を強化します。</p> <p>また、災害拠点病院である各病院においては、大規模災害や新型インフルエンザ等の災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修実施に取り組むとともに、災害対策マニュアルの改訂を行います。</p> <p>さらに、病院局全体が組織的に迅速な行動が実施できるよう、各病院と病院局本局との連携体制の堅持に努めます。</p>				
実施概要	21	22	23	24	25
○救急に関する研修会の実施 ○災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修の実施 ○災害対策マニュアルの改訂 ○各病院と病院局本局との連携体制の堅持	実施 実施 検討 推進	実施 実施 検討 推進	実施 実施 実施 推進	実施 実施 推進 推進	実施 実施 推進 推進
平成22年度主な推進状況	<p>救急に関する研修会は昨年度に引き続き実施した。</p> <p>消防訓練及び地震・津波防災訓練は3月に2回実施した。また、DMAT技能維持訓練に1名、徳島県総合防災訓練に4名が参加した。</p> <p>3月11日に発生した東日本大震災時には、津波警報発令直後に震災対策本部を設置し、患者等の避難誘導や医療器械・医薬品の2階以上への移動等を行った。今後、県における被害予測の見直しを踏まえ、これに対応したマニュアルの改訂について検討して参りたい。</p>				
進行度の評価	B				

推進項目 21	3病院の診療面の連携・協調	所管部局	海部病院		
内 容	<p>これまでにも、三好病院及び海部病院における常勤医師不足に対して、「県立病院は三つでひとつ」の考えの下、中央病院の医師等による、応援診療・電子化された撮影画像の読影・病理検査などの支援を行ってきました。</p> <p>今後も、三好病院及び海部病院における医師不足が解消されるまでの間は、同様の支援を実施するとともに、中央病院における救急機能の強化に併せて、三好病院及び海部病院で対応できない救急患者の診療連携に取り組みます。</p> <p>また、中央病院で高次の治療を行ったがん患者について、より自宅近くで療養できる場合に、三好病院及び海部病院での受け入れを進めます。</p>				
実施概要	21	22	23	24	25
○中央病院の支援 ○3病院の連携	実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成22年度の主な推進状況	<p>医師不足に対応するため、中央病院から外来診療のみならず、救急、入院診療に対応した医師の支援をいただいた。</p> <p>がん患者等についても、呼吸器外科を月1回実施し、中央病院で手術を行った患者のアフターフォローを海部病院で行えるような体制をとっている。</p> <p>23年度以降においても、今まで以上に3病院間での協力体制が構築できるものと考えている。</p>				
進行度の評価	B				

徳島県病院事業第2次経営健全化計画

-平成22年度の進捗状況について

●医療の効率性の確保における進捗状況

参考資料

議題 22	資産等購入における共同化の拡充	所管部局	海部病院			
内 容	各種の器械・材料・消耗品等の購入については、今後も引き続き共同化のメリットを追求し、効率化に努めます。 なお、総合メディカルゾーンの機能連携の一つとして、徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入について検討します。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○高額医療器械（同種器械の一括入札推進、同一メーカー器械の一括入札検討） ○医薬品 ○医療材料（使用品目の絞り込みと共同購入対象品目数の拡大） ○その他（主要給食材料・消耗品・燃料等）	検討 実施 実施 検討	実施 推進 推進 検討	推進 推進 推進 検討	推進 推進 推進 検討	推進 推進 推進 検討
平成22年度の主な推進状況	高額医療器械についてはレントゲン撮影装置を三好病院と共同で一括入札を行った。 薬品は約2,200品目、診療材料は前年度より約20品目多い約60品目について共同購入を行った。 今後は消耗品、燃料等についても購入の共同化を図るとともに、共同購入品目数の増加を検討したい。					
進行度の評価	C					

議題 23	経営指標	所管部局	海部病院			
内 容	経営指標のうち経常収支比率・職員給与費対医業収益比率・病床利用率（精神病床を除く）については、公立病院改革ガイドラインの規定により平成23年度を目標値として取り組みます。					
	実 施 概 要	21	22	23	24	25
	○経常収支比率 97.3% ○病床利用率（精神病床を除く）70.0% ○職員給与費対医業収益比率 70.6% 【平成23年度】	達成 推進 達成	達成 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成22年度の主な推進状況	平成22年度の経常収支比率は102.8%で前年度に引き続き目標値をクリアしたが、職員給与費対医業収益比率は73.2%、病床利用率は56.1%と目標値はクリア出来なかった。 病床利用率は2年連続で60%を割っており、海部郡の過疎化の進行と、常勤医不足という状況下、23年度の達成は非常に難しい。					
進行度の評価	C					